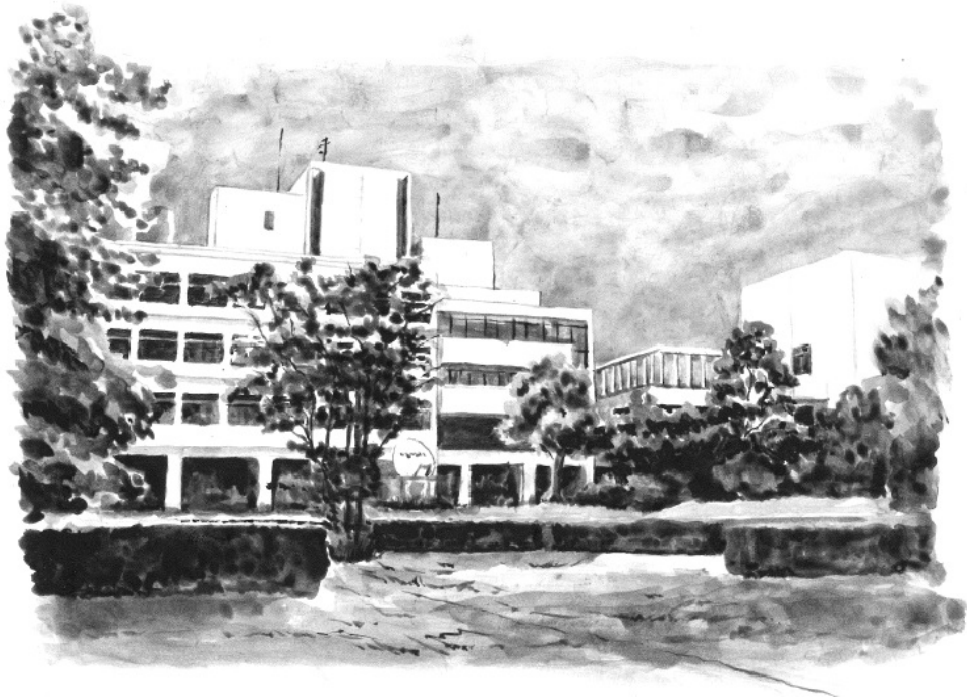


令和6年度 研修事業案内



※「令和6年度研修事業案内」は、愛知県総合教育センターウェブページの「研修部」からダウンロードできます。

愛知県総合教育センター



◆◆◆◆ 目 次 ◆◆◆◆

<p>N 研修・講座一覧 1</p> <p>I 基本方針 2</p> <p>II 本案内の見方、受講に当たっての留意事項等 3～7</p> <p>III 研修の申し込み</p> <p> 幼稚園等 8～9</p> <p> 小・中・義務教育学校 10～14</p> <p> 高等学校 15～18</p> <p> 特別支援学校 19～22</p> <p>IV 研修・講座一覧</p> <p> 1 キャリア・アップ研修 23～30</p> <p> 2 リーダー研修 31、32</p> <p> 3 スキル・アップ研修 33～80</p> <p> * スキル・アップ研修の詳細について 36～80</p> <p> 4 事務職員等研修 81</p> <p>V eラーニング研修の実施について 82～89</p>	<p>■名簿等の様式 90～98</p> <p> (様式1) 研修・講座対象者・参加者名簿 (幼稚園等)</p> <p> (様式2) スキル・アップ研修 (自由応募制) 希望者名簿 (幼稚園等)</p> <p> (様式3) 看護科講座希望者名簿 (私立学校)</p> <p> (様式4) スキル・アップ研修 (自由応募制) 希望者名簿 (事務職員)</p> <p> (様式5) 教育研究リーダー養成研修参加者推薦書 (小・中・義)</p> <p> (様式6) 教育研究リーダー養成研修参加者推薦書 (県立)</p> <p> (様式7) 欠席・遅刻・早退届</p> <p> (様式E1) eラーニング研修教材にかかる学校等利用申請書</p> <p> (様式E2) パスワード再発行申請書</p> <p>■参考資料 99～103</p> <p> ・教育研究リーダー養成研修の概要</p> <p> ・中堅教諭等資質向上研修にかかる在職期間の計算方法・例</p> <p> ・愛知県総合教育センター案内図 (交通案内・周辺案内図)</p>
--	--

研修の申し込み方法・期限

申し込み方法の詳細については、次のページを参照してください。

- 幼稚園等 p. 8～p. 9
- 小・中・義務教育学校 p. 10～p. 14
- 高等学校 p. 15～p. 18
- 特別支援学校 p. 19～p. 22

(1) キャリア・アップ研修、リーダー研修 (指定分)、スキル・アップ研修 [研修番号59～63の指定分] の対象者名簿・参加者名簿・参加者推薦書

区 分	申し込み方法	期 限
公立幼稚園・公立幼稚園型認定こども園	様式1を各市町教育委員会へ提出	各市町教育委員会が指定する日
小・中・義務教育学校	教員サポートシステム	令和6年4月15日 (月)
高等学校・特別支援学校		
国立幼稚園	様式1を総合教育センターへ提出	
私立幼稚園・保育所・認定こども園 (公立幼稚園型認定こども園を除く)	様式1を指定部署へ提出	関係部署が指定する日

(2) スキル・アップ研修、リーダー研修 (自由応募制) の希望者名簿

区 分	申し込み方法	期 限
国公立幼稚園等	様式2を総合教育センターへ提出	令和6年5月31日 (金)
小・中・義務教育学校	教員サポートシステム	※eラーニング単独講座については、令和7年2月7日 (金) まで随時、申し込みが可能
高等学校・特別支援学校		
事務職員等	様式4を総合教育センターへ提出	

※小・中・義務教育学校、高等学校、特別支援学校は、教員サポートシステムで申し込みを行ってください。
 ※令和6年度の各種様式は、愛知県総合教育センターウェブページの「研修部」からダウンロードできます。

令和6年度研修・講座一覧

* 研修番号 1 ～ 64 に付した★印は、当該研修・講座の一部を「eラーニング研修」によって実施することを示す。

1 キャリア・アップ研修 (42講座)

- 1★小学校初任者研修
- 2★中学校初任者研修
- 3★高等学校初任者研修
- 4★特別支援学校初任者研修
- 5★新規採用養護教諭研修
- 6★新規採用栄養教諭研修
- 7★県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修
- 8★幼稚園等新規採用教員研修
- 9 小学校2年目教員研修
- 10 中学校2年目教員研修
- 11★高等学校2年目教員研修
- 12★特別支援学校2年目教員研修
- 13★小学校3年目教員研修
- 14★中学校3年目教員研修
- 15 高等学校3年目教員研修
- 16 特別支援学校3年目教員研修
- 17★幼稚園等中堅教諭資質向上研修
- 18★小学校中堅教諭資質向上研修【前期】【後期】
- 19★中学校中堅教諭資質向上研修【前期】【後期】
- 20★高等学校中堅教諭資質向上研修【前期】【後期】
- 21★特別支援学校中堅教諭資質向上研修【前期】【後期】
- 22★中堅養護教諭資質向上研修【前期】【後期】
- 23★中堅栄養教諭資質向上研修【前期】【後期】
- 24 小中学校初任者研修拠点校指導教員研修
- 25 特別支援学校初任者研修拠点校指導教員研修
- 26★特別支援学級担当教員初任者研修
- 27★通級指導担当教員初任者研修
- 28★高等学校実習教員研修 (A～Cコース)
- 29 県立学校新任生徒指導主事研修
- 30★中学校新任進路指導主事研修
- 31★県立学校新任進路指導主事研修
- 32★小中学校新任教務主任研修
- 33★県立学校新任教務主任研修
- 34 産業教育学科主任研修
- 35 特別支援学校部主事研修
- 36 園長等運営管理研修
- 37★小中学校新任教頭研修
- 38★小中学校新任校長研修
- 39★県立学校新任教頭研修
- 40★県立学校新任校長研修
- 41 公立学校の臨時教員等研修
- 42 指導改善研修

2 リーダー研修 (11講座)

- 43★幼児教育講座
- 44 保育技術講座
- 45★道徳推進講座
- 46★外国人児童生徒教育講座
- 47 教育研究リーダー養成研修
- 48 県立学校重営講座
- 49 教育相談特別研修
- 50 小中学校社会体験型教員研修
- 51 大学院及び教職大学院派遣研修
- 52 愛知教育大学特別支援教育特別専攻科内地留学研修
- 53 国立特別支援教育総合研究所特別支援教育専門研修

3 スキル・アップ研修 (68講座)

- 54 看護科講座
- 55 学校農園活用講座
- 56 安全教育実技講座 (フォークリフト運転業務特別教育講習)
- 57 農業技術講座 (A、Bコース)
- 58 特別支援教育講座 (A～Eコース)
- 59★学級・学年づくりに生かす教育相談講座
- 60★今日的課題に対応する教育相談講座
- 61★教育相談コーディネーター養成講座
- 62 特別支援学校におけるセンター的機能強化講座 (A、Bコース)
- 63★あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修
- 64 ICT活用実践講座

<eラーニング単独講座>

◎ 小学校教科講座

- | | | |
|---------|---------|----------------|
| e01 社会科 | e02 算数科 | e03 理科 |
| e04 体育科 | e05 音楽科 | ※ e04とe07は同じ教材 |

◎ 中学校教科講座

- | | | |
|--------|-----------|---------|
| e06 理科 | e07 保健体育科 | e08 音楽科 |
|--------|-----------|---------|

◎ 高等学校教科講座

- | | | |
|----------|--------------|--------------|
| e09 国語科 | e10 地理歴史・公民科 | e11 数学科1 |
| e12 数学科2 | e13 理科 | e14 外国語(英語)科 |
| e15 情報科 | | |

◎ 教科・領域の指導に関する講座

- e16 生活科講座～基礎・基本から考える～
- e17 小学校英語の基礎講座
- e18 理科観察・実験指導基礎講座
- e19 道徳教育講座～考え議論する道徳～
- e20 主権者教育推進講座
- e21 高等学校におけるキャリア教育の進め方講座
- e22 総合的な学習の時間講座～探究の扉を開く～
- e23 「国際英語」教育の理論と実践講座
- e24 Integrating Language & Content in an English Class
- e25 産業教育における評価の在り方講座
- e26 産業教育における金融経済教育の進め方講座
- e27 教育評価の在り方講座
- e28 オンライン教育の在り方講座
- e29 情報モラル教育講座
- e30 教師のための情報危機管理講座
- e31 カリキュラム・マネジメント講座
- e32 効果を上げる授業研究の在り方講座
- e33 校内研修と授業研究の効果的な進め方講座
- e34 ESD推進講座

◎ 幼児・児童・生徒の理解と支援に関する講座

- e35 愛知の特別支援教育基礎講座
- e36 発達障害の理解と支援講座 (A～Eコース)
- e37 視覚障害の理解と支援講座
- e38 聴覚障害の理解と支援講座
- e39 児童生徒の強みを生かす教育相談講座
- e40 いじめの組織的な未然防止講座
- e41 不登校支援と予防講座～多様な背景を踏まえた学校での支援と予防～
- e42 性の多様性の理解推進講座
- e43 外国人児童生徒教育基礎講座～現状と課題～
- e44 特別支援教育における教育課程講座
- e45 教育相談の心得講座～個別面談に際して～
- e46 組織的な教育相談のための力量向上講座
- e47 通級による指導・支援の在り方講座
- e48 肢体不自由児の理解と支援講座
- e49 「チーム学校」を生かす教育相談体制づくり講座

◎ その他の講座

- e50 SDGs 理解講座 (A、Bコース)
- e51 学校安全推進講座 (A、Bコース)
- e52 地域学校協働活動推進講座 (A、Bコース)
- e53 社会人としてのマナー講座
- e54 職場のメンタルヘルズ講座 (A、Bコース)
- e55 心が軽くなるコミュニケーション講座
- e56 GIGAスクール構想の在り方講座
- e57 OJT推進講座

4 小中学校事務職員等研修 (8講座)

- J01 新規採用者研修
- J02 中堅者前期研修
- J03 中堅者後期研修
- J04 新任主査研修
- J05 現任主査研修
- J06 新任事務長・総括事務長研修
- J07 県立学校用務員研修
- J08 県立学校図書館関係職員研修

I 基本方針

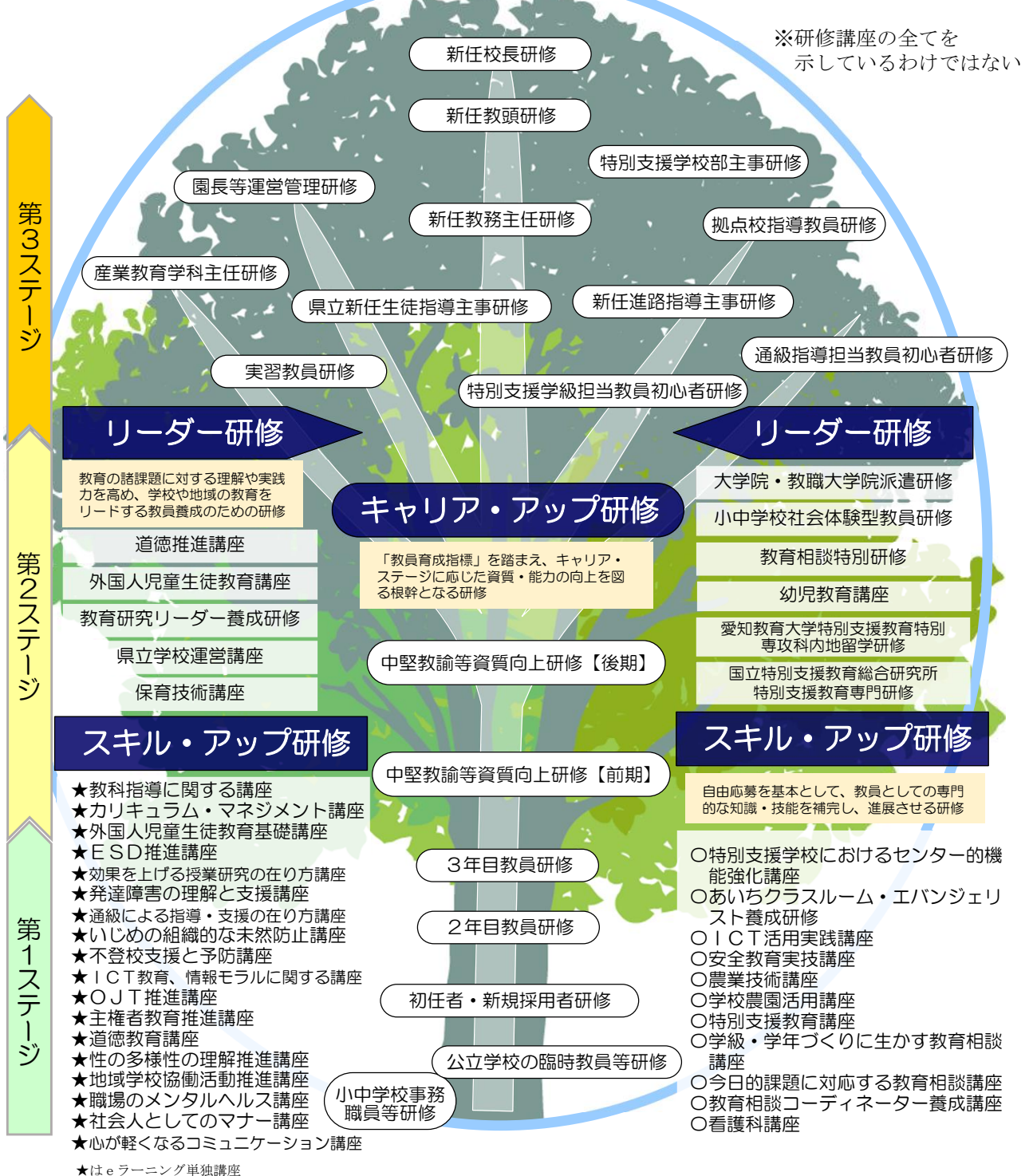
現在の学校教育には、新しい時代に必要となる資質・能力を子どもたちに育むことが求められています。このような教育を実現するためには、教職員一人一人が学校教育の直接の担い手であるという意識を強くもち、自律的かつ主体的な研修に努め、教職員としての資質・能力をいっそう高めるとともに、学校において研修の成果を同僚と互いに共有するなどして、学校組織全体としての指導力向上を図ることが重要です。

総合教育センターでは、これらのことを踏まえ、初任者から中堅者、管理職まで、教職員のキャリアステージに応じた体系的かつ効果的な研修を実施します。

<研修事業に関する重点>

- ①学び続ける教職員を支援し、素養や指導力、マネジメント力など、一人一人の資質・能力の向上及び高め合う教職員集団（組織）の醸成に資すること。
- ②学校が直面している教育課題の解決や、教育活動の活性化と充実に資すること。
- ③急速な社会の変化に伴う教育改革の推進に対応すること。
- ④主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICTの効果的な活用に資すること。

【総合教育センター研修体系図】



Ⅱ 本案内の見方、受講に当たっての留意事項等について

この「研修事業案内」には、研修・講座のねらい、対象者、期日、会場等が示してあります。また、研修・講座の受講申し込み方法や、必要な提出書類の各種様式が掲載されています。

キャリア・アップ 研修

p.23～p.30

- 初任者
- 新規採用
養護教諭
栄養教諭
.....
実習教員
寄宿舎指導員
幼稚園等教員
- 2年目教員
- 3年目教員

総合教育センターウェブサイト「研修講座事業」
（「研修部」>「ダウンロードする」より）

詳細については、当センターウェブページに掲載している各研修の手引を御覧ください。
また、所属長宛てに、実施要項も送付します。

所属長宛てに送付される実施要項等で、詳細を御覧ください。

- 中堅教諭【前期】
- 中堅教諭【後期】
- 幼稚園等中堅教諭

詳細については、当センターウェブページに掲載している「中堅教諭等資質向上研修の手引」を御覧ください。
また、所属長宛てに実施要項も送付します。

- 職務に関する
研修

各職務に該当する教員を対象とします。

リーダー研修

p.31～p.32

地区（または学校）ごとに人数等が指定してあります。

※43、44、45、46の研修は自由応募もあります。

所属長宛てに送付される実施要項等で、詳細を御覧ください。

スキル・アップ 研修

p.33～p.80

この研修には自由応募のもの、地区（または学校）ごとに人数が指定してあるものがあります。本案内p.33～p.80を御覧の上、申し込んでください。申し込まれた方には、受講の可否を所属長宛てに6月中旬に通知します。また、研修番号54～64のスキル・アップ研修では、「追加連絡」を教員サポートシステム「研修My Page」及び「学校ページ」で通知（7月上旬）しますので、確認してください。

なお、参加者には実施要項を改めて送付しませんので、本案内p.36～p.47に従って所定の日時・場所へお越しください。

事務職員等研修

p.81

ねらいや対象者等が掲載されています。なお、詳細は別途通知します。

eラーニング研修

p.82～p.89

在校のままで受講できる「eラーニング講座」があります。また、研修・講座の一部で「eラーニング研修」を実施します。これは、主にセンターでの集合研修の事前もしくは事後に研修で学ぶ内容の確認など、基礎的知識の理解のために受講する研修方法です。

各種様式

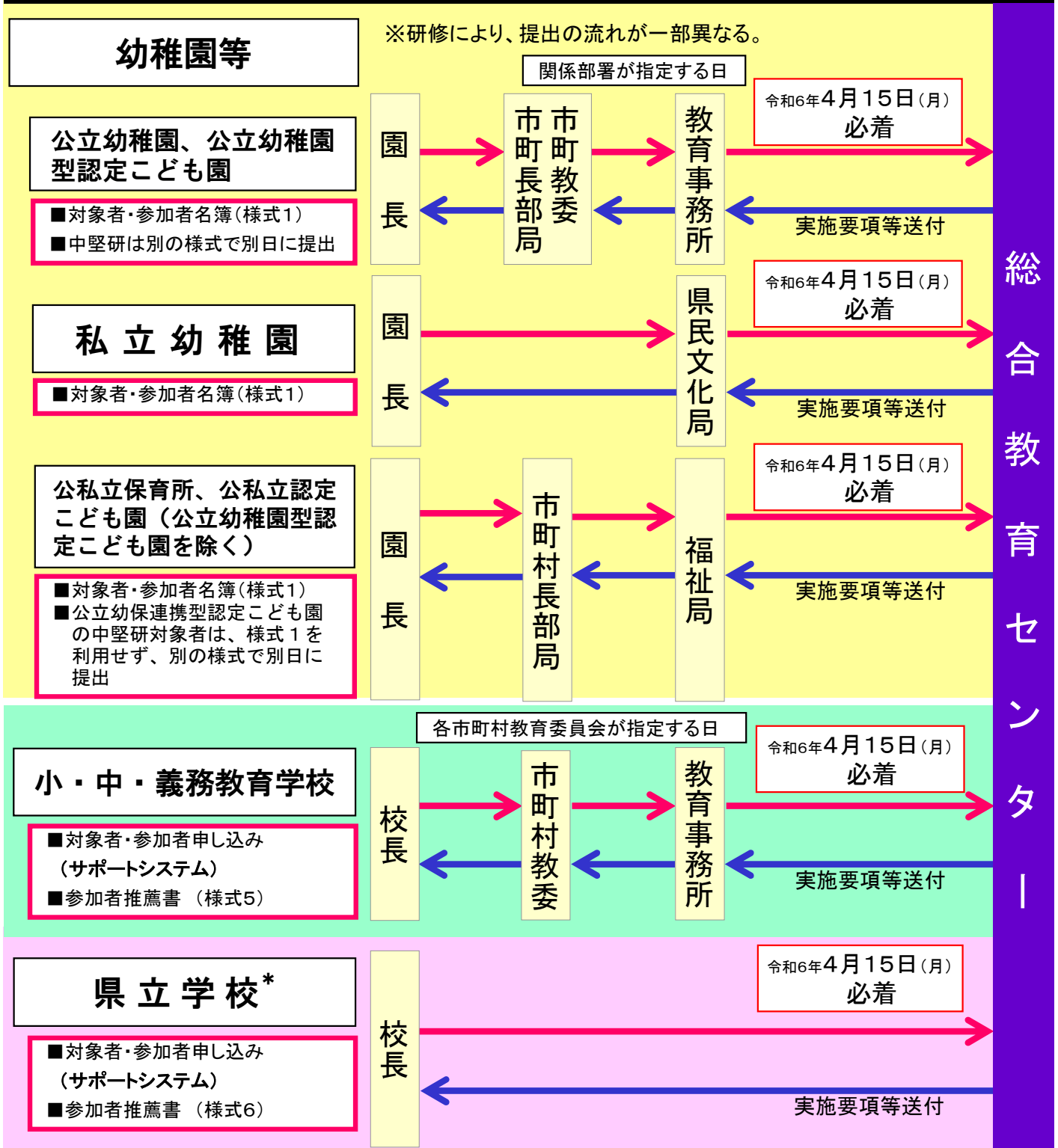
p.90～p.98

参加申し込み及び欠席・遅刻・早退等に関する各種様式が掲載されています。※各種様式は、当センターウェブページからダウンロードできます。

※研修・講座の受講に当たって、支援や配慮等の必要があれば、下記まで御相談ください。

研修部企画研修室 電話 0561-38-9506

【キャリア・アップ研修、リーダー研修、スキル・アップ研修(指定分)】



* 県立学校は、県立(豊橋市立、瀬戸市立、刈谷市立、豊田市立を含む)の高等学校及び特別支援学校を指す。

総合教育センターへ様式等を送付する方法

電子メール

所属アドレス(学校代表アドレス)から送信する。
※個人アドレスから送信しない。

総合教育センター所属アドレス
sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp

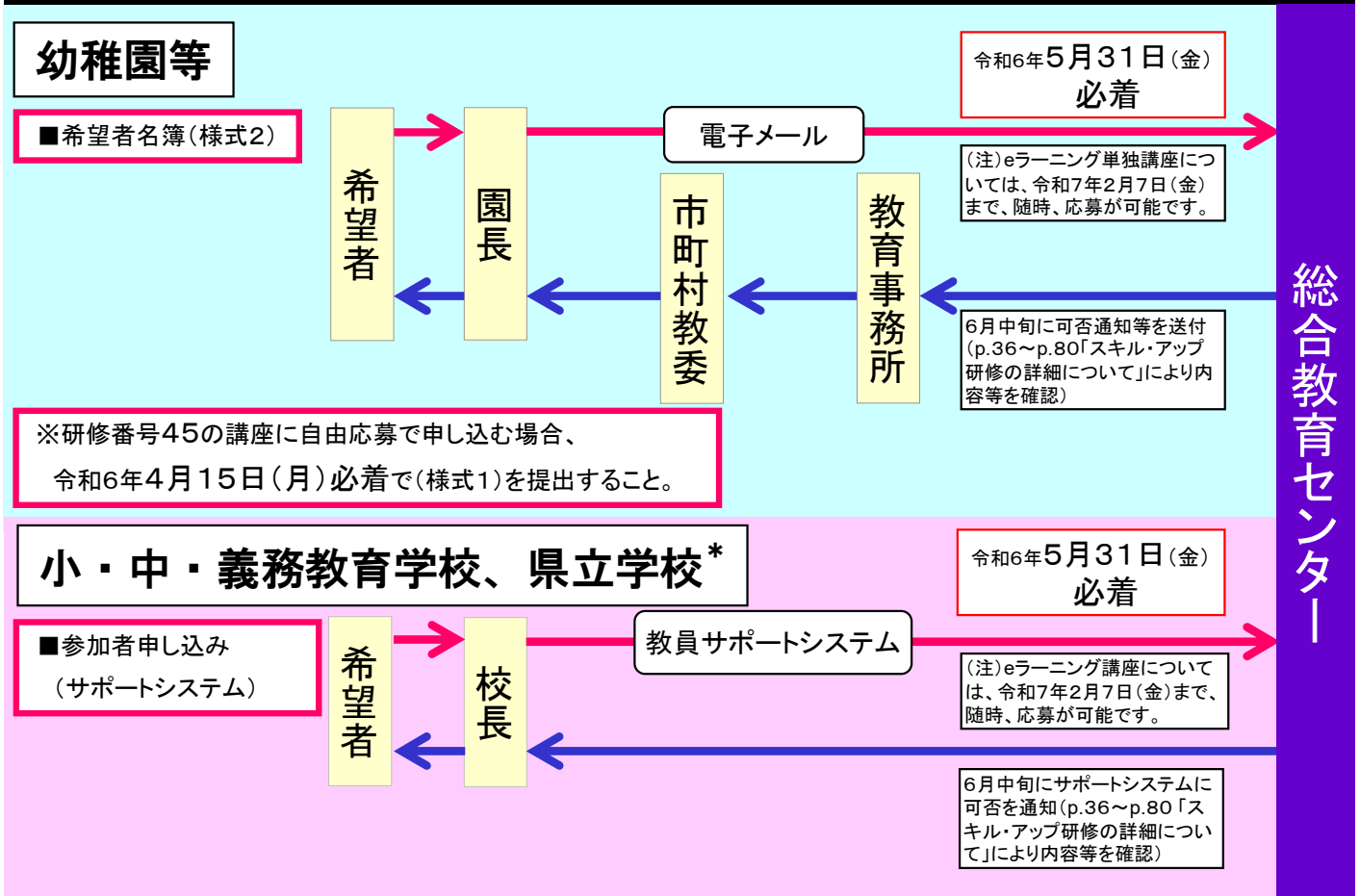
※ただし、学校の所属アドレス(代表アドレス)がない場合は、様式等を印刷し、郵送する。

郵送先：〒470-0151 愛知郡東郷町大字諸輪字上鉾68番地

愛知県総合教育センター研修部企画研修室

* 「対象者(参加者・希望者)名簿在中」と朱書きする。

【スキル・アップ研修(自由応募制)】



* 県立学校は、県立(豊橋市立、瀬戸市立、刈谷市立、豊田市立を含む)の高等学校及び特別支援学校を指す。

総合教育センターへ様式等を送付する方法

所属アドレス(学校代表アドレス)から送信する。
※個人アドレスから送信しない。

総合教育センター所属アドレス
sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp

※ただし、学校の所属アドレス(代表アドレス)がない場合は、様式等を印刷し、郵送する。

郵送先：〒470-0151 愛知県東郷町大字諸輪字上鉾68番地

愛知県総合教育センター研修部企画研修室

* 「様式〇〇在中」と朱書きする。

◆受講に当たっての留意事項

1 総合教育センター利用上の注意

- ・総合教育センターへ来所の際は、できる限り公共交通機関を利用してください。
- ・講師の都合等により、研修・講座内容、日程等が変更になる場合があります。
- ・研修会場での飲食は、指定された場所をお願いします。研修会場へ昼食等で持ち込んだ物は、各自責任をもって必ず持ち帰ってください。
- ・総合教育センターは敷地内全面禁煙です。御理解と御協力をお願いします。

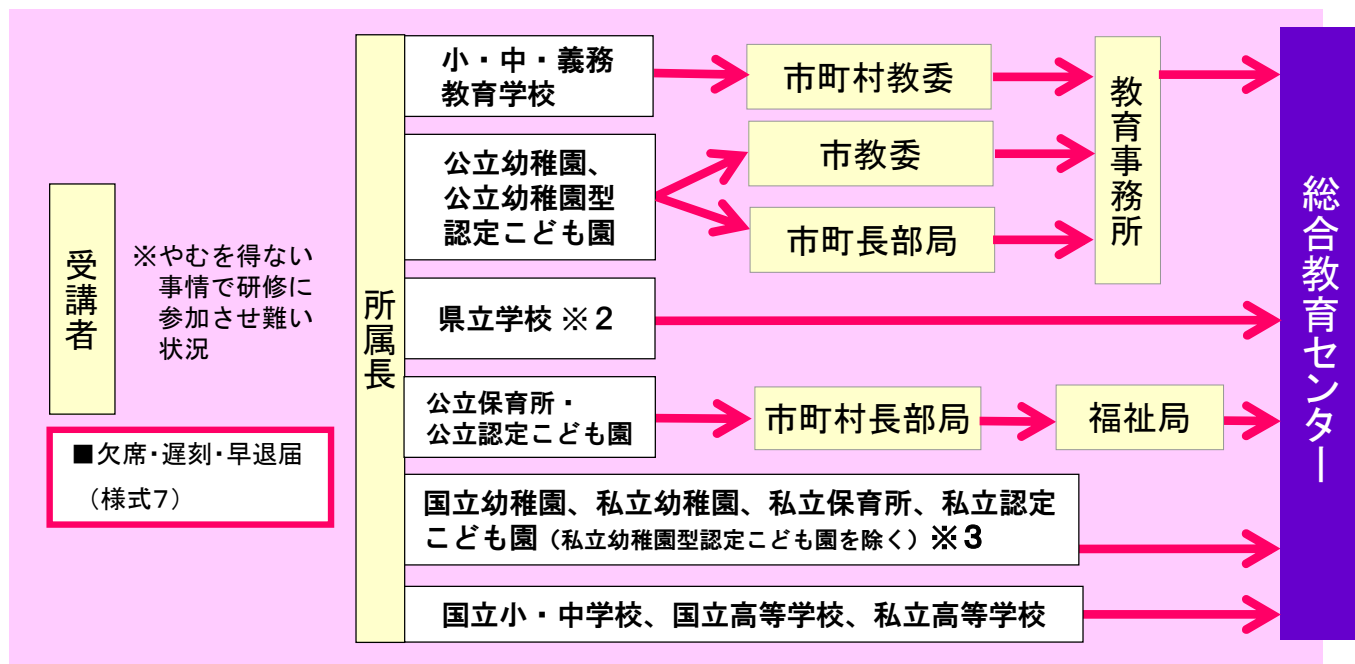
2 提出課題等の送付について

提出課題等を総合教育センターへ送付する場合は、封筒の余白に「研修番号ーコース等記号 ○○講座○○コース▽▽在中」と朱書きしてください。また、サポートシステムやメールによる提出を指示する課題もあります。

3 研修・講座欠席等の手続きについて

やむを得ない事情で研修に参加させ難いとき、所属長は下の流れに沿って、総合教育センター所長宛てに欠席・遅刻・早退届（p.96「様式7」）をそれぞれの所属アドレス（代表アドレス）からメールで提出してください。※1

ただし、緊急の場合は、所属長または受講者から直接研修担当者に連絡し、後日、速やかに欠席・遅刻・早退届を提出してください。



※1 件名は、[○○研修△月△日××届]とし、総合教育センター所属アドレスへ提出してください。欠席・遅刻・早退届の提出は郵送でも可能です(郵送先は「研修部企画研修室」)。

※2 県立学校は、県立(豊橋市立、瀬戸市立、刈谷市立、豊田市立を含む)の高等学校及び特別支援学校を指します。

※3 私立幼保連携型認定こども園勤務の受講者は一部提出の流れが異なります。

4 特別警報等が発表された場合における研修事業等の取り扱いについて

- ・県内のいずれかの地域に「特別警報」もしくは「警戒レベル4避難指示」以上が発表された場合は、当日の全ての集合研修及びオンライン研修を中止します。また、高等学校・特別支援学校の初任者研修及び幼稚園等新規採用教員研修のeラーニングによる開講行事も同様とします。
- ・特別警報もしくは「警戒レベル4避難指示」以上がその日のうちに解除された場合も、当日の全ての集合研修及びオンライン研修を中止します。
- ・開催地への移動中に発令された場合も中止とします。なお、引き返すなど安全に関する判断は各々で行ってください。
- ・研修中に発表された場合は、総合教育センターが研修続行の可否について判断します。

5 暴風（または暴風雪）警報発表時における研修事業等の取り扱いについて

(1) 午前7時までに県内いずれかの地域で警報が発表された場合

当日の研修	その後の警報の推移	当日の研修の取り扱い
ア 全日の日程で計画されていた集合研修	午前7時の時点で県内全ての地域において警報が解除されている場合	計画どおり実施
	午前7時の時点で県内いずれかの地域で警報が継続されている場合	中止
イ 午前だけの日程で計画されていた集合研修	午前7時の時点で県内全ての地域において警報が解除されている場合	計画どおり実施
	午前7時の時点で県内いずれかの地域で警報が継続されている場合	中止
ウ 午後だけの日程で計画されていた集合研修	午前10時30分の時点で県内全ての地域において警報が解除されている場合	計画どおり実施
	午前10時30分の時点で県内いずれかの地域で警報が継続されている場合	中止

(2) 午前7時を過ぎてから県内いずれかの地域で警報が発表された場合

当日の研修	当日の研修の取り扱い
当日の全ての集合研修	中止

(3) オンライン研修の場合

原則的に警報の有無に関わらず研修を開催します。ただし、参加が困難な場合は、欠席等の手続きを行ってください。

なお、研修番号46「外国人児童生徒教育講座」の第1日午前の講義のみのオンライン参加者（自由応募）は、(1)、(2)の警報が発表された場合に準ずる。

また、研修番号58「特別支援教育講座（Cコースを除く）」はオンラインのみ実施する（集合で参加予定の受講者もオンラインで参加する）。

6 地震等における研修事業等の取り扱いについて

南海トラフ沿いで異常な現象が観測された際に、気象庁から情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報発表されます。キーワードによって、研修の対応が異なります。

[南海トラフ地震臨時情報（キーワード）]

キーワード	研修の取り扱い
ア 調査中	実施 ※地震の状況により、研修を中止することとなった場合には、総合教育センター所長が所属長に連絡する。
イ 巨大地震警戒	中止 ※総合教育センター所長が所属長に研修再開の連絡をするまでの間は中止とする。
ウ 巨大地震注意	中止 ※総合教育センター所長が所属長に研修再開の連絡をするまでの間は中止とする。

<上記4、5、6における留意事項>

- ・研修事業等の全部または一部を中止した場合の代替措置等については、総合教育センター所長が別に指示します。
- ・受講者は移動等に危険が伴うと判断される場合や公共交通機関が確保できない場合は、管理職等と相談の上で遅刻、欠席等の対応をとってください。

Ⅲ-1 研修の申し込み ～幼稚園等～

◆第1期申し込み◆ 令和6年4月15日（月）必着

○研修内容、期日等は p. 23～p. 32 参照

研修番号	研修・講座名	指定	必要書類	申し込み方法
8	幼稚園等新規採用教員研修 ※1		様式1 ※2	様式をメール送信
17	幼稚園等中堅教諭資質向上研修 ※1			
36	園長等運営管理研修	○		
43	幼児教育講座（旧幼稚園教育課程講座）	○		
44	保育技術講座	○		
45	道徳推進講座	○		

※1 研修番号8「幼稚園等新規採用教員研修」、研修番号17「幼稚園等中堅教諭資質向上研修」の公立園受講対象者については、別途申し込み済です。

※2 必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」>「申し込む」からダウンロードできます。

【留意事項及び入力上の注意】

研修番号	研修・講座名	留意事項
17	幼稚園等 中堅教諭資質 向上研修	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園等中堅教諭資質向上研修の対象者とは 幼稚園（幼稚園型認定こども園を含む）および幼保連携型認定こども園に勤務する教諭または保育教諭のうち、在職期間が7年を経過した者。 詳細については「幼稚園等中堅教諭資質向上研修の手引」を参照する。 ○在職期間の計算方法について 本案内 p. 100の「【参考資料2】幼稚園等中堅教諭資質向上研修にかかる在職期間の例」による。除算する必要がある場合は、除算した年数を「在職期間」欄に入力する。 ○「選択研修」欄の入力上の注意 7月30日（火）選択研修にて受講したい研修内容をリストから選択して入力する。 （できる限り希望の研修を受けられるよう配慮するが、定員の都合により希望外の研修内容になることもある）
36	園長等 運営 管理 研修	<p>指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○以前に参加したことがある者は「在職期間」欄に「有（園長経験年数）」をリストから選択し、参加したことがない者は「初（園長経験年数）」をリストから選択する。 （例）「有（○年）」、「初（○年）」
43	幼児 教育 講座	<p>指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○在職期間は異動等による園種を問わず、保育経験年数をリストから選択する。 ○令和6年度の協議主題は一つ。 【協議主題】幼児教育と小学校教育の円滑な接続について ・「幼児教育講座分科会」欄に参加する部会は、主題を選択する。 ○司会は備考欄に「司会」と入力する。

◆第2期申し込み◆（自由応募制研修・講座） 令和6年5月31日（金）必着

○研修内容、期日等は p. 33～p. 80 参照

研修番号	研修・講座名	必要書類 ※	申し込み方法
55	学校農園活用講座	様式2	様式2をメール送信
57	農業技術講座（Aコース）		
58	特別支援教育講座（A～Eコース）		

【申し込み及び教員サポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項
58	特別支援教育講座 A～E	<p>○A・B・D・Eの各コースは、希望の参加方法を「センター会場」「オンライン」から選択する（オンラインでの受講は、A・B・Eコースは午前のみ、Dコースは午後のみとする。オンラインでの受講では、同コース内の他の講義や協議は受講できない）。</p> <p>※「センター会場」は人数制限あり。「センター会場」での受講ができない場合は、「オンライン」となります（Cコースを除く）。</p>

◆eラーニング単独講座申し込み◆ 令和7年2月7日（金）まで随時受付

研修番号	研修・講座名	必要書類 ※	申し込み方法
e01～e57	p. 48～p. 80 参照	様式2	様式2をメール送信

※ 必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」>「申し込む」からダウンロードできます。

Ⅲ-2 申し込み手続き ～小・中・義務教育学校～

◆第1期申し込み◆ 令和6年4月15日（月）センター締め切り

○研修内容、期日等は p. 23～p. 32 参照

○研修番号1「小学校初任者研修」、2「中学校初任者研修」、5「新規採用養護教諭研修」、6「新規採用栄養教諭研修」については、研修の申し込みは不要です。総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います。

○研修番号24「小中学校初任者研修拠点校指導教員研修」についても、研修の申し込みは不要です。別途送付する様式で希望を取ります。

研修番号	研修・講座名	指定	自由応募	サポートシステム備考欄への記載	必要書類 ※
9	小学校2年目教員研修			必要のある受講者のみ	
10	中学校2年目教員研修				
13	小学校3年目教員研修				
14	中学校3年目教員研修				
18 19 22 23	小学校中堅教諭資質向上研修 中学校中堅教諭資質向上研修 中堅養護教諭資質向上研修 中堅栄養教諭資質向上研修 【前期】【後期】【後期・弾力化MS】 【後期・弾力化M】【後期・弾力化S】			必要のある受講者のみ	
26	特別支援学級担当教員初心者研修				
27	通級指導担当教員初心者研修				
30	中学校新任進路指導主事研修				
32	小中学校新任教務主任研修				
37	小中学校新任教頭研修				
38	小中学校新任校長研修				
45	道徳推進講座	○			
46	外国人児童生徒教育講座	○	○		
47	教育研究リーダー養成研修	○			様式5

※必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」>「申し込む」からダウンロードできます。

必要事項を記入し、所属アドレス（学校代表アドレス）から総合教育センター所属アドレスへメールで提出してください。

再任用教諭・臨時的任用教員等、氏名リストに表示されない職員については、登録を行った上で申し込み手続きを行います。登録する場合は各学校の研修担当者に依頼をしてください。

【申し込み及び教員サポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項
1 2 5 6	小学校初任者研修 中学校初任者研修 新規採用養護教諭研修 新規採用栄養教諭研修	○教員サポートシステムへの入力は不要です（総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います）。
9 10	小学校2年目教員研修 中学校2年目教員研修	○令和5年度に小・中学校初任者研修を受講した者。受講していない者は除く。また、養護教諭、栄養教諭は対象外である。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、教員サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講できない」を選択し、リストから理由を選択する。 ○受講日は後日指定する。 <u>3日間のうち、やむを得ない事情で参加できない日がある場合は、教員サポートシステム申し込み画面「手順3」の「備考」欄に、その期日と理由を入力する。</u> （例）8月23日（金） 野外教室引率のため ○教員サポートシステム申し込み画面の「手順4」でリストから担当学年を選択する。
13 14	小学校3年目教員研修 中学校3年目教員研修	○令和4年度に小・中学校初任者研修を受講した者。受講していない者は除く。また、養護教諭、栄養教諭は対象外である。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、教員サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講できない」を選択し、リストから理由を選択する。 ○受講日時は後日指定する。 <u>2日間のうち、やむを得ない事情で参加できない日や時間帯がある場合は、教員サポートシステム申し込み画面「手順3」の「備考」欄にその日時と理由を入力する。</u> （例）9月10日（火） 午前・午後 修学旅行引率のため ○教員サポートシステム申し込み画面の「手順4」でリストから担当学年を選択する。

研修番号	研修・講座名	留意事項										
1 8	小学校中堅教諭資質向上研修	<p>・受講対象者については、p. 24～p. 25を参照する。</p> <p><教員サポートシステム申し込み画面について></p> <p>本年度受講する者</p> <p>○「手順2」で「第1期申し込み」を選択し、必要に応じて選択や「備考」欄に下表(1)～(4)を参考にして入力する。</p> <p>○「選択領域」入力上の注意</p> <p>◆「選択教科」について（養護教諭、栄養教諭は入力不要） 令和6年度に授業実践できる教科で、免許教科または専門性を高めたい教科を、下記の教科の中から選んで入力する（[選択不可の例]に注意する）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中・義共通<国語、社会、算数・数学、理科、音楽、図画工作・美術、体育・保健体育、家庭> ・小・義務教育学校（前期課程）のみ<生活、外国語活動・外国語> ・中・義務教育学校（後期課程）のみ<英語、技術> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[選択不可の例]</p> <p>次の場合は、令和6年度に授業実践ができないため選択できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ×小学校教諭の「技術」 ×小学校1・2年生担任教諭の「社会」「理科」「外国語活動・外国語」 ×小学校1～4年生担任教諭の「家庭」 ×小学校3～6年生担任教諭の「生活」 </div> <p>◆「選択研修」欄の入力上の注意</p> <p>以下の日程に実施される選択研修にて受講したい研修内容をリストから第2希望まで選択する（内容の詳細は、「中堅教諭等資質向上研修の手引」を参照する。養護教諭・栄養教諭は夏季のみ入力する）。</p> <p>【前期】小学校8月20日（火）、中学校8月21日（水）</p> <p>【後期】小学校7月31日（水）・12月25日（水） 中学校8月1日（木）・12月26日（木）</p> <p>（できる限り希望の研修を受けられるよう配慮するが、定員の都合により希望外の研修内容になることもある）</p> <p>○【後期】弾力化希望の選択については、「研修講座の選択」において、リストから「弾力化MS」「弾力化M」「弾力化S」のいずれかを選択する。ただし、MS両方を前倒して希望しても、定員の関係でどちらか一方しか受講できない場合もある。</p> <p>○【後期】弾力化受講希望者は、主任等の役割があれば「備考」欄に下表(4)を参考にして入力する。</p> <table border="1" data-bbox="496 1310 1428 1547" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">「備考」欄への入力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 研修の受講を延期していた者が、令和6年度に研修を受講する場合</td> <td>○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和5年度まで育児休業</td> </tr> <tr> <td>(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和6年度に対象者になる場合</td> <td>※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）</td> </tr> <tr> <td>(3) 任用替えの栄養教諭</td> <td>◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。</td> </tr> <tr> <td>(4) 【後期】弾力化希望者</td> <td>主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※複数項目に該当する場合は項目ごとに改行をする</p> <p>受講対象者であるが本年度受講しない者</p> <p>○「手順2」で「延期」「対象外」を選択し、リストから理由を選択する。</p>	区分	「備考」欄への入力	(1) 研修の受講を延期していた者が、令和6年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和5年度まで育児休業	(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和6年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）	(3) 任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。	(4) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事
区分	「備考」欄への入力											
(1) 研修の受講を延期していた者が、令和6年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和5年度まで育児休業											
(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和6年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）											
(3) 任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。											
(4) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事											
1 9	中学校中堅教諭資質向上研修											
2 2	中堅養護教諭資質向上研修											
2 3	中堅栄養教諭資質向上研修											
	【後期】は弾力化を含む											

研修 番号	研修・講座名	留意事項
26	特別支援学級担当教員初心者研修	<p>○令和6年度に特別支援学級を初めて担当する教員全員。ただし、過去に特別支援学校で勤務した者及び特別支援学級を担当した者を除く。</p> <p>◆令和5年度に本研修を申し込んだが、都合により受講できなかった教員には、自由応募の58「特別支援教育講座（A～E）」の申し込みを推奨する。</p> <p><教員サポートシステム申し込み画面について></p> <p>○「手順4」で、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症、情緒障害を選択する。</p>
27	通級指導担当教員初心者研修	<p>○通級指導を初めて担当する教員全員が対象。</p> <p><教員サポートシステム申し込み画面について></p> <p>○「手順4」で、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等を選択する。</p>
30	中学校新任進路指導主事研修	<p>○中学校、義務教育学校の新任進路指導主事全員。</p> <p>○新任とは、これまでに進路指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。</p> <p>○令和5年度途中で新たに進路指導主事になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。</p>
32	小中学校新任教務主任研修	<p>○新任教務主任全員。</p> <p>○令和5年度途中で新たに教務主任になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。</p>
37	小中学校新任教頭研修	<p>○新任教頭全員</p> <p>○令和5年度途中で昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。</p>
38	小中学校新任校長研修	<p>○新任校長全員</p> <p>○令和5年度途中で昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。</p>
45	道徳推進講座 指定	<p>○道徳教育推進教師が対象</p>
46	外国人児童生徒教育講座 指定 ・ 自由応募	<p>○外国人児童生徒教育担当教員及び担当する可能性のある教員で、過去に本講座を受講していない者。</p> <p><教員サポートシステム申し込み画面について></p> <p>○「手順3」で、「<u>地区指定</u>」「<u>自由応募</u>」を必ず区別し、「手順4」で、「外国人児童生徒教育担当」の経験年数を、歴任校も含めて選択する。</p> <p>○「自由応募」のみ、参加方法を「手順4」で選択する。</p>
47	教育研究リーダー養成研修 指定	<p>○本案内 p.99に示す「応募条件」を満たす者について入力する。</p> <p>○別に（様式5）「教育研究リーダー養成研修（小・中・義務教育学校）参加者推薦書」を、各市町村教育委員会が指定する日までにメールで提出する。</p>

◆第2期申し込み◆（自由応募制） 令和6年5月31日（金）締め切り

○研修内容、期日等は p. 33～p. 80 参照

研修番号	研修・講座名
55	学校農園活用講座
57	農業技術講座A
58	特別支援教育講座A～E
59	学級・学年づくりに生かす教育相談講座
60	今日的課題に対応する教育相談講座
61	教育相談コーディネーター養成講座
64	ICT活用実践講座

【申し込み及び教員サポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項
58	特別支援教育講座A～E	○「手順4」で、A・B・D・Eの各コースは、希望の参加方法を「センター会場」「オンライン」から選択する（オンラインでの受講は、A・B・Eコースは午前のみ、Dコースは午後のみとする。オンラインでの受講では、同コース内の他の講義や協議は受講できない）。 ※「センター会場」は人数制限あり。「センター会場」での受講ができない場合は、「オンライン」となります（Cコースを除く）。
64	ICT活用実践講座	○外部ネットワークに接続可能なタブレット端末の持ち込みができる場合は、備考欄に「タブレット持込可」と入力する。

◆eラーニング単独講座申し込み◆ 令和7年2月7日（金）まで随時受付

研修番号	研修・講座名	留意事項
e01～e57	p. 48～p. 80 参照	○総合教育センターにおける「受講許可」については、申込週の翌週に実施する。

Ⅲ-3 申し込み手続き ～高等学校～

◆第1期申し込み◆ 令和6年4月15日（月）締め切り

○研修内容、期日等は p. 23～p. 32 参照

○研修番号3「高等学校初任者研修」、5「新規採用養護教諭研修」、7「県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修」については、研修の申し込みは不要です。総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います。

研修番号	研修・講座名	指定	自由応募	サポートシステム備考欄への記載	必要書類 ※1
11	高等学校2年目教員研修				
15	高等学校3年目教員研修				
20 22	高等学校中堅教諭資質向上研修 中堅養護教諭資質向上研修 【前期】【後期】【後期・弾力化MS】 【後期・弾力化M】【後期・弾力化S】			○	
27	通級指導担当教員初心者研修		○		
28	高等学校実習教員研修A	○			
29	県立学校新任生徒指導主事研修				
31	県立学校新任進路指導主事研修				
33	県立学校新任教務主任研修				
34	産業教育学科主任研修				
39	県立学校新任教頭研修				
40	県立学校新任校長研修				
46	外国人児童生徒教育講座	○	○		
47	教育研究リーダー養成研修	○			様式6
59	学級・学年づくりに生かす教育相談講座	○	※2		
60	今日的課題に対応する教育相談講座	○			
61	教育相談コーディネーター養成講座	○			
63	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修	○			

研修番号41「公立学校の臨時教員等研修」の申し込みについては、別途送付する実施要項等でお知らせします。

※1 必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」>「申し込む」からダウンロードできます。

必要事項を記入し、所属アドレス（学校代表アドレス）から総合教育センター所属アドレスへメールで提出してください。

※2 自由応募は第2期に申し込んでください。

再任用教諭・臨時的任用教員等、氏名リストに表示されない職員については、登録を行った上で申し込み手続きを行います。登録する場合は各学校の研修担当者に依頼をしてください。

【申し込み及び教員サポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項								
3 5 7	高等学校初任者研修 新規採用養護教諭研修 県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修	○サポートシステムへの入力は不要です（総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います）。								
11	高等学校2年目教員研修	○2年目教員研修対象者とは、高等学校に勤務する教諭または養護教諭で、令和5年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を指す（県外で令和5年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を含む）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、教員サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講できない」を選択し、リストから理由を選択する。								
15	高等学校3年目教員研修	○3年目教員研修対象者とは、高等学校に勤務する教諭または養護教諭で、令和4年度に愛知県に教員として採用された者全員を指す（令和3年以前の教職経験の有無は問わない）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、教員サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講できない」を選択し、リストから理由を選択する。								
20 22	高等学校中堅教諭資質向上研修 中堅養護教諭資質向上研修	<p>○受講対象者については、p.24～p.25を参照する。 <教員サポートシステム申し込み画面について> 本年度受講する者 ○「手順2」で「第1期申し込み」を選択し、必要に応じて選択や「備考」欄に下表(1)～(3)を参考にして入力する。 ○「手順4」、「選択研修」欄の選択上の注意 以下の日程に実施される選択研修にて受講したい研修内容をリストから第2希望まで選択する（内容の詳細は、「中堅教諭等資質向上研修の手引」を参照する）。 【前期】 7月22日（月） 【後期】 7月23日（火） （できる限り希望の研修を受けられるよう配慮するが、定員の都合により希望外の研修内容になることもある） ○担当教科が「理科」である者は、申し込みの際に「理科（物理）」「理科（化学）」「理科（生物）」の中からいずれか一つを選択する。 ○【後期】弾力化希望の選択については、「手順3：研修講座の選択」において、リストから「弾力化MS」「弾力化M」「弾力化S」のいずれかを選択する。ただし、MS両方を前倒して希望しても、定員の関係でどちらか一方しか受講できない場合もある。 ○【後期】弾力化受講希望者は、主任等の役割があれば「備考」欄に下表(3)を参考にして入力する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>「備考」欄への入力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 研修の受講を延期していた者が、令和6年度に研修を受講する場合</td> <td>○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例) ○令和5年度まで育児休業</td> </tr> <tr> <td>(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和6年度に対象者になる場合</td> <td>※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例) ※対象者（本県3年目で他県3年経験）</td> </tr> <tr> <td>(3) 【後期】弾力化希望者</td> <td>主任等の役割があれば入力する。 (例) 生徒指導主事</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※複数項目に該当する場合は項目ごとに改行をする</p> <p>受講対象者であるが本年度受講しない者 ○「手順2」で「延期」「対象外」を選択し、リストから理由を選択する。</p>	区分	「備考」欄への入力	(1) 研修の受講を延期していた者が、令和6年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例) ○令和5年度まで育児休業	(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和6年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例) ※対象者（本県3年目で他県3年経験）	(3) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例) 生徒指導主事
区分	「備考」欄への入力									
(1) 研修の受講を延期していた者が、令和6年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例) ○令和5年度まで育児休業									
(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和6年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例) ※対象者（本県3年目で他県3年経験）									
(3) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例) 生徒指導主事									

研修番号	研修・講座名	留意事項
27	通級指導担当教員初心者研修 自由応募	通級による指導担当教員のうち、参加を希望する教員を対象とする。 <教員サポートシステム申し込み画面について> ○「手順4」で、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等を選択する。
28	高等学校実習教員研修 指定	○地区センター委員による調整結果に基づき、参加者がある学校のみ入力する。
29	県立学校新任生徒指導主事研修	○高等学校、特別支援学校（高等部）の新任生徒指導主事全員。 ○特別支援学校（中学部）の新任生徒指導主事のうち、参加を希望する教員。 ○新任とは、これまでに生徒指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和5年度途中で新たに生徒指導主事になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
31	県立学校新任進路指導主事研修	○高等学校、特別支援学校（高等部）の新任進路指導主事全員。 ○特別支援学校（中学部）の新任進路指導主事のうち、参加を希望する教員。 ○新任とは、これまでに進路指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和5年度途中で新たに進路指導主事になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
33	県立学校新任教務主任研修	○高等学校、特別支援学校（全ての部）の新任教務主任全員。 ○新任とは、これまでに教務主任の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和5年度途中で新たに教務主任になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
34	産業教育学科主任研修	○(1) 各学校 大学科1名（全日制と専攻科を合わせて1名） (ア) 定時制については、【工業】城北つばさ・刈谷東、【商業】瀬戸工科が参加する。それ以外は任意参加とする。 (イ) 総合学科については、【工業】鶴城丘、【農業】鶴城丘・新城有教館が参加する。それ以外は任意参加とする。 (ウ) 特別支援学校高等部及び豊橋市立については任意参加とする。 ○(2) 参加は学科（系列）主任とするが、同一人物が毎年参加となる学校に限り、学科（系列）主任の候補となる教諭の代理参加を可とする。
39	県立学校新任教頭研修	○新任教頭全員 ○令和5年度途中で昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。
40	県立学校新任校長研修	○新任校長全員 ○令和5年度途中で昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。
46	外国人児童生徒教育講座 指定・自由応募	○外国人児童生徒教育担当教員及び担当する可能性のある教員で、過去に本講座を受講していない者。 <教員サポートシステム申し込み画面について> ○「手順3」で、「地区指定」「自由応募」を必ず区別し、「手順4」で、「外国人児童生徒教育担当」の経験年数を、歴任校も含めて選択する。 ○「自由応募」のみ、参加方法を「手順4」で選択する。
47	教育研究リーダー養成研修 指定	○本案内 p.99に示す「応募条件」を満たす者について入力する。 ○別に（様式6）「教育研究リーダー養成研修（県立学校）参加者推薦書」を、4月15日（月）までにセンターへメールで提出する。

研修番号	研修・講座名	留意事項
59	学級・学年づくりに生かす教育相談講座 指定	○地区センター委員による調整結果に基づき、参加者がある学校のみ入力する。 ○自由応募による参加者については、第2期に申し込む。
60	今日的課題に対応する教育相談講座 指定	
61	教育相談コーディネーター養成講座 指定	
63	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修 指定	

◆第2期申し込み◆（自由応募制研修・講座） 令和6年5月31日（金）締め切り

○研修内容、期日等は p. 33～p. 80 参照

研修番号	研修・講座名
54	看護科講座
55	学校農園活用講座
56	安全教育実技講座（フォークリフト運転業務特別教育講習）
57	農業技術講座A・B
58	特別支援教育講座A～E
59	学級・学年づくりに生かす教育相談講座
60	今日的課題に対応する教育相談講座
61	教育相談コーディネーター養成講座
63	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修

【申し込み及び教員サポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項
58	特別支援教育講座A～E	○「手順4」で、A・B・D・Eの各コースは、希望の参加方法を「センター会場」「オンライン」から選択する（オンラインでの受講は、A・B・Eコースは午前のみ、Dコースは午後のみとする。オンラインでの受講では、同コース内の他の講義や協議は受講できない）。 ※「センター会場」は人数制限あり。「センター会場」での受講ができない場合は、「オンライン」となります（Cコースを除く）。

◆eラーニング単独講座申し込み◆ 令和7年2月7日（金）まで随時受付

研修番号	研修・講座名	留意事項
e01～e57	p. 48～p. 80 参照	○総合教育センターにおける「受講許可」については、申込週の翌週に実施する。

Ⅲ-4 申し込み手続き ～特別支援学校～

◆第1期申し込み◆ 令和6年4月15日(月)必着

○研修内容、期日等は p. 23～p. 32 参照

○研修番号4「特別支援学校初任者研修」、5「新規採用養護教諭研修」、6「新規採用栄養教諭研修」、7「県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修」については、研修の申し込みは不要です。総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います。

研修番号	研修・講座名	指定	自由応募	サポートシステム備考欄への記載	必要書類 ※
12	特別支援学校2年目教員研修				
16	特別支援学校3年目教員研修				
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修			○	
22	中堅養護教諭資質向上研修				
23	中堅栄養教諭資質向上研修 【前期】【後期】【後期・弾力化MS】 【後期・弾力化M】【後期・弾力化S】				
25	特別支援学校初任者研修拠点校指導教員研修				
27	通級指導担当教員初心者研修		盲・聾		
29	県立学校新任生徒指導主事研修				
31	県立学校新任進路指導主事研修				
33	県立学校新任教務主任研修				
35	特別支援学校部主事研修				
39	県立学校新任教頭研修				
40	県立学校新任校長研修				
43	幼児教育講座		幼稚部	○	
44	保育技術講座		幼稚部		
46	外国人児童生徒教育講座		○		
47	教育研究リーダー養成研修	○			様式6
62	特別支援学校におけるセンター的機能強化講座A・B	○			

研修番号41「公立学校の臨時教員等研修」の申し込みについては、別途送付する実施要項等でお知らせします。

※ 必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」>「申し込む」からダウンロードできます。

必要事項を記入し、所属アドレス(学校代表アドレス)から総合教育センター所属アドレスへメールで提出してください。

再任用教諭・臨時的任用教員等、氏名リストに表示されない職員については、登録を行った上で申し込み手続きを行います。登録する場合は各学校の研修担当者に依頼をしてください。

【申し込み及び教員サポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項										
4 5 6 7	特別支援学校初任者研修 新規採用養護教諭研修 新規採用栄養教諭研修 県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修	○教員サポートシステムへの入力は不要です（総合教育センターで教員サポートシステムへの登録を行います）。										
1 2	特別支援学校2年目教員研修	○2年目教員研修対象者とは、特別支援学校に勤務する教諭、養護教諭または栄養教諭で、令和5年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を指す（県外で令和5年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を含む）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、教員サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講できない」を選択し、リストから理由を選択する。										
1 6	特別支援学校3年目教員研修	○3年目教員研修対象者とは、特別支援学校に勤務する教諭、養護教諭または栄養教諭で、令和4年度に愛知県に教員として採用された者全員を指す（令和3年以前の教職経験の有無は問わない）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、教員サポートシステム申し込み画面「手順2」で「2・3年研を受講できない」を選択し、リストから理由を選択する。										
2 1 2 2 2 3	特別支援学校中堅教諭資質向上研修 中堅養護教諭資質向上研修 中堅栄養教諭資質向上研修	○受講対象者については、p. 24～p. 25を参照する。 <サポートシステム申し込み画面について> 本年度受講する者 ○「手順2」で「第1期申し込み」を選択し、必要に応じて選択や「備考」欄に下表(1)～(4)を参考にして入力する。 ○「選択研修」欄の選択上の注意 以下の日程に実施される選択研修にて受講したい研修内容をリストから第2希望、もしくは第3希望まで選択する（内容の詳細は、「中堅教諭等資質向上研修の手引」を参照する。養護教諭・栄養教諭は、【後期】7月24日のみ入力する）。 【前期】8月6日（火） 【後期】7月24日（水）・7月30日（火） （できる限り希望の研修を受けられるよう配慮するが、定員の都合により希望外の研修内容になることもある） ○【後期】弾力化希望の選択については、「手順3：研修講座の選択」において、リストから「弾力化MS」「弾力化M」「弾力化S」のいずれかを選択する。ただし、MS両方を前倒して希望しても、定員の関係でどちらか一方しか受講できない場合もある。 ○【後期】弾力化受講希望者は、主任等の役割があれば「備考」欄に下表(4)を参考にして入力する。 <table border="1" data-bbox="491 1653 1426 1890"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>「備考」欄への入力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 研修の受講を延期していた者が、令和6年度に研修を受講する場合</td> <td>○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和5年度まで育児休業</td> </tr> <tr> <td>(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和6年度に対象者になる場合</td> <td>※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）</td> </tr> <tr> <td>(3) 任用替えの栄養教諭</td> <td>◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。</td> </tr> <tr> <td>(4) 【後期】弾力化希望者</td> <td>主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事</td> </tr> </tbody> </table> ※複数項目に該当する場合は項目ごとに改行をする 受講対象者であるが本年度受講しない者 ○「手順2」で「延期」「対象外」を選択し、リストから理由を選択する。	区分	「備考」欄への入力	(1) 研修の受講を延期していた者が、令和6年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和5年度まで育児休業	(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和6年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）	(3) 任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。	(4) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事
区分	「備考」欄への入力											
(1) 研修の受講を延期していた者が、令和6年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和5年度まで育児休業											
(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和6年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）											
(3) 任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。											
(4) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事											

研修番号	研修・講座名	留意事項
27	通級指導担当教員初心者研修 自由応募	○盲・聾学校の通級による指導担当教員の初心者のうち、参加を希望する教員 <教員サポートシステム申し込み画面について> ○「手順4」で、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等を選択する。
29	県立学校新任生徒指導主事研修	○高等学校、特別支援学校（高等部）の新任生徒指導主事全員 ○特別支援学校（中学部）の新任生徒指導主事のうち、参加を希望する教員 ○新任とは、これまでに生徒指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和5年度途中に新たに生徒指導主事になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
31	県立学校新任進路指導主事研修	○高等学校、特別支援学校（高等部）の新任進路指導主事全員 ○特別支援学校（中学部）の新任進路指導主事のうち、参加を希望する教員 ○新任とは、これまでに進路指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和5年度途中に新たに進路指導主事になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
33	県立学校新任教務主任研修	○高等学校、特別支援学校（全ての部）の新任教務主任全員 ○新任とは、これまでに教務主任の経験の無い者を指す（経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和5年度途中に新たに教務主任になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
35	特別支援学校部主事研修	○部主事全員
39	県立学校新任教頭研修	○新任教頭全員 ○令和5年度途中に昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。
40	県立学校新任校長研修	○新任校長全員 ○令和5年度途中に昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。
43	幼児教育講座 自由応募	○幼稚部教員が対象 ○以下の2分科会のうち、希望する分科会を教員サポートシステム申し込み画面「手順4」の「備考」欄に「主題」と入力する。 【協議主題】 幼児教育と小学校教育の円滑な接続について
46	外国人児童生徒教育講座 自由応募	○外国人児童生徒の担当教員及び担当する可能性のある教員で、過去に本講座を受講していない者。 <教員サポートシステム申し込み画面について> ○「手順3」で、「地区指定」「自由応募」を必ず区別し、「手順4」で、「外国人児童生徒教育担当」の経験年数を、歴任校も含めて選択する。 ○「自由応募」のみ、参加方法を「手順4」で選択する。
47	教育研究リーダー養成研修 指定	○本案内 p.99に示す「応募条件」を満たす者について入力する。 ○別に（様式6）「教育研究リーダー養成研修（県立学校）参加者推薦書」を、4月15日（月）までにセンターメールで提出する。
62	特別支援学校におけるセンター的機能強化講座A・B 指定	○指定された学校から1名以上受講する。 ○1名の場合、A・Bコースの両方を受講する。 ○2名以上の場合、1名はA・Bコースの両方を受講する。その他の申込者はどちらか一方のコースのみの受講も可とする。 <教員サポートシステム申し込み画面について> ○Aコース、Bコースの両方を受講する場合は、両コースをそれぞれに申し込みをする。

◆第2期申し込み◆（自由応募制研修・講座） 令和6年5月31日（金）締め切り

○研修内容、期日等は p. 33～p. 80 参照

研修番号	研修・講座名
54	看護科講座
55	学校農園活用講座
56	安全教育実技講座（フォークリフト運転業務特別教育講習）
57	農業技術講座A
58	特別支援教育講座A～E
59	学級・学年づくりに生かす教育相談講座
60	今日的課題に対応する教育相談講座
61	教育相談コーディネーター養成講座
63	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修

【申し込み及び教員サポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項
58	特別支援教育講座A～E	<p>○「手順4」で、A・B・D・Eの各コースは、希望の参加方法を「センター会場」「オンライン」から選択する（オンラインでの受講は、A・B・Eコースは午前のみ、Dコースは午後のみとする。オンラインでの受講では、同コース内の他の講義や協議は受講できない）。</p> <p>※「センター会場」は人数制限あり。「センター会場」での受講ができない場合は、「オンライン」となります（Cコースを除く）。</p>

◆eラーニング単独講座申し込み◆ 令和7年2月7日（金）まで随時受付

研修番号	研修・講座名	留意事項
e01～e57	p. 48～p. 80 参照	○総合教育センターにおける「受講許可」については、申込週の翌週に実施する。

IV 研修・講座一覧

1 キャリア・アップ研修

「学び続ける教員」を育成するため、研修体系の幹となるものとして位置付けられるものが「キャリア・アップ研修」です。教職経験に応じて教員としての基本的な資質・能力の向上を図る＜教員の基礎づくりのための研修＞と、キャリアに応じた職責遂行に必要な能力や専門性を高める＜職務に関する研修＞があります。

各研修の日数及び期日等は、以下の(1)～(7)のとおりです。

○eL印は、講座の一部を「eラーニング研修」により実施することを示します。

(1) 初任者研修

新任の教員に対して、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、必要とされる素養、指導力、マネジメント力といった資質・能力を養うとともに幅広い知見を得ることを目的とします。

研修番号	研修名	予定人数	日数	期日
1	小学校初任者研修 (※1) (※2)	500	9	○A班：4/17、5/22、6/19、10/2、10/30、2/5 ○B班：4/17、5/29、6/26、10/9、11/6、2/19 ○A班：7/25～26、B班：7/29～30（宿泊研修） ○A班・B班ともに第4回はeラーニング研修（夏季休業中） eL
2	中学校初任者研修 (※2)	250	9	○4/17、5/15、7/3、10/16、11/13、2/12 ○8/5～6（宿泊研修） ○第4回はeラーニング研修（夏季休業中） eL
3	高等学校初任者研修	260	12	○4/16、4/23、6/4、7/2、9/17、10/1、<10/15、10/22>、11/19、1/28 <>内は、指定の1日に受講 ○8/1～2（宿泊研修） ○第7回はeラーニング研修（夏季休業中） eL
4	特別支援学校初任者研修	140	12	○4/16、4/23、5/21、6/4、7/2、7/9、10/8、11/12、2/4 ○8/1～2（宿泊研修） ○第9回はeラーニング研修（夏季休業中） eL

○第1回は開講行事、最終回は閉講行事を含みます。

※1 小学校初任者研修の班編制〔A班＝尾張・海部教育事務所管内の学校 B班＝知多・西三河教育事務所管内の学校（中核市を除く）〕

※2 eラーニング研修に加え、第1回及び最終回はオンラインで行います。

詳細については、「初任者研修の手引」を御覧ください。

(2) 新規採用者研修

新規採用の教員に対して、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、必要とされる素養、指導力、マネジメント力といった資質・能力を養うとともに幅広い知見を得ることを目的とします。

研修番号	研修名	予定人数	日数	期日
5	新規採用養護教諭研修 ※1	50	10	○<小中義：4/17、県立：4/16>、5/31、7/5、10/1、11/6、12/4、1/31 ○小中義：8/5～6、県立：8/1～2（宿泊研修） ○第6回はeラーニング研修（夏季休業中） eL
6	新規採用栄養教諭研修 ※1	10	10	○<小中義：4/17、県立：4/16>、6/7、7/5、9/13 10/4、11/8、1/31 ○小中義：8/5～6、県立：8/1～2（宿泊研修） ○第6回はeラーニング研修（夏季休業中） eL
7	県立学校新規採用実習教員・ 寄宿舎指導員研修 ※2	20	2	○4/16、4/19 eL
8	幼稚園等新規採用教員研修 ※3	65	9	○4/19、7/23、7/26、7/29、8/22、10/23、2/10 ○8/5～6（宿泊研修） eL

○第1回は開講行事、最終回は閉講行事を含みます。

※1 eラーニング研修に加え、第1回及び最終回はオンラインで行います。

※2 eラーニング研修に加え、第1回はオンラインで行います。

※3 第1回はeラーニングで行います。

(3) 2年目教員研修

令和5年度に初任者研修を受講した教職経験2年目の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の全教員、新規採用養護教諭研修、新規採用栄養教諭研修を受講した教職経験2年目の高等学校、特別支援学校の養護教諭、特別支援学校の栄養教諭を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、教育上の課題に対応し得る内容について研修を行い、資質・能力の向上を図ることを目的とします（小・中・義務教育学校の養護教諭、栄養教諭は対象外）。

研修番号	研修名	予定人数	日数	期日	
9	小学校2年目教員研修	600	1	<8/23、8/26、8/27> 指定の一日に受講	
10	中学校2年目教員研修	270	1	<8/23、8/26、8/27> 指定の一日に受講	
11	高等学校2年目教員研修	220	1	11/15	eL
12	特別支援学校2年目教員研修	85	1	8/22	eL

(4) 小中学校3年目教員研修

令和4年度に初任者研修を受講した教職経験3年目の小学校、中学校、義務教育学校の全教員を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、採用後の2年間を振り返り、愛知の公教育を担う者としての立場や役割及び使命を再認識させるための研修を行います（養護教諭、栄養教諭は対象外）。

研修番号	研修名	予定人数	日数	期日等	
13	小学校3年目教員研修	520	1	<9/6、9/10> 指定の一日に受講（オンラインで実施）	eL
14	中学校3年目教員研修	260	1	<9/6、9/10> 指定の一日に受講（オンラインで実施）	eL

(5) 県立学校3年目教員研修

愛知県における教職経験が3年目の県立学校全教員を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、採用後の2年間を振り返り、愛知の公教育を担う者としての立場や役割及び使命を再認識させるための研修を行います。とりわけ、不祥事防止の決意を確かなものとし、服務規律のいっそうの確保を図ることを目的とします。

研修番号	研修名	予定人数	日数	期日	
15	高等学校3年目教員研修	200	1	10/21	
16	特別支援学校3年目教員研修	80	1	10/21	

(6) 中堅教諭等資質向上研修

【前期】は小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職経験5年経過の全教員、【後期】は、小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職経験10年経過の全教員及び教職経験9年経過の希望者、幼稚園・幼保連携型認定こども園の教職経験7年経過の教員を対象に、ミドルリーダーとしての自覚の醸成、専門性の向上、得意分野の伸長等、中堅教諭等として職務を遂行する上で必要とされる資質・能力の向上を図るために実施します。

幼稚園等中堅教諭資質向上研修の対象者

幼稚園・幼稚園型認定こども園・幼保連携型認定こども園に勤務する教諭・保育教諭のうち、在職期間が7年を経過し、以下の項目に該当する者を指します。

- (1) 原則、平成29年4月1日付け採用者。
- (2) (1)以前の採用者のうち、これまで「10年経験者研修、中堅教諭資質向上研修〔注〕」を受講していない者。
〔注〕「幼稚園10年経験者研修、中堅教諭資質向上研修」「小・中学校10年経験者研修、小・中・義務教育学校中堅教諭資質向上研修」「養護教諭10年経験者研修、中堅養護教諭資質向上研修」等を含む。その他、他府県の実施するこれに該当する研修。
- (3) (1)以降の採用者のうち、在職期間が7年を経過した者（他府県や異校種での経験がある者。ただし、講師経験は除く）。

◎在職期間の計算方法について

本案内 p.100 の「【参考資料2】幼稚園等中堅教諭資質向上研修にかかる在職期間の例」を参照してください。

中堅教諭等資質向上研修【前期】の対象者

小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校に勤務する教諭、養護教諭または栄養教諭のうち、在職期間が5年を経過し、以下の項目に該当する者を指します。

- (1) 原則、平成31年4月1日付け採用者。
- (2) (1)以前の採用者のうち、これまで「5年経験者研修〔※注〕」を受講していない者。
〔注〕 「小・中学校5年経験者研修」「高等学校5年経験者研修」「特別支援学校5年経験者研修」「養護教諭5年経験者研修」「栄養教諭5年経験者研修」、他府県の実施するこれに該当する研修。
- (3) (1)以降の採用者のうち、在職期間が5年を経過した者。
(他府県や異校種での経験がある者。ただし、講師経験は除く)
- (4) 中堅栄養教諭資質向上研修【前期】については、平成31年4月1日までに学校栄養職員から栄養教諭に任用替えをした者を含む。

◎在職期間の計算方法について

本案内 p.101 の「【参考資料3】中堅教諭等資質向上研修【前期】にかかる在職期間の例」を参照してください。

中堅教諭等資質向上研修【後期】の対象者

小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校に勤務する教諭、養護教諭または栄養教諭のうち、在職期間が10年を経過し、以下の項目に該当する者を指します。

- (1) 原則、平成26年4月1日付け採用者。
- (2) (1)以前の採用者のうち、これまで「10年経験者研修〔※注〕」を受講していない者。
〔注〕 「幼稚園10年経験者研修」「小・中学校10年経験者研修」「高等学校10年経験者研修」「特別支援学校10年経験者研修」「養護教諭10年経験者研修」「栄養教諭10年経験者研修」、それぞれ「教職経験11年目研修」を含む、他府県の実施するこれに該当する研修。
- (3) (1)以降の採用者のうち、在職期間が10年を経過した者。
(他府県や異校種での経験がある者。ただし、講師経験は除く)
- (4) 中堅栄養教諭資質向上研修【後期】については、平成26年4月1日までに学校栄養職員から栄養教諭に任用替えをした者を含む。

◎在職期間の計算方法について

本案内 p.102 の「【参考資料4】中堅教諭等資質向上研修【後期】にかかる在職期間の例」を参照してください。

<中堅教諭等資質向上研修【後期】の弾力化について>

中堅教諭等資質向上研修【後期】の研修内容を2つに分割し、定員の範囲内で、学校の事情や本人の希望を踏まえ、1年前倒しにより在職期間が9年を経過した教員が受講することも可能とするものです。Mのみ前倒しで受講、Sのみ前倒しで受講、MS両方を前倒しで受講、のいずれかを選択して受講することができます。ただし、MS両方を前倒しで希望しても、定員の関係でどちらか一方しか受講できない場合もあります。

<p>M：マネジメント等の研修</p> <p>①全体研修（夏・冬）【計2日】（養護教諭・栄養教諭は夏のみ1日）</p> <p>②マネジメント力向上のためのOJT（校内研修）</p> <p>③異校種等研修</p> <p>④eラーニング（指定のもの）</p>	<p>S：教科指導（専門領域）等の研修</p> <p>①教科指導研修（専門研修）【計2日】（養護教諭・栄養教諭は3日）</p> <p>②教科等指導力向上のためのOJT（校内研修）</p> <p>③特定課題研究</p> <p>④eラーニング（指定のもの）</p>
---	--

OMとSを分割して受講する場合も、「中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって」のeラーニングは、分割受講の初年度に受講する。

【校（園）内研修（後期については、受講の弾力化MS含む）】

研修番号	研修名	内容	
17	幼稚園等中堅教諭資質向上研修	7日～10日間の園内研修、特定課題研究	eL
18	小学校中堅教諭資質向上研修	前期 教科等指導力向上のためのOJT	eL
19	中学校中堅教諭資質向上研修		
20	高等学校中堅教諭資質向上研修	後期 教科等指導力向上のためのOJT、マネジメント力向上のためのOJT、特定課題研究	eL
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修		
22	中堅養護教諭資質向上研修	前期 指導力向上のためのOJT	eL
23	中堅栄養教諭資質向上研修	後期 マネジメント力向上のためのOJT、特定課題研究	eL

【校（園）外研修（後期については、受講の弾力化MS含む）】

研修番号	研修名	予定人数	日数	期 日		
17	幼稚園等中堅教諭資質向上研修	60	4	園外研修3日 7/25、7/30、8/20 異校種等研修1日	eL	
18	小学校中堅教諭資質向上研修	前期	490	3	全体研修1日 8/20 教科指導研修2日	eL
		後期	400	5	全体研修2日 7/31、12/25 教科指導研修2日 異校種等研修1日	eL
19	中学校中堅教諭資質向上研修	前期	240	3	全体研修1日 8/21 教科指導研修2日	eL
		後期	320	5	全体研修2日 8/1、12/26 教科指導研修2日 異校種等研修1日	eL
20	高等学校中堅教諭資質向上研修	前期	250	3	全体研修1日 7/22 教科指導研修2日	eL
		後期	280	5	全体研修2日 7/23、12/24 教科指導研修2日 異校種等研修1日	eL
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	前期	130	3	全体研修1日 7/25 専門研修2日 8/6、12/4	eL
		後期	110	5	全体研修2日 7/24、12/24 専門研修2日 7/30、8/19 異校種等研修1日	eL
22	中堅養護教諭資質向上研修	前期	50	3	全体研修1日※、専門研修2日 7/23、8/9	eL
		後期	40	5	全体研修1日※、専門研修3日 7/25、8/21、8/29 異校種等研修1日	eL
23	中堅栄養教諭資質向上研修	前期	20	3	全体研修1日※、専門研修2日 7/22、8/6	eL
		後期	10	5	全体研修1日※、専門研修3日 7/26、8/7、8/27 異校種等研修1日	eL

※ 中堅養護教諭資質向上研修、中堅栄養教諭資質向上研修の全体研修の期日は、各校種の期日と同じ。ただし、【後期】については夏のみとし、冬は参加しない。

中堅教諭等資質向上研修【後期】＜受講の弾力化Mについて＞

研修番号	研修名	予定人数	日数	期 日	
18	小学校中堅教諭資質向上研修	30	3	全体研修2日 7/31、12/25 異校種等研修1日	eL
19	中学校中堅教諭資質向上研修	20	3	全体研修2日 8/1、12/26 異校種等研修1日	eL
20	高等学校中堅教諭資質向上研修	30	3	全体研修2日 7/23、12/24 異校種等研修1日	eL
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	15	3	全体研修2日 7/24、12/24 異校種等研修1日	eL
22	中堅養護教諭資質向上研修	5	2	全体研修1日※ 異校種等研修1日	eL
23	中堅栄養教諭資質向上研修	5	2	全体研修1日※ 異校種等研修1日	eL

※ 中堅養護教諭資質向上研修、中堅栄養教諭資質向上研修の全体研修の期日は、各校種の期日と同じ。ただし、【後期】については夏のみとし、冬は参加しない。

○校内研修：「マネジメント力向上のためのOJT」

中堅教諭等資質向上研修【後期】＜受講の弾力化Sについて＞

研修番号	研修名	予定人数	日数	期 日	
18	小学校中堅教諭資質向上研修	20	2	教科指導研修2日	eL
19	中学校中堅教諭資質向上研修	15	2	教科指導研修2日	eL
20	高等学校中堅教諭資質向上研修	35	2	教科指導研修2日	eL
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	10	2	専門研修2日 7/30、8/19	eL
22	中堅養護教諭資質向上研修	5	3	専門研修3日 7/25、8/21、8/29	eL
23	中堅栄養教諭資質向上研修	5	3	専門研修3日 7/26、8/7、8/27	eL

○校内研修：「教科等指導力向上のためのOJT」（養護教諭・栄養教諭はOJTを実施しない）
「特定課題研究」

詳細については、「中堅教諭等資質向上研修の手引」を御覧ください。

(7) 職務に関する研修

職務に関する研修とは、学校及び園において、さまざまな職務を担当する教員等を対象とする研修です。学校経営に関する資質・能力や、職務に応じた職責遂行のために必要な知識・技能等の向上を図ることを目的とします。

研修番号	研修名及びねらい	対象者	予定人数	日数	期 日 等
24	小中学校初任者研修拠点校指導教員研修 *初任者研修についての共通理解を図るとともに、校内研修上の諸問題及び初任者への指導の在り方についての研修を行い、資質の向上を図ります。	小・中・義務教育学校の拠点校指導教員 ○各研修日の対象者は、「期日等」欄を参照する。 ○東三河教育事務所管内の対象者を除く。	250	4	4/3（全員） 6/5（1年目と希望者） 9/11（1年目と希望者） 12/11（1年目と希望者） 第1日 東三河教育事務所と合同開催 第2日以降 総合教育センターと東三河教育事務所で分離開催
25	特別支援学校初任者研修拠点校指導教員研修 *初任者研修における拠点校方式への共通理解を図るとともに、初任者に対する指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質の向上を図ります。	特別支援学校の拠点校指導教員	20	6	4/3、4/9、6/18、11/19、1/14、2/18
26	特別支援学級担当教員初心者研修 *特別支援学級の運営や指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質・能力の向上を図ります。	小・中・義務教育学校の特別支援学級を初めて担当する教員全員 ○過去に特別支援学校で勤務した者及び特別支援学級を担当した者を除く。	420	1	<5/28、5/31、6/28、7/5> 指定の一日に受講 eL ※集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く。ただし、eラーニング研修は東三河教育事務所管内の対象者も受講する。

研修番号	研修名及びねらい	対象者	予定人数	日数	期日等
27	通級指導担当教員初心者研修 *通級指導教室の運営や指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質・能力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 小・中・義務教育学校の通級による指導を初めて担当する教員全員 高等学校の通級による指導担当教員のうち、参加を希望する教員 盲・聾学校の通級による指導担当教員の初心者のうち、参加を希望する教員 	120	1	6/21 eL
28	高等学校実習教員研修（A：理科コース） *講義・実習を通して、実習教員として必要な知識・技術を習得し、資質・能力の向上を図ります。	高等学校の実習教員 【理科】 ○地区ごとに人数を指定する	16	1	8/23 eL
	高等学校実習教員研修（B：農業・水産コース） *刈払機の操作やトラクタ・施工用機械等の運転を通して安全教育を実施し、基本的な機械操作や取り扱い技術の習得をする中で、生徒実習指導時及び農場管理時の安全意識の高揚を図ります。また、実習教員としての使命と職責について理解を深めます。	高等学校の実習教員 【農業・水産】 ○地区ごとに人数を指定する。	13	1	8/22
	高等学校実習教員研修（C：工業コース） *講義・実習を通して、実習教員として必要な知識・技術を習得し、資質・能力の向上を図ります。	高等学校の実習教員 【工業】 ○地区ごとに人数を指定する。 ○実習教員としての経験年数がおおむね5年から15年までの者を対象とし、過去に本研修を受講していない者を優先する（地区に過去に受講済の教員しかいない場合はこの限りでない）。	13	1	8/28
29	県立学校新任生徒指導主事研修 *当面する生徒指導上の諸問題について、講義、演習、情報交換等を通じて、共通理解を深め、生徒指導を担当する教員の資質・能力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校、特別支援学校（高等部）の新任生徒指導主事全員 特別支援学校（中学部）の新任生徒指導主事のうち、参加を希望する教員 	50	2	5/31、6/25 ※2日とも午後日程、初日はオンラインで実施
30	中学校新任進路指導主事研修 *オンラインにて、進路指導に関する諸問題についての講義・研究協議を行い、資質・能力の向上を図ります。また、eラーニングで中央研修の受講報告等を視聴し、キャリア教育に関する基本方針等について共通理解を深めます。	中学校、義務教育学校の新任進路指導主事全員	100	1	8/2 ※午後日程、オンラインで実施 eL
31	県立学校新任進路指導主事研修 *進路指導に関する諸問題についての講義・研究協議を行い、資質・能力の向上を図ります。また、eラーニングで中央研修の受講報告等を視聴し、キャリア教育に関する基本方針等について共通理解を深めます。	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校、特別支援学校（高等部）の新任進路指導主事全員 特別支援学校（中学部）の新任進路指導主事のうち、参加を希望する教員 	60	2	5/24、6/5 ※2日とも午後日程、初日はオンラインで実施 eL

研修番号	研修名及びねらい	対象者	予定人数	日数	期日等
32	小中学校新任教務主任研修 *学校教育が抱える今日的課題についての講義や研究協議、教育法規演習などを通して、教務主任としての資質・能力の向上を図ります。	小・中・義務教育学校の新任教務主任全員	200	2	6/14、10/18 eL ※集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く。ただし、eラーニング研修は東三河教育事務所管内の対象者も受講する。
33	県立学校新任教務主任研修 *学校教育が抱える今日的課題についての講義や研究協議、教育法規演習などを通して、教務主任としての資質・能力の向上を図ります。	県立学校の新任教務主任全員（特別支援学校については、高等部に限らない）	80	2	6/12、10/11 eL
34	産業教育学科主任研修 *産業教育の抱える今日的な課題についての講義や協議を通して、産業教育学科主任としての資質・能力の向上を図ります。	各学校 大学科1名（全日制と専攻科を合わせて1名） (ア) 定時制については、【工業】城北つばさ・刈谷東、【商業】瀬戸工科が参加する。それ以外は任意参加とする。 (イ) 総合学科については、【工業】鶴城丘、【農業】鶴城丘・新城有教館が参加する。それ以外は任意参加とする。 (ウ) 特別支援学校高等部及び豊橋市立については任意参加とする。	100	1	6/11 ※参加は学科（系列）主任とするが、同一人物が毎年参加となる学校に限り、学科（系列）主任の候補となる教諭の代理参加を可とする。
35	特別支援学校部主事研修 *学校運営に関する諸課題について広く研修し部主事としての資質・能力の向上を図ります。	特別支援学校の部主事全員	102	1	12/10
36	園長等運営管理研修 *幼稚園教育要領等に基づいた教育内容、当面する幼児教育の諸問題、園長等に対する園運営・管理の専門的な事項について研修し、管理職や指導者としての資質・能力の向上を図ります。	公私立幼稚園の園長、公私立保育所の所長、公私立認定こども園の園長、市町村の保育行政担当者（名古屋市を含む）	55	1	7/24
37	小中学校新任教頭研修 *当面する学校教育の諸問題及び服務、地域との連携、人権教育、教育法規等について研修し、教頭としての視野を広め、経営能力及び指導力の向上を図ります。	小・中・義務教育学校の新任教頭全員	150	1	10/25 eL ※集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く。ただし、eラーニング研修は東三河教育事務所管内の対象者も受講する。

研修番号	研修名及びねらい	対象者	予定人数	日数	期日等
38	小中学校新任校長研修 * 当面する学校教育の諸問題及び服務、地域との連携、人権教育、組織マネジメント等について研修し、校長としての視野を広め、経営能力及び指導力の向上を図ります。	小・中・義務教育学校の新任校長全員	120	1	11/8 eL ※集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く。ただし、eラーニング研修は東三河教育事務所管内の対象者も受講する。
39	県立学校新任教頭研修 * 教頭の職務・役割について理解を深めるとともに、管理職としての経営能力や指導力の向上を図ります。	県立学校の新任教頭全員	70	1	5/14 eL
40	県立学校新任校長研修 * 時代の変化に対応した新しい学校づくりの手法を身に付けるとともに、学校経営者として総合的な組織マネジメント能力の向上を図ります。	県立学校の新任校長全員	50	1	5/28 eL
41	公立学校の臨時教員等研修 * 服務や人権教育、教育公務員としての在り方について研修し、資質の向上を図ります。	県立学校の臨時教員等	400	1	4/9 または 4/10
42	指導改善研修 * 「指導が不適切な教員」として認定された者に対して、学校への復帰を第一の目的とした適切な研修を実施し、意識の改善や力量の向上を図ります。	小・中・義・高・特		1年	<会場> センター及び所属校等

2 リーダー研修

リーダー研修とは、教育の諸課題に対する理解や実践力を高め、学校や地域の教育をリードするリーダー教員養成のための研修です。研修後は、個人の資質・能力の向上だけでなく、自校や地域に研修成果を還元し、専門的な知見を広めることを目的とします。47～53 の研修に応募するためには、校長の推薦が必要となります。なお、内容等の詳細については、原則として対象者の所属校に別途通知します。

各研修の日数及び期日等は、以下のとおりです。

※eL印は、講座の一部を「eラーニング研修」により実施することを示します。

研修番号	研修名及びねらい	対象者	予定人数	日数	期日等
43	幼児教育講座 * 幼児教育に関する専門的な講義や協議を行い、幼児教育の振興及び充実を図ります。	【公立幼・保・認定こども園】 教員、保育士、保育教諭 【特別支援学校幼稚部】 教員（自由応募）	300	2	5/23、8/29 名古屋市を除く eL
44	保育技術講座 * 講義や研究協議等によって、子どもの発達課題や特性に応じた保育を進めるために必要な専門技術を身に付け、指導力の向上を図ります。	【国公立幼稚園】主任（主査）及び中堅教員 【公立保育所】主任及び中堅保育士 【公立認定こども園】主任及び中堅教員、保育士、保育教諭 【特別支援学校幼稚部】中堅教員（自由応募）	55	2	8/7、8/8 名古屋市を含む
45	道徳推進講座 * 道徳科についての講義や研究協議を通して、道徳教育、心の教育のいっそうの充実を図ります。	【公立幼稚園】主任及び教諭 【私立幼稚園・公立認定こども園】主任及び教員、保育教諭（自由応募） 【小・中・義】道徳教育推進教師（地区指定）	70	1	7/31 eL
46	外国人児童生徒教育講座 * 講義、演習、研究協議などを通して、外国人児童生徒教育に必要な知識や技能を習得し、資質・能力の向上を図ります。	【小・中・義・高・特】外国人児童生徒教育担当教員及び担当する可能性のある教員で、過去に本講座を受講していない者 ※地区ごとに人数を指定する（自由応募あり） ※自由応募に限り、2日間の集合研修または、第1日午前の講義のみのオンライン参加の選択あり	56	2	6/11、 <10/9、10/22> <>内は、指定の1日に受講 eL
47	教育研究リーダー養成研修 * 理論的・実践的な教育研究を通して、課題解決能力と同僚性の構築力を身に付けたミドルリーダーの育成を目指す研修を行います。 ※研修の概要、応募条件についてはp.99を参考にしてください。	【小・中・義】校長、市町村教育委員会教育長及び教育事務所長の推薦を受けた者 【高・特】校長の推薦を受けた者	20 13	10	5/17、7/22、8/2、 8/19、2/14 上記5日の他に個別研修3日、訪問研修2日があります。
48	県立学校運営講座 * 学校経営の視点から、教育法規や財務事務、主任の立場から見た学校の課題とその対応等について研修を行い、主任として求められる資質の向上と幅広い視野に立った教育観の確立を図ります。	【高・特】校長の推薦を受けた者	80	2	10/8、10/23

研修 番号	研修名及びねらい	対 象 者	予定 人数	日数	期日等
49	教育相談特別研修 *総合教育センター及び愛知教育大学において、教育相談に関する研究を通して研修を行います。	【高】 教職経験がおおむね10年から20年の者で、校長が認めた者	3	1年	令和6年4月から 令和7年3月まで
50	小中学校社会体験型教員研修 *豊かな見識と広い視野に立った教育力を培わせ、新たな教育を推進するリーダーの養成を図ります。教員に学校以外の諸施設で、多様な体験を積み重ね、企業等の人材育成、人事管理等を学び、学校運営に生かします。社会の構成員としての視野を広げ、「持続可能な社会の創り手」を育成する学校づくりに役立てます。	【小・中・義】 校長の推薦を受けた者	3	1年	令和6年4月から 令和7年3月まで 具体的な研修内容は、派遣先と協議します。
51	大学院及び教職大学院派遣研修 *現職のまま、愛知教育大学または新教育大学（兵庫、上越、鳴門）において、長期間にわたって研修・研究を行います。	【小・中・義・特】 校長の推薦を受けた者		2年	愛知教育大学においては、教職大学院のみの研修
52	愛知教育大学特別支援教育特別専攻科内地留学研修 *特別支援教育分野の専門的知識や技術を習得し、資質・能力の向上と指導力の充実を図ります。	【小・中・義・特】 校長の推薦を受けた者		1年	愛知教育大学における研修
53	国立特別支援教育総合研究所特別支援教育専門研修 *特別支援教育分野の専門的知識や技術を習得し、資質・能力の向上と指導力の充実を図ります。	【小・中・義・特】 校長の推薦を受けた者		2か 月程 度	オンライン及び国立特別支援教育総合研究所における研修


3 スキル・アップ研修

スキル・アップ研修とは、教員としての専門的な知識・技能を補完し、進展させる研修であり、受講希望者を対象とする自由応募制による研修です。一部、地区または学校ごとに人数を指定する講座（地区指定分）があります。

＜日数及び期日、留意点＞

- ◆ **eL** 印は、講座の全部または一部を「eラーニング研修」により実施することを示します。
- ◆ 「農共実習所」は総合教育センター農業教育共同実習所の略です。
- ◆ 予定人数を超える申し込みがある場合は、各学校から代表1名の参加や抽選等に対応いたします。

研修番号	講座名	コース記号・コース名	対象者	予定人数	日数	期日	備考	
54	看護科講座		高	40	1	8/19	高校中堅研【前期】と合同開催	
55	学校農園活用講座		幼・小・中・義・高・特	20	1	8/23	<会場> 安城農林高校	
56	安全教育実技講座（フォークリフト運転業務特別教育講習）		高・特	10	2	8/20 8/21	<会場> 農共実習所	
57	農業技術講座	A	パワーアシストスーツの活用について	幼・小・中・義・高・特	20	1	8/8	<会場> 農共実習所
		B	農作業管理機械の基礎	高（農業関係高校）	25	1	8/8	<会場> 農共実習所
58	特別支援教育講座	A	自立活動セミナー1	幼・小・中・義・高・特	70	1	7/30	センター会場（終日） またはオンライン （午前のみ）
		B	自立活動セミナー2	幼・小・中・義・高・特	70	1	8/2	センター会場（終日） またはオンライン （午前のみ）
		C	自立活動セミナー3	幼・小・中・義・高・特	40	1	7/24	
		D	アセスメントセミナー	幼・小・中・義・高・特	70	1	8/23	センター会場（終日） またはオンライン （午後のみ）
		E	ICT活用セミナー	幼・小・中・義・高・特	30	1	7/29	センター会場（終日） またはオンライン （午前のみ）
59	学級・学年づくりに生かす教育相談講座		小・中・義・高・特	40	2	8/29 10/4	地区指定（高校） eL	
60	今日的課題に対応する教育相談講座		小・中・義・高・特	40	2	7/29 9/27	地区指定（高校） eL	
61	教育相談コーディネーター養成講座		小・中・義・高・特	40	2	8/6 10/22	地区指定（高校） eL	
62	特別支援学校におけるセンター的機能強化講座	A	ベーシック	特	30	2	5/21 8/22	学校指定（特支） 第1日はオンライン
		B	アドバンス	特	30	1	1/28	学校指定（特支）
63	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修		高・特	30	3	7/25 10/4 12/25	地区指定（高校） eL	
64	ICT活用実践講座		小・中・義	80程度	1	8/28 または 8/29	指定日に受講 <会場> 愛知教育大学	

＜eラーニング単独講座＞

◆令和7年2月7日（金）申し込み分まで、随時、応募を受け付けます（p. 48～p. 80参照）。

全ての教職員が受講できます（事務職員の方も申し込みください）。

研修番号	講座名	対象者	学習期間
e 0 1	小学校社会科講座～授業構想の工夫～	全 教 職 員	7/1～ 2/28
e 0 2	小学校算数科講座～授業構想の工夫～		
e 0 3	小学校理科講座～授業構想の工夫～		
e 0 4	小学校体育科講座～授業構想の工夫～		
e 0 5	小学校音楽科講座～授業構想の工夫～		
e 0 6	中学校理科講座～授業構想の工夫～		
e 0 7	中学校保健体育科講座～授業構想の工夫～		
e 0 8	中学校音楽科講座～授業構想の工夫～		
e 0 9	高等学校国語科講座～授業構想の工夫～		
e 1 0	高等学校地理歴史・公民科講座～授業構想の工夫～		
e 1 1	高等学校数学科講座～授業構想の工夫1～		
e 1 2	高等学校数学科講座～授業構想の工夫2～		
e 1 3	高等学校理科講座～授業構想の工夫～		
e 1 4	高等学校英語科講座～授業構想の工夫～		
e 1 5	高等学校情報科講座～情報 I 「プログラミング」～		
e 1 6	生活科講座～基礎・基本から考える～		
e 1 7	小学校英語の基礎講座		
e 1 8	理科観察・実験指導基礎講座		
e 1 9	道徳教育講座～考え議論する道徳～		
e 2 0	主権者教育推進講座		
e 2 1	高等学校におけるキャリア教育の進め方講座		
e 2 2	総合的な学習の時間講座～探究の扉を開く～		
e 2 3	「国際英語」教育の理論と実践講座		
e 2 4	Integrating Language & Content in an English Class		
e 2 5	産業教育における評価の在り方講座		
e 2 6	産業教育における金融経済教育の進め方講座		
e 2 7	教育評価の在り方講座		
e 2 8	オンライン教育の在り方講座		
e 2 9	情報モラル教育講座		
e 3 0	教師のための情報危機管理講座		
e 3 1	カリキュラム・マネジメント講座		
e 3 2	効果を上げる授業研究の在り方講座		
e 3 3	校内研修と授業研究の効果的な進め方講座		
e 3 4	E S D 推進講座		

研修 番号	講 座 名		対象者	学習期間		
e 3 5	愛知の特別支援教育基礎講座		全 教 職 員	7/1～ 2/28		
e 3 6	発達障害の理解と支援講座	A			発達障害の理解① ～基礎的な理解と具体的な支援～	
		B			発達障害の理解② ～発達障害と他の精神的問題とを見分けるために～	
		C			行動への支援① ～行動をどのようにとらえるか～	
		D			行動への支援② ～支援方法を考えるときに重要なこと～	
		E			感情マネジメント ～自分の感情と上手く付き合うための方法～	
e 3 7	視覚障害の理解と支援講座					
e 3 8	聴覚障害の理解と支援講座					
e 3 9	児童生徒の強みを生かす教育相談講座					
e 4 0	いじめの組織的な未然防止講座					
e 4 1	不登校支援と予防講座～多様な背景を踏まえた学校での支援と予防～					
e 4 2	性の多様性の理解推進講座					
e 4 3	外国人児童生徒教育基礎講座～現状と課題～					
e 4 4	特別支援教育における教育課程講座					
e 4 5	教育相談の心得講座～個別面談に際して～					
e 4 6	組織的な教育相談のための力量向上講座					
e 4 7	通級による指導・支援の在り方講座					
e 4 8	肢体不自由児の理解と支援講座					
e 4 9	「チーム学校」を生かす教育相談体制づくり講座					
e 5 0	SDG s 理解講座	A			SDG s 達成に向けた J I C A の取組	
		B			SDG s 達成に向けた学校での実践例	
e 5 1	学校安全推進講座	A			子どもの安全と安心を守る	
		B			学校における防災管理について	
e 5 2	地域学校協働活動推進講座	A	基礎編			
		B	リーダー編			
e 5 3	社会人としてのマナー講座					
e 5 4	職場のメンタルヘルス講座	A	職場のメンタルヘルス ～アルコール依存症を知ろう～			
		B	学校現場の職場ストレスとその対処法			
e 5 5	心が軽くなるコミュニケーション講座					
e 5 6	G I G A スクール構想の在り方講座					
e 5 7	O J T 推進講座					

【スキル・アップ研修の詳細について】

スキル・アップ研修の各講座は、教科及び領域等の専門的な内容を深め、実践的な指導力の向上を図ることを目的として実施します。

原則として自由応募制ですが、研修番号60～64の講座は予定人数の一部を地区指定等で募集します。
 ※各講座の当日の受付時間は、講座開始30分前からですが、一部の講座では集合時刻が指定されています。
 ※予定人数を超える申し込みがある場合は、各学校から代表1名の参加や抽選等で対応いたします。
 ※追加連絡、課題等の詳細については6月下旬に教員サポートシステム「研修 MyPage」及び「学校ページ」で通知します。必ず御確認をお願いします。

講座・コース名	54 看護科講座		
ねらい	看護師として働くことの意義について生徒が理解でき、卒業後、看護労働力の一員としてさまざまな困難を乗り越えながら就労が継続できるように看護科教員の指導力向上を図る。		
対象者	【自由応募】私立高等学校を含む高等学校の看護科教員	予定人数	40人 ※中堅研【前期】受講対象者を含む
期日・時間・会場	内 容 等		
8月19日(月) 9:30～16:30 総合教育センター 大講義室	【講義・演習：医療現場における現状と課題 ～学生時代から看護師のリアルを伝えておくことの重要性～ 1. 看護労働者としての心構えと責任ある行動 2. 良好な人間関係構築のためのコミュニケーション 3. さまざまなリアルへの予防策 【協議：看護教育の現状と課題】 看護教育に関する最新の情報を共有し、看護科が抱える課題の解決に向けた方策を協議します。		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	55 学校農園活用講座		
ねらい	学校で栽培する野菜や草花、飼育する小動物や造園・木材加工等について基礎的な知識・技術の習得を目指します。また、それらを教材として活用した効果的な指導方法について理解を深め、指導力の向上を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	20人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月23日(金) 9:30～16:30 ・集合時刻 9:20 安城農林高等学校	【講義・実習：小動物の活用について】 小動物の管理法について学び、それらを教材として活用した実習を行います。 【講義・実習：草花の活用について】 学校花壇に植栽する草花（主に花壇苗）の基礎的な栽培・管理方法について学び、それらを教材として活用した実習を行います。		
備 考	・課題なし ・材料費は自己負担です。 ・実習のできる服装、帽子、軍手を持参してください。 ・本講座は、「野菜」「草花」「小動物」「造園・木材加工」の部門について、ローテーションで実施します。		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	56 安全教育実技講座（フォークリフト運転業務特別教育講習）		
ねらい	フォークリフトの基本操作や基本運転を行い、安全運転に関する知識・技能を高め、安全教育の充実と教科指導力の向上を図ります。 労働安全衛生法に基づく特別教育を実施し、修了証を交付します。		
対象者	【自由応募】高等学校、特別支援学校の産業教育関係 学科教員	予定人数	10人程度
期日・時間・会場	内 容 等		
8月20日（火） 9:05～16:30 ・集合時刻 8:50 農業教育共同実習所	【学科講習】 フォークリフトに関する構造や機能、点検・整備・輸送方法の他、災害事例や関係法令などについて研修します。 【学科試験】 関係法令及びフォークリフトに関する内容について、学科試験を行います。		
8月21日（水） 9:15～16:30 ・集合時刻 9:00 農業教育共同実習所	【実技講習】 フォークリフトに関する基本操作や運転（基本運転・作業運転）について、実技講習を行います。		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・研修初日に、テキスト代金1,650円を集合します。 ・昼食及び実習のできる服装、靴、帽子、タオル、水筒等を持参してください。 ・紫外線対策として、屋外での実習はサングラス等を着用しての受講を認めます。 ・本講座は、3年間のローテーション（〔フォークリフト運転業務特別教育講習（本年度）〕→〔大型特殊自動車運転免許取得講習〕→〔小型車両系建設機械運転業務特別教育講習〕）で実施します。 		
問い合わせ先	農業教育共同実習所 電話 0566-76-4071		

講座・コース名	57-A 農業技術講座 パワーアシストスーツの活用について		
ねらい	農業機械をはじめとする先端的・実践的な農業に関する技術を通して、学習指導要領を踏まえた教科「農業」への活用方法や農業の可能性について理解を深め、授業力の向上を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	20人程度
期日・時間・会場	内 容 等		
8月8日(木) 9:30~12:00 ・集合時刻 9:15 農業教育共同実習所	<p>【講義：アシストスーツの農業における取組について】 作業時の腰の身体的負担の軽減を目的とするアシストスーツの概要を学び、農業における取組についての実践例を学びます。</p> <p>【講義・実演：パワーアシストスーツ着用による身体負担軽減体験について】 アクティブ型・内骨格型のパワーアシストスーツを着用し、重量物の持ち上げ・移動・荷下ろしの作業を体験し、先端的・実践的な技術を学びます。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・紫外線対策や熱中症対策として、サングラスや帽子、タオル、水筒等を持参してください。 ・実技講習は、屋内外で実施します。汚れてもよい靴を持参してください。 ・アシストスーツを着用するため、スカートは避けズボンでお越しください。 ・天候により実演内容を変更することもあります。 ・民間業者による講義・実演を予定しています。 		
問い合わせ先	農業教育共同実習所 電話 0566-76-4071		

講座・コース名	57-B 農業技術講座 農作業管理機械の基礎		
ねらい	農業科教員として基本となる刈払機や歩行用トラクタなど農作業管理機械の基礎と操作の知識・技術を習得し、実習指導に必要な安全意識を定着させ、授業力の向上を図ります。		
対象者	【自由応募】高等学校の農業科教員	予定人数	25人程度
期日・時間・会場	内 容 等		
8月8日(木) 13:30~16:30 ・集合時刻 13:15 農業教育共同実習所	<p>【講義：農業労働災害の実態と予防について】 農業労働災害の実態と予防方法を知り、刈払機や歩行用トラクタの基本構造や事故事例など安全に使用方法についての知識を習得します。</p> <p>【講義・実技講習・協議：農作業管理機械の安全操作について】 刈払機や歩行用トラクタの操作実習を通して、上記講義内容をより深め、実践力の向上を図ります。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・実習のできる服装、靴、帽子、軍手を持参してください。 ・紫外線対策や熱中症対策として、サングラスやタオル、水筒などを持参してください。 ・農業機械基礎講習ワークシート①及び②を持参してください。 		
問い合わせ先	農業教育共同実習所 電話 0566-76-4071		

講座・コース名	58-A 特別支援教育講座 自立活動セミナー1		
ねらい	自立活動の指導に関する基礎的な知識・技能の習得を図ります（自閉症・情緒障害を主とする）。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	70人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月30日（火） 9:30～16:30 総合教育センター 第13・14講義室 ※午前のみ オンライン（双方向型） 配信あり	<p>午前【講義・協議：自閉症・情緒障害のある幼児児童生徒の理解と支援 ～自立活動の指導の実際～】 自閉症・情緒障害を主とする障害の状態や特性等、実態に即した自立活動の指導の工夫を学び、自立活動の授業づくりについて協議します。</p> <p>午後【講義・協議：自閉症・情緒障害のある幼児児童生徒に対する学習・生活の支援の在り方】 自閉症・情緒障害を主とする幼児児童生徒の実態に即した学習・生活の支援の在り方について協議します。</p>		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	58-B 特別支援教育講座 自立活動セミナー2		
ねらい	自立活動の指導に関する基礎的な知識・技能の習得を図ります（知的障害を主とする）。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	70人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月2日（金） 9:30～16:30 総合教育センター 大講義室 ※午前のみ オンライン（双方向型） 配信あり	<p>午前【講義・協議：知的障害のある幼児児童生徒の理解と支援 ～自立活動の指導の実際～】 知的障害を主とする障害の状態や特性等、実態に即した自立活動の指導の工夫を学び、自立活動の授業づくりについて協議します。</p> <p>午後【講義・協議：知的障害のある幼児児童生徒に対する学習・生活の支援の在り方】 知的障害を主とする幼児児童生徒の実態に即した学習・生活の支援の在り方について協議します。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・当日、授業で使用している自立活動教材を持参してください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	58-C 特別支援教育講座 自立活動セミナー3		
ねらい	自立活動の指導に関する基礎的な知識・技能の習得を図ります（肢体不自由を主とする）。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	40人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月24日（水） 9:30～16:30 総合教育センター 第13・14講義室	<p>【講義：肢体不自由のある幼児児童生徒のリハビリテーション ～医療と教育の連携を踏まえて～】 リハビリテーションにおける理論と技法について、また、学校と外部機関の連携を強化していく重要性について学びます。</p> <p>【講義・協議：肢体不自由のある幼児児童生徒の理解と支援 ～自立活動の指導の実際～】 肢体不自由を主とする障害の状態や特性等、実態に即した自立活動の指導の工夫を学び、自立活動の授業づくりについて協議します。</p>		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	58-D 特別支援教育講座 アセスメントセミナー		
ねらい	幼児児童生徒の理解と支援につなげるアセスメントの基礎的知識及び検査結果（WISC-IV）の解釈・活用の習得を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	70人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月23日（金） 9:30～16:30 総合教育センター 大講義室 ※午後のみ オンライン（双方向型） 配信あり	<p>午前【講義：困難さの理解と支援につなげるアセスメント】 アセスメントに関する基礎的な知識を学びます。</p> <p>午後【講義・演習：事例による解釈・活用】 WISC-IVの検査結果の基礎的解釈を学びます。事例を基に学習上又は生活上の困難さの原因を理解し、その対応について考えます。</p>		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	58-E 特別支援教育講座 ICT活用セミナー		
ねらい	特別支援教育におけるICT機器の効果的な活用に向けて、基礎的な知識や技能の習得を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	30人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月29日(月) 9:30~16:30 総合教育センター 第1情報実習室 第2情報実習室 ※午前のみ オンライン(双方向型) 配信あり	<p>【講義：特別支援教育におけるICT機器の効果的な活用】 特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の支援に必要なICT機器の効果的な活用等について学びます。</p> <p>【演習：ICT機器の活用の基礎(タブレット端末の活用含む)】 ICT機器を活用した具体的な支援・指導の工夫等について学びます。</p>		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	59 学級・学年づくりに生かす教育相談講座 eL		
ねらい	教員として必要な教育相談に関する基礎的な知識や技能を習得し、児童生徒の理解や学級・学年づくりに生かすことができる力量を養います。		
対象者	【指定】 高等学校 【自由応募】 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※学級担任・学年主任等、学年団の中心となりOJTにより基礎的な知識や技能を普及できる者	予定人数	40人
地区指定			
期日・時間・会場	内 容 等		
8月29日(木) 9:30~16:30 総合教育センター 第13・14講義室 大講義室	【講義：子どもの問題をどうみるか】 心理専門家の視点における、児童生徒の理解と支援方法についての基礎的な知識・理論を学び、具体的な事例を通して理解を深めます。 【講義：人間関係づくりトレーニング】 人間関係づくりに必要な知識を学び、体験的に学習します。 【講義・演習：学級・学年づくりに生かす学校教育相談】 学校教育相談の視点から、「学級・学年づくり」の手法を学び、日頃の業務への活用方法を検討します。		
10月4日(金) 9:30~16:30 総合教育センター 第13・14講義室	【講義：ソーシャルワークの視点を学ぶ】 「福祉分野」の視点における、児童生徒の理解と支援方法についての基礎的な知識・理論を習得し、具体的な事例を通して理解を深めます。 【講義：通常の学級における特別支援教育】 「特別支援教育」の視点から、児童生徒の理解と支援方法についての知識・理論を学び、具体的な事例を通して理解を深めます。 【講義・演習：組織を生かす教育相談体制づくり】 架空事例を基に事例検討を行い、教育相談における資質・能力の向上を図ります。		
備 考	・課題なし ・本講座は、その一部を「eラーニング研修」によって実施します。 ※eラーニング研修の概要は、本案内p.82~p.89を御覧ください。		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	60 今日の課題に対応する教育相談講座 eL		
ねらい	教育相談を中心となって担当する上で必要な理論・技法及び姿勢を学び、教育活動に生かすことができる力量を養います。		
対象者 地区指定	【指定】 高等学校 【自由応募】 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※学校教育相談の中心となって推進する者	予定人数	40人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月29日(月) 9:30~16:30 総合教育センター 第10講義室	【講義：いじめ・不登校などの今日的課題を考える（性の多様性・LGBTも含む）】 今日の課題の原因及び経過の段階について理解し、支援の仕方を学びます。 【講義：外国にルーツをもつ子どもたちの受け入れを～「多文化共生」の学び、育ちへ～】 外国にルーツをもつ児童生徒の発達・成長を支援するために必要な知見や姿勢、具体的な対応について学びます。 【講義・協議：今日的課題に関する情報共有】 学校現場における課題を共有し、講義で得た知見等を基に解決策を探ります。		
9月27日(金) 9:30~16:30 総合教育センター 第13・14講義室	【講義：ネット・スマホ依存・電子スクリーン症候群（ESS）について】 依存症の本質や脳への影響とともに電子スクリーン症候群を理解し、ネット・スマホへの依存を予防するための具体的な方法について学びます。 【講義：すぐに使える学校トラブルの法律知識と弁護士も含めた「チーム学校」】 学校現場と弁護士の関わりや連携の仕方、法的視点から見る保護者対応などに関する理解を深め、現在深刻化しつつある諸問題について考えます。 【講義・協議：今日的課題に対して学校ができること】 今日の課題について、教育相談の立場から「学校ができること」を協議し、対応の在り方を検討します。		
備 考	・課題なし ・本講座は、その一部を「eラーニング研修」によって実施します。 ※eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	61 教育相談コーディネーター養成講座 eL		
ねらい	地域・学校における教育相談の推進に向けて、他職種の専門性を理解し、個別の事例に対応した校内・校外の連携をコーディネートする人材の育成を目指します。		
対象者	【指定】 高等学校 【自由応募】 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※教育相談の基本的な理論や技法をもち、学校内外の連携の中核を担う者	予定人数	40人
	地区指定		
期日・時間・会場	内 容 等		
8月6日(火) 9:30～16:30 総合教育センター 第10講義室	【講義：学校教育相談で出会う問題と保護者、関係機関との連携】 愛着や虐待、自傷行為などの学校教育相談で出会う問題について理解を深め、予防的なアプローチや適切な支援に向けた連携の在り方を考えます。 【講義：校内連携と外部連携におけるコーディネーターの在り方について】 事例の「見立て（情報の分析と予測）」と「対応」のポイントを理解し、校内連携・外部連携におけるコーディネーターの役割と在り方について考えます。 【実習：校内連携を意識したグループワーク】 グループワークを通して、学校での教育相談における校内連携の現状や課題を共有し、更なる推進の手だてや課題解決の方法について検討します。		
10月22日(火) 9:30～16:30 総合教育センター 第13・14講義室 第6講義室 第7講義室 第8講義室	【講義：精神医学から見た児童生徒の現状とその対応】 精神医学の観点から、児童生徒の情緒障害（うつ病等）や発達障害について理解を深めることで、学校と医療との連携について考える機会とします。 【協議：スクールソーシャルワークの視点を取り入れた事例検討の進め方】 スクールソーシャルワークの視点を取り入れた問題解決を重視した事例検討モデルを体験し、校内・外部連携におけるコーディネートについて考えます。 【実習：いじめ未然防止の事例ワーク】 グループワークを通して、いじめの組織的な未然防止の意義を理解し、いじめに対する予防的な生徒指導への意識を高めます。		
備 考	・課題なし ・本講座は、その一部を「eラーニング研修」によって実施します。 ※eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		


講座・コース名	62-A 特別支援学校におけるセンター的機能強化講座 ベーシック		
ねらい	特別支援学校におけるセンター的機能に関する基礎的な知識及び技能を習得し、地域の中で特別支援教育を推進するための基礎的な資質や能力を向上させる。		
対象者	【指定】特別支援学校の教員	予定人数	30人
期日・時間・会場	内 容 等		
5月21日(火) 9:30~12:30 各所属 オンライン開催	<p>【講義：特別支援教育に関する相談支援機能① ～地域におけるセンター的機能の役割～】 地域支援に必要な教育相談の基礎的な知識を学びます。</p> <p>【講義：発達障害の理解と支援①～発達障害に関する基礎的理解～】 発達障害についての基礎的な理解と対応、学校のニーズについて学びます。</p>		
8月22日(木) 9:30~16:30 総合教育センター 第1情報実習室	<p>【講義：発達障害の理解と支援②～アセスメントから支援につなげる～】 発達障害児支援におけるアセスメントの意義や、基礎的な方法について学びます。</p> <p>【演習：発達障害の理解と支援③～仮想事例から支援を検討する～】 仮想事例を基にグループ協議を行い、アセスメントからの具体的な支援を考えます。</p> <p>【協議：特別支援学校におけるセンター的機能の実際① ～各校における実施状況と課題～】 巡回指導等、各校の地域支援の現状と課題の報告を基にグループ協議を行い、センター的機能の役割についての基礎的な理解を深めます。</p>		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		


講座・コース名	62-B 特別支援学校におけるセンター的機能強化講座 アドバンス		
ねらい	特別支援学校におけるセンター的機能に関する発展的な知識及び技能を習得し、地域の中で特別支援教育を推進するためのより専門的な資質や能力を向上させる。		
対象者	【指定】特別支援学校の教員	予定人数	30人
期日・時間・会場	内 容 等		
1月28日(火) 9:30~16:30 総合教育センター 第1情報実習室	<p>【講義：特別支援教育に関する相談支援機能②～教育相談の意義と実際～】 教育相談に必要な心理面の捉え方等、より実践的な知識を学びます。</p> <p>【講義：発達障害の理解と支援④～保護者や学校との連携～】 地域支援を進める上で大切になる保護者や学校との連携について、知識や心構えについて学びます。</p> <p>【協議：特別支援学校におけるセンター的機能の実際② ～ケース検討を通して支援体制構築について考える～】 各校の相談事例を基にグループ協議を行い、センター的機能における支援体制構築についての理解を深めます。</p>		
備 考	・課題あり 詳細は事前に連絡します。		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		


講座・コース名	63 あいちクラスルーム・エバンジェリスト（ACE）養成研修 eL		
ねらい	日本マイクロソフト株式会社のサポートを受けながら、各学校に整備されたICT環境を利用して、ICTを効果的に活用した授業を実践する力を身に付け、基礎から応用までのICTスキルを広く県内の教員に普及・指導できる教員を養成するための研修です。		
対象者	【指定】 高等学校の教員 【自由応募】 高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	30人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月25日（木） 13:30～16:30 各所属 オンライン開催	<p>【講義：働き方改革・教え方改革・学び方改革概論】 ICT環境とこれからの世界を想像し、意識改革の概論を理解します。</p> <p>【講義：ACEとしてできること】 具体的な実践事例や研修の様子を知ること、ACEの認識を深めます。</p> <p>【協議：ICT環境に関する情報共有】 各学校のICT環境について情報共有をし、講義で得た知見等を基に解決策や実践計画を考察します。</p>		
10月4日（金） 14:00～16:10 各所属 オンライン開催	<p>【協議：グループワークのテーマに関する中間報告・情報共有】 グループワークの内容を発表し、情報共有を行います。</p>		
12月25日（水） 13:30～16:30 各所属 オンライン開催	<p>【協議：グループワークのテーマに関する最終報告・情報共有】 グループワークの内容を発表し、情報共有を行います。また、ACEとしてどのように普及・啓発できるか協議し、その対応策を考察します。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・一定の条件を満たした参加者には、ACEの認定をします。 ・本講座は、その一部を「eラーニング研修」によって実施します。 <p>※eラーニング研修の概要は、本案内p. 82～p. 89を御覧ください。</p>		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		


講座・コース名	64 ICT活用実践講座		
ねらい	GIGAスクール構想の実現に向けて、児童生徒の学校生活や授業における学びをより充実させるために、現場の教員が円滑にICT教育を推進できることを目指します。		
対象者	【自由応募】小学校、中学校、義務教育学校の教員	予定人数	各日40人程度
期日・時間・会場	内 容 等		
8月28日(水) または 8月29日(木) のうち、指定の1日 13:00~16:30 愛知教育大学 教育交流館2F 第1PCルーム	<p>【講義：主体的・対話的で深い学びにつながるICT機器を活用した授業づくり】 ICTを活用した教科指導における新しい学びを実現するための視点について理解を深めます。</p> <p>【ワークショップ：学習内容・効果に照らしたICT機器を活用した授業づくりと発表】 ワークショップを通して、授業におけるICT活用のポイントや、方法と効果の結び付けについて理解を深めます。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・外部ネットワークに接続可能なタブレット端末の持ち込みができる場合は、予定人数を超過しても受講できます。 ・研修でICTを活用した実践の授業案を考えます。実践したい教科・領域の教科書または指導書等を持参してください。 ・7月中に、教員サポートシステムで日程等の追加連絡があります。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		


＜eラーニング単独講座＞


講座・コース名	e01 小学校社会科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	小学校社会科の重要なポイントについて学習し、問題解決的な学習のプロセスを通して育成する資質・能力や授業構想上の知見を広げることをねらいとします。		
講師	愛知教育大学 准教授 真島 聖子		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> こどもの意見表明と多様な社会参画 価値観の多様化と判断力の育成 問いを立てる・問いを吟味する つなげる力を鍛える 地域との連携・外部資源の活用 	


講座・コース名	e02 小学校算数科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	小学校学習指導要領算数科の趣旨を解説し、そのポイントを授業構想に生かすことができるようにします。児童が数学的な見方・考え方を働かせ、主体的に取り組むことができる授業づくりの方法を学び、授業力の向上を目指します。		
講師	岐阜聖徳学園大学 教授 鈴木 明裕		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 基本の確認 「て」「め」「あたま」を意識した算数授業 教材研究の第一歩 導入の工夫 	


講座・コース名	e 0 3 小学校理科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	小学校学習指導要領理科の趣旨を解説し、そのポイントを授業構想に生かすことができるようにします。特に、児童が理科の見方・考え方を働かせ、主体的に取り組むことができる授業のつくり方について説明します。		
講 師	愛知教育大学 教授 大鹿 聖公		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 1 小学校学習指導要領理科の趣旨及びポイントの解説 2 小学校理科における見方・考え方 3 児童が主体的になる授業づくり 4 育成を目指す資質・能力に基づく授業評価 	


講座・コース名	e 0 4 小学校体育科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	体育科の授業に関する基礎的・基本的な内容について学習し、授業力の向上を図ることをねらいとします。		
講 師	愛知教育大学 教授 森 勇示		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> ①「主体的・対話的で深い学びの実現」 <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでの体育 2 「主体的学び」とは 3 「深い学び」のための「対話的学び」 ②「教材づくり 課題づくり」 <ol style="list-style-type: none"> 1 運動条件を「足し算・かけ算」する 2 課題をつくる <p>※ e07と同じ教材になります。</p>	


講座・コース名	e 05 小学校音楽科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	音楽科の授業に関する基礎的・基本的な内容について学び、児童が主体的に取り組むことができる授業づくりの方法を学び、授業力の向上を図ることをねらいとします。		
講師	愛知教育大学 教授 新山王 政和		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 音楽科の授業で目指すこと 音楽科における「知識」「技能」「習得・活用・探求」 「曲想」と「音楽の構造」 音楽科における評価の基本 	


講座・コース名	e 06 中学校理科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	中学校学習指導要領理科の趣旨を解説し、そのポイントを授業構想に生かすことができるようにします。特に、生徒が理科の見方・考え方を働かせ、主体的に取り組むことができる授業のつくり方について説明します。		
講師	愛知教育大学 教授 大鹿 聖公		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 中学校学習指導要領理科の趣旨及びポイントの解説 中学校理科における見方・考え方 生徒が主体的になる授業づくり 育成を目指す資質・能力に基づく授業評価 	


講座・コース名	e07 中学校保健体育科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	保健体育科の授業に関する基礎的・基本的な内容について学習し、授業力の向上を図ることをねらいとします。		
講師	愛知教育大学 教授 森 勇示		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 	①「主体的・対話的で深い学びの実現」 1 これまでの体育 2 「主体的学び」とは 3 「深い学び」のための「対話的学び」 ②「教材づくり 課題づくり」 1 運動条件を「足し算・かけ算」する 2 課題をつくる ※ e04と同じ教材になります。		


講座・コース名	e08 中学校音楽科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	音楽科の授業に関する基本的な内容について学び、生徒が主体的に取り組むことができる授業づくりの方法を学び、授業力の向上を図ることをねらいとします。		
講師	愛知教育大学 教授 新山王 政和		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 	1 音楽科の授業で目指すこと 2 音楽科における「知識」「技能」「習得・活用・探求」 3 音楽科における評価の基本 4 教師自身の音楽観を広げる		


講座・コース名	e 0 9 高等学校国語科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	高等学校国語科にかかる基本的な目標設定の仕方や評価規準等について学習し、言語活動を通して育成する資質・能力の評価方法など、授業構想上の知見を広げることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和5年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 「目指す生徒像」と「年間の学習指導計画」の設定 「単元の目標」と「言語活動」の設定 「単元の評価規準」と「評価方法」の設定 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 「振り返り」と「PDCAサイクル」 		


講座・コース名	e 1 0 高等学校地理歴史・公民科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	地理歴史科、公民科にかかる基本的な事項及び言語活動を中心とした単元構想の在り方等について学習し、地理歴史科、公民科の「指導と評価の一体化」や「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習活動について理解を深めることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 地理歴史科・公民科の学習指導と評価について 各科目における実践事例 		


講座・コース名	e 1 1 高等学校数学科講座～授業構想の工夫 1～  (単独)		
ねらい	高等学校数学の授業に関する基礎的・基本的な内容について学習し、授業力の向上を図ることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和5年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業づくりに向けて、授業の計画について 2 授業の実践について 3 授業の評価と改善について 		


講座・コース名	e 1 2 高等学校数学科講座～授業構想の工夫 2～  (単独)		
ねらい	高等学校数学の授業に関する数学的課題と課題学習について学習し、授業力の向上を図ることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和5年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「主体的・対話的で深い学び」と数学的活動について 2 パフォーマンス評価について 		


講座・コース名	e 1 3 高等学校理科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	高等学校学習指導要領理科の趣旨を解説し、そのポイントを授業構想に生かすことができるようにします。特に、理科で育成を目指す資質・能力である「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を身に付けるために、「主体的・対話的で深い学び」や探究の過程を意識した授業づくりと評価方法について説明します。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 高等学校学習指導要領理科の趣旨及びポイントの解説 <ul style="list-style-type: none"> 改訂の趣旨及び要点 理科の目標 理科の科目編成 内容の構成の考え方と示し方 育成を目指す資質・能力を身に付けることを意識した高等学校理科の授業の工夫 <ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」を意識した指導法 探究の過程を重視した指導法 育成を目指す資質・能力に基づく授業評価 	


講座・コース名	e 1 4 高等学校外国語(英語)科講座 ～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	学習指導要領の内容を中心に、高等学校の英語教育に求められていることについて学習するとともに、授業の中心となる言語活動とパフォーマンステストの効果的な実施方法と評価方法について理解を深めます。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 英語教育に求められていること 学習指導要領における目標 愛知県の英語教育 言語活動について 評価について 	


講座・コース名	e 15 高等学校情報科講座～情報 I 「プログラミング」～  (単独)		
ねらい	情報 I の「コンピュータとプログラミング」「情報通信ネットワークとデータの活用」の内容について自主的に学び、授業力の向上を図ります。		
講師	愛知教育大学 教授 安本 太一		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和 5 年度
教材学習期間	令和 6 年 7 月 1 日 (月) ～令和 7 年 2 月 2 8 日 (金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和 7 年 2 月 7 日 (金) まで、申し込みを受け付けます。 e ラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2 ～p. 8 9 を御覧ください。 	「プログラミング」Python の Pandas による量的データの分析 1 Pandas の基本 2 CSV、統計量の意味と算出 3 ネットワークを利用したデータの取得		


講座・コース名	e 16 生活科講座～基礎・基本から考える～  (単独)		
ねらい	学習指導要領を踏まえ、生活科指導の基礎・基本について理論面、実践面の両面から理解を深めることで、子どもたちに求められる資質・能力を確実に身に付けさせるための指導力を養います。		
講師	中京大学 教授 久野 弘幸		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和 5 年度
教材学習期間	令和 6 年 7 月 1 日 (月) ～令和 7 年 2 月 2 8 日 (金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和 7 年 2 月 7 日 (金) まで、申し込みを受け付けます。 e ラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2 ～p. 8 9 を御覧ください。 	1 これまでの生活科の流れ 2 生活科の目標と「気付き」 3 生活科の内容の基本構造 4 生活科の評価とその表現		


講座・コース名	e 1 7 小学校英語の基礎講座  (単独)		
ねらい	学習指導要領における小学校での英語教育のポイントを理解し、スモールトークやデジタル教科書を用いた実践、タブレットの効果的な活用などの事例から、指導上の基礎を学びます。		
講師	愛知教育大学 名誉教授 高橋 美由紀		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習指導要領における小学校での英語教育のポイント 2 授業実践例 3 評価について 		


講座・コース名	e 1 8 理科観察・実験指導基礎講座  (単独)		
ねらい	理科の観察・実験における指導法の基礎を習得します。また、観察・実験の授業における工夫、事故防止等の留意点について学びます。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 観察・実験の心得・指導の基本 2 実験における事故防止 3 薬品の取扱い 4 実験を安全に行わせるための心構え 		


講座・コース名	e 1 9 道徳教育講座～考え議論する道徳～  (単独)		
ねらい	児童生徒に生命を大切に作る心や他人を思いやる心、規範意識等の道徳性を高めるための道徳教育の在り方を理解し、これからの道徳科の授業をより充実したものにするをねらいとします。		
講師	愛知教育大学 特別教授 鈴木 健二		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 1 考え議論する道徳の授業をつくる 2 子どもの成長を促す評価の基本 3 道徳教育推進教師の役割 	


講座・コース名	e 2 0 主権者教育推進講座  (単独)		
ねらい	主権者教育を学校で進めていくことの意義と重要性について理解します。主権者教育実践を、小学校、中学校、高等学校の各学校段階において実践例を示します。		
講師	岐阜大学 准教授 田中 伸		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 1 主権者教育をどのように進めていくか 2 主権者教育の実践－小学校編－ 3 主権者教育の実践－中学校編－ 4 主権者教育の実践－高等学校編－ 	


講座・コース名	e 2 1 高等学校におけるキャリア教育の進め方講座 ～学び・進路・キャリアをつなぐために～  (単独)		
ねらい	高等学校教員のキャリア教育指導に必要な知識や技術の習得の機会として、キャリア教育の最新動向や、キャリアパスポート等の理解を深めます。自校におけるキャリア教育の充実を図るとともに、教員としての資質を向上させることを目指します。		
講師	愛知教育大学 准教授 高網 睦美		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和5年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 「キャリア教育」とは？ 学習指導要領におけるキャリア教育の位置づけ キャリア教育の取り組み方(授業編・連携編) 生徒がよりよい人生を切り拓いていくために 	


講座・コース名	e 2 2 総合的な学習の時間講座～探究の扉を開く～  (単独)		
ねらい	学習指導要領を踏まえ、小中学校における「総合的な学習の時間」での探究的な学習についてその意義や特徴の理解を深めることで、子どもたちに求められる資質・能力を確実に身に付けさせるための指導力を養います。		
講師	中京大学 教授 久野 弘幸		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和5年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 総合的な学習は、どこから来たのか？ 総合的な学習は、どのように設置され、どのように歩んできたのか？ 総合的な学習の実践例から学ぼう 学年のテーマや単元のテーマの決め方は？ 総合的な学習は、これからどこへ行くのか？ 	


講座・コース名	e 2 3 「国際英語」教育の理論と実践講座  (単独)		
ねらい	国際英語論 (E I L) に基づいた「国際英語」教育について理解し、具体的な実践方法を学びます。		
講師	大阪大学名誉教授・追手門学院大学 教授 日野 信行		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 国際英語の概念 2 「国際英語」教育の原理 3 「国際英語」教育の授業実践例 		


講座・コース名	e 2 4 Integrating Language & Content in an English Class (内容言語統合型学習CLIL：ソフトCLILを例にして)  (単独)		
ねらい	内容言語統合型学習 (C L I L) の基本的理論を理解し、具体的な授業展開を学びます。		
講師	上智大学 教授 和泉 伸一		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 What is CLIL? 2 How can we realize CLIL in our regular English class? <p>※使用言語：日本語及び英語</p>		


講座・コース名	e 25 産業教育における評価の在り方講座  (単独)		
ねらい	令和4年度より年次進行されている学習指導要領における評価の在り方・考え方を産業教育の視点から学びます。評価のみならず、授業改善のきっかけを作ります。		
講師	名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授 坂本 将暢		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 評価の最新情報 2 産業学科における評価の在り方 3 産業学科における評価の実践例 		


講座・コース名	e 26 産業教育における金融経済教育の進め方講座  (単独)		
ねらい	産業教育における金融経済教育のために、産業と金融・経済の関係や経済学の基礎、SDGsを理解し、産学官連携や高大連携のアクティブ・ラーニングによる授業実践のための知見を得ることをねらいとします。		
講師	椙山女学園大学 准教授 水野 英雄		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 産業教育における金融経済教育の必要性 <ol style="list-style-type: none"> (1) 産業教育と金融・経済 (2) 金融リテラシー、金融ケイパビリティから金融ウェルビーイングへ 2 産業教育における金融経済教育の実践 <ol style="list-style-type: none"> (1) 現地現物による学びの重要性 (2) 産学官連携・高大接続による金融経済教育 		


講座・コース名	e 27 教育評価の在り方講座  (単独)		
ねらい	教育評価論からみる評価の在り方について理解を深めることで、自校における評価の充実を図るとともに、教員としての資質向上をねらいとする。		
講師	愛知東邦大学 助教 丹下 悠史		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 本講義のねらいと概要 教育評価論から見る評価の役割と課題 <ol style="list-style-type: none"> 教育評価の役割と分類 教育評価論の近年の展開 子どもの豊かな力を捉えるには <ol style="list-style-type: none"> 「逆向き設計」で豊かな学力を捉える 課題と評価基準をどう設定するか 	


講座・コース名	e 28 オンライン教育の在り方講座  (単独)		
ねらい	オンライン教育の課題を踏まえたICTの効果的な活用について学ぶことで、今後のオンライン教育の可能性に対する理解を深めます。		
講師	名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授 坂本 将暢		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> はじめに COVID-19禍の学校の状況 オンライン教育の可能性 オンライン教育の課題 おわりに 	


講座・コース名	e 2 9 情報モラル教育講座  (単独)		
ねらい	情報モラル・情報セキュリティ教育の必要性を理解し、学校全体で情報モラル教育に取り組むための体制づくりや具体的な指導法について学びます。		
講師	金城学院大学 教授 長谷川 元洋		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報モラル教育においても「資質・能力」の育成を目指す必要がある理由 2 学習指導要領における情報モラル教育の扱いについて 3 学校が組織的に情報モラル教育に取り組むために 4 考える学習活動により、資質・能力を育成する情報モラル教育の事例 		


講座・コース名	e 3 0 教師のための情報危機管理講座  (単独)		
ねらい	教員が情報セキュリティの重要性を理解し、安全なICT活用をする知識を得るとともに、オンライン授業等での留意点について学びます。		
講師	金城学院大学 教授 長谷川 元洋		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どものネット環境 2 もとめられる情報モラル・情報セキュリティ 3 学校現場で必要とされる情報モラル・情報セキュリティ 4 オンライン授業等での学校が気を付けるべき配慮 		


講座・コース名	e 3 1 カリキュラム・マネジメント講座  (単独)		
ねらい	カリキュラム・マネジメントの概要や具体例を知り、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進方法を学びます。		
講師	名古屋大学大学院 教授 柴田 好章		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> カリキュラム・マネジメントが必要とされる背景 カリキュラム・マネジメントの在り方 カリキュラム・マネジメントを進めるにあたって 実践事例(小学校編) 実践事例(中学校編) 実践事例(高等学校編) 	

講座・コース名	e 3 2 効果を上げる授業研究の在り方講座  (単独)		
ねらい	経験に即した体系的な研修の一環として教科指導研修を行うに当たり、授業改善と授業研究に必要な視点を習得し、教科指導力を高めることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 授業研究の必要性 授業改善の視点 授業をデザインする 	

講座・コース名	e 3 3 校内研修と授業研究の効果的な進め方講座  (単独)		
ねらい	教育の専門職として教師が成長するために、校内研修や授業研究をどのように実施したらよいかについて学びます。今日の学校教育の課題に対応するために、アクティブラーニングの視点による授業改善、教師の同僚性に基づくOJTの充実や、学校で教員が共に学び合うための組織づくりなどを実現するための工夫について考えを深めることをねらいとします。		
講師	名古屋大学大学院 教授 柴田 好章		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 専門職としての教師の成長を支える研修の意義 校内研修における授業研究の役割 授業改善とOJTのための授業研究の意義 協働的問題解決としての授業研究の方法 カリキュラム・マネジメントに生かす授業研究 	


講座・コース名	e 3 4 ESD推進講座  (単独)		
ねらい	ESD (Education for Sustainable Development) は持続可能な社会を構築するための担い手づくりであり、その視点は学習指導要領にも取り入れられています。この講座では、ESDについて学び、それを学校教育にどのように取り入れるかを考えます。		
講師	ESD・SDGs推進研究室 室長 手島 利夫		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		SDGsの視点に立った特色ある教育課程編成について～学習指導要領の改訂を踏まえて～ <ol style="list-style-type: none"> ESDの意義 学習指導要領に見るSDGsの視点 カリキュラム・マネジメントの必要性とその実際 	


講座・コース名	e 3 5 愛知の特別支援教育基礎講座  (単独)		
ねらい	特別支援教育の意義、特別支援学級での指導、特別支援教育体制を推進する愛知県の取組を理解することをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 愛知県における特別支援教育 <ol style="list-style-type: none"> 特別支援教育と愛知県の状況 第2期愛知県特別支援教育推進計画 特別支援学級における教育の実際 <ol style="list-style-type: none"> 障害に配慮した支援・指導 教育課程 就学・進路について 		


講座・コース名	e 3 6 - A 発達障害の理解と支援講座 発達障害の理解① ～基礎的な理解と具体的な支援～  (単独)		
ねらい	自閉症スペクトラム障害、注意欠陥・多動性障害、限局性学習障害の特徴や子どもの様子、発達障害のある子どもたちへの具体的な支援について理解を深めることをねらいとします。		
講師	名古屋女子大学 文学部児童教育学科 准教授 堀部 要子		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 発達障害の基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> 発達障害の定義と用語 文部科学省調査の結果棟から見られる現況 発達障害の理解と支援 <ol style="list-style-type: none"> 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害 注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害 限局性学習症/限局性学習障害(学習障害) 子どもへの支援で大切にしたいこと 		


講座・コース名	e 3 6 - B 発達障害の理解と支援講座 発達障害の理解② ～発達障害と他の精神的問題とを見分けるために～ eL (単独)		
ねらい	発達障害の概念が広がり、発達障害と診断される幼児児童生徒が増えています。発達障害の特性と概念、臨床像、医学的診断に触れつつ、他の精神的問題のある幼児児童生徒との見分け方を理解することをねらいとします。		
講師	名古屋大学 特任准教授 野邑 健二 (現名古屋大学特任教授)		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		発達障害の基本的な理解と見分けるべき他の問題について学びます。 <ol style="list-style-type: none"> 1 発達障害の基本 2 見分けることが必要な疾患・問題 	


講座・コース名	e 3 6 - C 発達障害の理解と支援講座 行動への支援① ～行動をどのようにとらえるか～ eL (単独)		
ねらい	幼児児童生徒の行動面の問題は、特別支援教育に限定されない教育全体における大きな課題の一つです。本講座では、「行動」に関する基礎的な内容について理解することをねらいとします。		
講師	名古屋大学大学院 特任助教 酒井 貴庸 (現甲南女子大学准教授)		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		行動についての基本的な考え方について学びます。 <ol style="list-style-type: none"> 1 行動の捉え方 2 行動を具体的に記述する 3 行動の機能 	


講座・コース名	e 3 6 - D 発達障害の理解と支援講座 行動への支援② ～支援方法を考えるときに重要なこと～  (単独)		
ねらい	「9 2 - C 行動への支援①」講座の内容を踏まえて、「褒めること」の重要性や「罰的な対応」の問題点について理解を深めることをねらいとします。		
講 師	名古屋大学大学院 特任助教 酒井 貴庸 (現甲南女子大学准教授)		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和 2 年度
教材学習期間		令和 6 年 7 月 1 日 (月) ～令和 7 年 2 月 2 8 日 (金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和 7 年 2 月 7 日 (金) まで、申し込みを受け付けます。 e ラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2 ～p. 8 9 を御覧ください。 		<p>行動の基本的な考え方を踏まえて、支援方法を考える上での重要なポイントについて学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 褒めることの重要性 行動が起こりやすくなるとき 罰的な対応の問題点 	


講座・コース名	e 3 6 - E 発達障害の理解と支援講座 感情マネジメント ～自分の感情と上手く付き合うための方法～  (単独)		
ねらい	発達障害のある幼児児童生徒は、ストレスに上手に対処することが難しいために、時には感情に振り回されてしまいます。「感情をマネジメントする」ための支援方法を理解することをねらいとします。		
講 師	鳴門教育大学大学院 教授 小倉 正義		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和 2 年度
教材学習期間		令和 6 年 7 月 1 日 (月) ～令和 7 年 2 月 2 8 日 (金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和 7 年 2 月 7 日 (金) まで、申し込みを受け付けます。 e ラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2 ～p. 8 9 を御覧ください。 		<p>感情と上手く付き合うことを支援するための考え方について学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> はじめに 感情をマネジメントする 	


講座・コース名	e 3 7 視覚障害の理解と支援講座  (単独)		
ねらい	特別支援学級や通級による指導を受けている子どもの数が増えている現状から、障害の特性等に関する理解と指導方法を工夫する力など、全ての教師に特別支援教育の専門性が求められています。本講座では、視覚障害教育に関する内容について学びます。		
講師	愛知教育大学 准教授 相羽 大輔		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和5年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 視覚障害の理解と支援Ⅰ 視覚障害の基礎知識について 視覚障害の理解と支援Ⅱ 視覚障害のある子どもの支援について 	


講座・コース名	e 3 8 聴覚障害の理解と支援講座  (単独)		
ねらい	特別支援学級や通級による指導を受けている子どもの数が増えている現状から、障害の特性等に関する理解と指導方法を工夫できる力など、全ての教師に特別支援教育の専門性が求められています。本講座では、聴覚障害教育に関する内容について学びます。		
講師	愛知教育大学 教授 大塚 とよみ		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和5年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 聴覚障害の理解と支援Ⅰ 聴覚障害の基礎知識について 聴覚障害の理解と支援Ⅱ 聴覚障害のある子どもの支援について 	


講座・コース名	e 3 9 児童生徒の強みを生かす教育相談講座  (単独)		
ねらい	学校に関わる福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーの役割について理解を深め、その視点から児童生徒の強みを生かした問題解決の方法について学びます。		
講師	愛知県立大学 教授 山本 理絵		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 1 スクールソーシャルワーカーとは 2 スクールソーシャルワーカーと連携するためのケース会議の方法 3 ソーシャルワークの視点 その1 4 ソーシャルワークの視点 その2 5 関係機関との連携 	


講座・コース名	e 4 0 いじめの組織的な未然防止講座  (単独)		
ねらい	いじめに対する予防的な生徒指導に取り組むため、組織的な未然防止の意義を理解し、意識の向上につなげます。また、「いじめの組織的な未然防止に関する研究」の成果である「実態調査」と「校内研修」を提案し、各学校におけるいじめの組織的な未然防止に向けた素材の活用を促します。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和5年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 0 はじめに～いじめに対する予防的な生徒指導～ 1 いじめの「組織的」な「未然防止」の意義 2 「いじめの組織的な未然防止に関する研究」の目的 3 いじめに対する「実態調査」と「校内研修」の要点 4 実態調査「いじめに対する認識についてのアンケート」 5 校内研修「見立てる力と対応力の向上に役立つ事例ワーク」 	


講座・コース名	e 4 1 不登校支援と予防講座 ～多様な背景を踏まえた学校での支援と予防～  (単独)		
ねらい	不登校の背景課題は多様である。各課題に応じて行うべき支援策を理解するとともに、不登校の未然防止策として学校では何ができるのかを検討することで、不登校への総合的な対応法を身に付けることを目指します。		
講師	愛知教育大学 准教授 五十嵐 哲也		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和5年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 1 不登校の現状 2 課題に応じた理解と支援 3 休みはじめの段階での支援 4 長期化した段階での支援 5 復帰段階での支援 6 学校でできる不登校予防 	


講座・コース名	e 4 2 性の多様性の理解推進講座  (単独)		
ねらい	すべての人の権利が尊重される社会づくりを目指して、今日的課題である性の多様性、性的マイノリティの現状と課題について理解を深め、学校教育等における配慮、支援、指導に生かせるようにします。		
講師	金沢大学 准教授 森 慶恵		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和5年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 1 性の多様性とは 2 「性的指向と性自認」に関わる国の主な動き 3 子どもが抱える性の多様性の実態 4 支援の最前線に立つ教師に求められる役割 5 子どもが信頼できる大人となるために 	


講座・コース名	e 4 3 外国人児童生徒教育基礎講座～現状と課題～  (単独)		
ねらい	外国人児童生徒の増加と多様化の背景や取り巻く環境、愛知県の主な施策について学びます。また、日本語指導、教科指導、進路指導、適応指導についての取り組み方や課題についても理解を深めます。		
講師	愛知淑徳大学 准教授 小島 祥美 (現東京外国語大学准教授)		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 日本語指導が必要な生徒とは 外国人の子どもがわからない 学校での指導 		


講座・コース名	e 4 4 特別支援教育における教育課程講座  (単独)		
ねらい	特別支援教育における教育課程への基本的な理解を深めることで、子どもたちへの日々の指導・支援につなげます。		
講師	桜花学園大学 金城学院大学 非常勤講師 小川 純子		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 特別支援教育における教育課程について 学習指導要領について 教育課程の編成、実施と評価について 知的障害教育における教育課程について 教育課程編成の注意点 各教科等を合わせた指導について 		


講座・コース名	e 4 5 教育相談の心得講座 ～個別面談に際して～  (単独)		
ねらい	学校における児童生徒理解の場面として「個別面談（カウンセリング）」に焦点を当て、そこで役立つ“見立て（アセスメント）”の知識・技能を提供し、児童生徒一人一人に応じた校内連携による指導・援助につなげます。		
講師	臨床心理士・公認心理師 堀 英太郎		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間	令和6年7月1日（月）～令和7年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日（金）まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> はじめに 個別面談（カウンセリング） <ul style="list-style-type: none"> ・主な形態、姿勢、傾聴 ・話の聴き方・伝え方、転移 見立て <ul style="list-style-type: none"> ・意義とポイント ・不安時の反応や対処法 ・校内連携 おわりに 		


講座・コース名	e 4 6 組織的な教育相談のための力量向上講座  (単独)		
ねらい	複雑化・多様化する教育相談上の諸問題に対して、組織で取り組むことの意義を理解し、その意識の向上につなげます。また、「組織的な教育相談における教員の力量向上に関する研究」の成果である「問題解決」の力量向上と「組織づくり」の具体策に提案し、各学校における組織的な教育相談体制づくりの推進を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間	令和6年7月1日（月）～令和7年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日（金）まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 組織的な教育相談体制づくりの意義 「組織的な教育相談における教員の力量向上に関する研究」の目的 仮説と方法：「問題解決」の力量向上と「組織づくり」 内容：「実践事例ワーク」と「体験研修プログラム」の実践 アンケートにみる実践の成果と組織づくりの課題 		


講座・コース名	e 4 7 通級による指導・支援の在り方講座  (単独)		
ねらい	通級による指導を受ける児童生徒数が増加している状況を把握します。また、通級の特別の教育課程、通級形態等、通級による指導に関する基礎的な知識を習得します。		
講師	愛知教育大学 特別支援教育講座 講師 岩本 佳世		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 1 通級による指導の実施状況 2 特別の教育課程 3 通級形態(自校通級, 他校通級, 巡回指導) 	

講座・コース名	e 4 8 肢体不自由児の理解と支援講座  (単独)		
ねらい	特別支援学級や通級による指導を受けている子どもの数が増えている現状から、障害の特性等に関する理解と指導方法を工夫できる力など、全ての教師に特別支援教育の専門性が求められています。本講座では、肢体不自由教育に関する内容について学びます。		
講師	愛知教育大学 准教授 森崎 博志		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 1 肢体不自由児の理解と支援① 障害特性面からの基礎理解と支援の在り方 2 肢体不自由児の理解と支援② 心理面からの基礎理解と支援の在り方 	

講座・コース名	e 4 9 「チーム学校」を生かす教育相談体制づくり講座 ～ケース会議の手法を学ぶ～  (単独)		
ねらい	「チーム学校」を生かした組織的な教育相談の在り方を理解し、意識の向上につながるのと同時に、ケース会議の手法を学び、実際に事例に対して見立てや対応策を考えることで、「チーム学校」を生かした教育相談体制づくりを目指します。		
講師	愛知県立大学 教授 山本 理絵		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和6年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> はじめに ケース会議とは ケース会議の実際 ケース会議の記録と振り返り まとめ 	


講座・コース名	e 5 0-A SDG s理解講座 SDG s達成に向けたJ I C Aの取組  (単独)		
ねらい	SDG sを理解し、教師が児童生徒とともに教育現場から行動できるきっかけを作ります。		
講師	J I C A中部 江口 由希子、後藤 千明		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> SDG sを理解するポイント SDG s達成に向けたJ I C Aの取組 	


講座・コース名	e 5 0 - B S D G s 理解講座 S D G s 達成に向けた学校での実践例  (単独)		
ねらい	S D G s を理解し、教師が児童生徒とともに教育現場から行動できるきっかけを作ります。		
講師	J I C A 中部 近藤 勝士		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和 3 年度
教材学習期間		令和 6 年 7 月 1 日 (月) ~ 令和 7 年 2 月 2 8 日 (金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和 7 年 2 月 7 日 (金) まで、申し込みを受け付けます。 e ラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2 ~ p. 8 9 を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 参加型手法を用いた学校での実践例 S D G s 達成に向けて 	

講座・コース名	e 5 1 - A 学校安全推進講座 子どもの安全と安心を守る  (単独)		
ねらい	子どもの安全と安心を確保するために、学校事故への対応の基礎と学校事故の危機管理及び学校における防災対策と防災教育の実際について理解を深めます。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成 2 6 年度
教材学習期間		令和 6 年 7 月 1 日 (月) ~ 令和 7 年 2 月 2 8 日 (金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和 7 年 2 月 7 日 (金) まで、申し込みを受け付けます。 e ラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2 ~ p. 8 9 を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 学校事故への対応の基礎と危機管理 <ul style="list-style-type: none"> 学校事故への対応の基礎 危機管理 学校における防災対策と防災教育の実際 <ul style="list-style-type: none"> 事例 1 「3. 1 1 を振り返って」 事例 2 「気仙沼市の東日本大震災からの教育復興への道のり」 	

講座・コース名	e 5 1 - B 学校安全推進講座		
	学校における防災管理について		eL (単独)
ねらい	東日本大震災における石巻市立大川小学校の津波被害において、防災に関する学校運営計画の不備が指摘されています。また、南海トラフ地震発生が懸念される中、防災対応能力の向上を目指します。		
講師	兵庫県立大学 教授 阪本 真由美		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 学校管理下における災害による被害 防災管理における検討事項 実践的な防災教育 	


講座・コース名	e 5 2 - A 地域学校協働活動推進講座(基礎編)		
			eL (単独)
ねらい	「社会に開かれた教育課程」を実現するために、地域学校協働活動の具体的な活動を知り、その概要や意義や必要性について理解を深めます。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<p>地域学校協働活動の魅力や必要性について理解を深めるとともに、各学校の実践に参考となるような活動について学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動とは 地域学校協働活動を推進する理由 地域学校協働活動の内容・効果 	


講座・コース名	e 5 2 - B 地域学校協働活動推進講座（リーダー編）  (単独)		
ねらい	「社会に開かれた教育課程」を実現するための有効な手だてである地域学校協働活動、コミュニティ・スクールについて理解を深め、学校運営に生かせるようにします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和6年7月1日（月）～令和7年2月28日（金）	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日（金）まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2 ～p. 8 9を御覧ください。 		<p>学校のリーダーとして、地域学校協働活動を推進する上での考え方や留意点、求められる学校の役割や期待される効果等について理解を深めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校と地域社会との連携・協働の必要性 2 地域学校協働活動の実際と学校の役割 3 地域学校協働活動が学校、地域にもたらす効果 	


講座・コース名	e 5 3 社会人としてのマナー講座  (単独)		
ねらい	電話対応や来客対応、挨拶や身だしなみ、コミュニケーションのポイントなど、社会人として身に付けておきたい基本的な社会常識を学びます。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和6年7月1日（月）～令和7年2月28日（金）	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日（金）まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2 ～p. 8 9を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 1 社会人としてのマナーとは 2 挨拶の基本・身だしなみについて 3 コミュニケーションについて 4 電話対応について 	

講座・コース名	e 5 4 - A 職場のメンタルヘルス講座 職場のメンタルヘルス～アルコール依存症を知ろう～ eL(単独)		
ねらい	学校現場には、さまざまな人間関係の悩みや専門職としての悩み、職務の多忙化等の背景からくるストレス要因があり、教職は仕事関連ストレスのレベルが高い職種とされています。ストレスへの適切な対処と職場不適應の未然防止のためには、心の健康についての知識と理解を深めることが必要です。教職員一人一人が自分自身のアルコールとの付き合い方を見直すとともに、ストレスコントロールを上手に行えることをねらいとします。		
講 師	医療法人成精会刈谷病院 院長 垣田 泰宏		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和元年度
学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> アルコールについて アルコール依存症で起きる脳の変化 その1 アルコール依存症で起きる脳の変化 その2 アルコール依存症の特徴 アルコール関連問題について お酒を楽しむために 		

講座・コース名	e 5 4 - B 職場のメンタルヘルス講座 学校現場の職場ストレスとその対処法 eL(単独)		
ねらい	学校現場には、さまざまな人間関係の悩みや専門職としての悩み、職務の多忙化等の背景からくるストレス要因があり、教職は仕事関連ストレスのレベルが高い職種とされています。ストレスへの適切な対処と職場不適應の未然防止のためには、心の健康についての知識と理解を深めることが必要です。ストレスがどのようにして生じるのかについて理解し、ストレスコーピングの観点から自分自身のこれまでの対応を振り返りながら、職場ストレスへの対処法を身に付けることをねらいとします。		
講 師	臨床心理士 久利 恭士		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成29年度
学習期間	令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 8 2～p. 8 9を御覧ください。 	<p>ストレスに関する基礎的な内容の理解とストレスに対処する上で有用なワークを含めた対処法について学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ストレスのメカニズムについて 自分自身について考える 職場ストレスへの対処法 		

講座・コース名	e 55 心が軽くなるコミュニケーション講座  (単独)		
ねらい	教職員にとって、子ども、保護者、同僚、地域の方々等とのコミュニケーションは日常の教育活動の土台となるものです。よりよいコミュニケーションの在り方や気持ちになる豊かなコミュニケーションの方法を学ぶことで、ストレスを軽減し、職務のやりがいを高めることを目指します。		
講師	公認心理師（コーチカウンセラー） 西川 智恵		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和5年度
学習期間	令和6年7月1日（月）～令和7年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日（金）まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 「コミュニケーション」とは 信頼関係を築く「積極的傾聴」 自分も相手も大切にすること 		

講座・コース名	e 56 G I G Aスクール構想の在り方講座  (単独)		
ねらい	G I G Aスクール構想の動向を踏まえ、オンラインコミュニティを利用したICTの効果的な活用について学びます。		
講師	愛知教育大学創造科学系技術教育講座 准教授 磯部 征尊		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間	令和6年7月1日（月）～令和7年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年2月7日（金）まで、申し込みを受け付けます。 eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 	<ol style="list-style-type: none"> 小学校におけるG I G Aスクール構想の動向 中学校におけるG I G Aスクール構想の動向 ICTの効果的な活用について 		

講座・コース名	e57 OJT推進講座  (単独)		
ねらい	日常の業務を遂行する中で、教師としての資質・能力を、意図的・計画的・継続的な視点を持ち高めるためのOJTの考え方や取組について、管理職等の理解を促し、各校における教員育成に生かすことをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和6年7月1日(月)～令和7年2月28日(金)	
研修方法		研修内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月7日(金)まで、申し込みを受け付けます。 ・eラーニング研修の概要は、本案内 p. 82～p. 89を御覧ください。 		<ol style="list-style-type: none"> 1 人材育成とは 2 OJTとは 3 意図的・計画的・継続的視点 4 OJTの研究成果 5 中堅教諭等資質向上研修のOJT 	

4 事務職員等研修 ※研修番号 J01 から J06 までの研修の申し込み手続き等の詳細は、別途、通知します。

(1) 小中学校事務職員研修

研修番号	研修名	ね ら い	対 象 者	予定人数	日数	期日
J01	新規採用者研修	学校事務職員として必要な基礎的知識や、法制及び実務に関する知識の習得を図ります（給与、福利、厚生、服務、地方教育行政制度、税の基礎知識等）。	新規採用者	50	6	4/18、4/25、5/9 9/5、9/12、9/19
J02	中堅者前期研修	中堅職員として必要な幅広い視野と的確な判断力の養成並びに職務遂行能力の向上を図ります（基礎的な法律、コミュニケーション、グループワーク等）。	平成29年度採用者	50	3	9/26、10/3、10/10
J03	中堅者後期研修	中堅職員として培った知識と経験を活かし、業務管理能力や企画立案力の向上を図ります（組織マネジメント、タイムマネジメント、学校安全、グループワーク等）。	平成26年度採用者	60	3	11/7、11/14、11/21
J04	新任主査研修	主査としての自覚・役割や基本的管理能力の養成を図ります（学校運営、服務、部下育成、健康管理、グループワーク等）。	令和6年度昇任者	25	3	5/16、5/23、6/6
J05	現任主査研修	主査として必要な指導力の向上と行政的視野の拡大を図ります（リーダーシップ論、コミュニケーション、情報セキュリティ、グループワーク等）。	平成31年度昇任者	20	2	6/13、6/20
J06	新任事務長・総括事務長研修	事務長としての自覚・役割及び学校経営参画への企画・遂行能力の養成を図ります（学校経営論、コミュニケーション、健康管理、グループワーク等）。	令和6年度課長補佐級昇任者	15	2	10/17、10/24

※事務職員は、この他にも研修番号 e01～e57 の e ラーニング研修の講座を受講することができます。

【各コースの内容及び開催日等、講座の詳細】

「スキル・アップ研修の詳細について」の p.48～p.80 を御覧ください。

【申し込み】

- ・上記 e ラーニングの講座は、随時、応募を受け付けます（令和7年2月7日（金）到着分まで）。
- ・「様式4（p.93）」を使用して申し込んでください。

(2) 県立学校用務員等研修

研修番号	研修名	ね ら い	対 象 者	予定人数	日数	期日
J07	県立学校用務員研修	用務員として必要な学校環境整備、電気及び水道に関する知識・技能の習得を図ります。	用務員のうち希望する者	120	1	別途通知 9月～10月 (4会場：20人×6回)
J08	県立学校図書館関係職員研修	県立学校図書館における図書館資料の利用に関する事務に従事する職員の資質の向上を図ります。	図書館事務に従事する事務職員または実習教員のうち希望する者	40	1	別途通知 9月～10月 (1会場：40人)

V eラーニング研修の実施について

1 eラーニング研修とは

インターネットを通じて配信された研修教材を、コンピュータを利用して学習する研修です。受講者が自己の都合に合わせて教材を視聴しながら学習するオンデマンド型の研修なので、指定された期間内であれば、反復して学習することもできます。

受講には、ユーザIDとパスワードが必要です。詳細については、各研修講座の開催通知等に添付する受講方法を御覧ください。

2 eラーニング研修を実施する研修・講座一覧

- ・研修・講座名と対応するeラーニング研修教材名を一覧にしてあります。教材の学習期間を確認し、必ず指定の期間内に学習してください。
- ・対象者及びセンターでの研修期日等は、本案内「IV 研修・講座一覧」(p. 23以降)で確認してください。
- ・「著作権レベル」欄の記号(A、AB)は、各教材の著作権レベルを示しています(p. 88参照)。

(1) 研修の一部または事前学習もしくは事後学習として受講する

ア 初任者研修及び新規採用者研修の日数として数えるもの

研修番号	研修・講座名	eラーニング研修教材名	学習時間の目安(分)	学習期間	著作権レベル	
3	開講行事 高等学校初任者研修	教育長挨拶、教職員課長講義	60	4/16	A	
4						特別支援学校初任者研修
5						新規採用養護教諭研修 ※高等学校・特別支援学校のみ
6	開講行事 新規採用栄養教諭研修 ※特別支援学校のみ	教職員としての生き方	60	4/16	A	
7						県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修
8	開講行事 幼稚園等新規採用教員研修	教育長挨拶、教職員課長講義	60	4/19	A	
		教職員としての生き方	60		A	
		社会人としてのマナー	60		AB	
		期待される教員になるために	60		A	
1	小学校初任者研修 第4回(夏期eラーニング研修)	小学校英語の基礎	48	7/22~8/30	A	
		外国人児童生徒教育の現状と課題	22		AB	
		情報教育(情報モラル・プログラミング教育を含む)	60		A	
2	中学校初任者研修 第4回(夏期eラーニング研修)	外国人児童生徒教育の現状と課題	22	7/22~8/30	AB	
		情報教育(情報モラル・プログラミング教育を含む)	60		A	

【eラーニング研修】

研修番号	研修・講座名	eラーニング研修教材名	学習時間の目安(分)	学習期間	著作権レベル
3	高等学校初任者研修 第7回(夏期eラーニング研修)	総合的な探究の時間の意義と実際	50	7/22～8/30	A
		特別活動の意義と実際	50		A
		タイムマネジメント講座	30		A
		SDGs達成に向けたJICAの取組	23		AB
		SDGs達成に向けた学校での実践例	20		AB
4	特別支援学校初任者研修 第9回(夏期eラーニング研修)	発達障害の理解①～基礎的な理解と具体的な支援～	34	7/22～8/30	AB
		行動への支援①～行動をどのようにとらえるか～	31		AB
		タイムマネジメント講座	30		A
		SDGs達成に向けたJICAの取組	23		AB
		SDGs達成に向けた学校での実践例	20		AB
5	新規採用養護教諭研修 第6回(夏期eラーニング研修)	発達障害の理解①～基礎的な理解と具体的な支援～	34	7/22～8/30	AB
		学校現場の職場ストレスとその対処法	35		AB
		性の多様性の理解推進講座	40		AB
6	新規採用栄養教諭研修 第6回(夏期eラーニング研修)	栄養教諭に関する法規と職務内容	50	7/22～8/30	AB
		外国人児童生徒教育の現状と課題	22		AB
		情報教育(情報モラル・プログラミング教育を含む)	60		A

イ ア以外のもの

研修番号	研修・講座名	eラーニング研修教材名		学習時間の目安(分)	学習期間	著作権レベル
3 20	高等学校初任者研修(注1) 高等学校中堅教諭資質向上研修 【前期・後期(弾力化MS及びSを含む)】(注1)	国語	高等学校国語の授業構想の工夫	35	6/3~7/5	A B
		地理歴史 公民	高等学校地理歴史・公民の授業構想の工夫	53		A B
		数学	高等学校数学の授業構想の工夫1・2(注2)	40・40		A B
		理科	高等学校理科の授業構想の工夫	50		A B
		英語	高等学校英語の授業構想の工夫	77		A B
5	新規採用養護教諭研修 ※高等学校・特別支援学校のみ	学校保健について		60	5/7~6/7	A
		社会人としてのマナー		60		A B
6	新規採用栄養教諭研修 ※特別支援学校のみ	学校保健について		60	5/7~6/7	A
		社会人としてのマナー		60		A B
7	県立学校新規採用実習教員・ 寄宿舎指導員研修	人権教育について(基礎編)		23	5/7~6/7	A
11	高等学校2年目教員研修	防災教育基礎研修Ⅰ		未定	7/29~9/30	A
12	特別支援学校2年目教員研修	防災教育基礎研修Ⅱ		62		A
13 14	小学校3年目教員研修 中学校3年目教員研修	人権教育について(基礎編)		23	8/19~9/30	A
		学級経営について		32		A
		改めて感じた教員の魅力		30		A
17	幼稚園等中堅教諭資質向上研修	中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって		28	5/28~6/28	A
		特定課題研究の進め方とまとめ方(注3)		26		A
		E S Dについて		65	8/20~1/10	A B
		人権教育について(リーダー編)		25		A
		学校安全の推進		44		A B
		発達障害の理解①~基礎的な理解と具体的な支援~		34		A B
18	小学校中堅教諭資質向上研修 【前期】	中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって		28	5/28~6/28	A
19	中学校中堅教諭資質向上研修 【前期】	人権教育について(基礎編)		23		A
21	特別支援学校中堅教諭資質向上 研修【前期】	情報モラル		44	8/20~1/10	A B
22	中堅養護教諭資質向上研修 【前期】	E S Dについて		65		A B
23	中堅栄養教諭資質向上研修 【前期】					
20	高等学校中堅教諭資質向上研修 【前期】	中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって		28	5/28~6/28	A
		人権教育について(基礎編)		23		A
		効果を上げる授業研究の在り方		25	8/20~1/10	A B
		情報モラル		44		A B
		E S Dについて		65		A B

研修番号	研修・講座名	eラーニング研修教材名	学習時間の目安(分)	学習期間	著作権レベル			
18	小学校中堅教諭資質向上研修【後期】	中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって	28	5/28～6/28	A			
		特定課題研究の進め方とまとめ方(注3)	26		A			
		人権教育について(リーダー編)	25		A			
		19	中学校中堅教諭資質向上研修【後期】	地域学校協働活動の推進について(基礎編)	19	8/20～1/10	AB	
				学校安全の推進	44		AB	
		20	高等学校中堅教諭資質向上研修【後期】	数学(注4) 中学校数学科講座～授業構想の工夫～	26	7/22～8/21	A	
		21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修【後期】	弾力化(注5)	初年度 中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって	28	5/28～6/28	A
		22	中堅養護教諭資質向上研修【後期】		S 特定課題研究の進め方とまとめ方(注3)	26		A
		23	中堅栄養教諭資質向上研修【後期】		S 数学(注4) 中学校数学科講座～授業構想の工夫～	26	7/22～8/21	A
					M 人権教育について(リーダー編)	25		A
M 地域学校協働活動の推進について(基礎編)	19				8/20～1/10	AB		
M 学校安全の推進	44					AB		
20	高等学校中堅教諭資質向上研修【後期(弾力化MS及び弾力化Sを含む)】	家庭農業工業商業水産看護福祉 産業教育における評価の在り方	80	6/21～10/25	AB			
		工業家庭看護福祉	SDGs達成に向けたJICAの取組	23	5/20～6/20	AB		
			SDGs達成に向けた学校での実践例	20				
26	特別支援学級担当教員初心者研修	愛知の特別支援教育	31	5/1～9/2	AB			
		特別支援教育における教育課程	未定		未定			
		特別支援学級における指導の実際	20		AB			
27	通級指導担当教員初心者研修	愛知の特別支援教育	31	5/1～9/2	AB			
28	高等学校実習教員研修(A:理科コース)	理科観察・実験の指導の基礎	44	6/3～8/30	AB			
30	中学校新任進路指導主事研修	進路指導伝達講習2024(中学校編)	41	5/20～6/28	A			
		企業が求める人材と進路指導の在り方	64		A			
31	県立学校新任進路指導主事研修	進路指導伝達講習2024(県立学校編)	27	5/7～5/30	A			
32	小中学校新任教務主任研修	人権教育について(リーダー編)	25	5/28～9/27	A			
		子どもの安全と安心を守る	35		AB			
		教育法規入門(基礎編)	13		A			
33	県立学校新任教務主任研修	人権教育について(リーダー編)	25	6/3～9/13	A			
		教育法規入門(基礎編)	13		A			
37	小中学校新任教頭研修	人権教育について(リーダー編)	25	7/24～9/24	A			
		子どもの安全と安心を守る	35		AB			
		OJTの推進について	34		AB			
		学校における防災管理について	32		AB			
38	小中学校新任校長研修	人権教育について(リーダー編)	25	7/24～10/15	A			
		子どもの安全と安心を守る	35		AB			
		学校組織マネジメント概論	61		A			
		OJTの推進について	34		AB			
		地域学校協働活動の推進について(リーダー編)	16		AB			
39	県立学校新任教頭研修	学校における防災管理について	32	5/15～7/31	AB			
		OJTの推進について	34		AB			

研修番号	研修・講座名	eラーニング研修教材名	学習時間の目安(分)	学習期間	著作権レベル
40	県立学校新任校長研修	OJTの推進について	34	5/29～7/31	A B
43	幼児教育講座	令和6年度幼児教育の理解・発展推進事業(都道府県協議会)における愛知県担当の協議主題について解説	120	5/23～5/30	A
45	道徳推進講座	道徳教育講座～考え議論する道徳～(注6)	88	5/28～6/28	A B
46	外国人児童生徒教育講座	外国人児童生徒教育の現状と課題	22	5/1～5/31	A B
59	学級・学年づくりに生かす教育相談講座	組織を生かす教育相談体制づくり	25	7/22～9/13	A B
60	今日的課題に対応する教育相談講座	「チーム学校」を生かすケース会議の在り方	43	7/22～8/26	A B
		いじめの組織的な未然防止に向けて	45		A B
61	教育相談コーディネーター養成講座	「チーム学校」を生かすケース会議の在り方	43	7/22～10/8	A B
		SSWの立場から見た児童生徒の問題解決	60		A B
63	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修	GIGAスクール構想の動向について	58	7/1～8/30	A
		オンライン教育の効果と課題について	96		A
		情報モラル	44		A B

(注1) 専門教科が国語、地理歴史・公民、数学、理科または英語の場合のみ対象

(注2) 高等学校初任者研修対象者は「高等学校数学の授業構想の工夫1」を受講し、高等学校中堅教諭資質向上研修【前期】及び【後期】の対象者は「高等学校数学の授業構想の工夫2」を受講

(注3) 指定された学習期間内に学習を完了した後、8/20～1/10の期間に再視聴が可能

(注4) 中学校中堅教諭資質向上研修【後期】の専門教科が数学の場合のみ対象

(注5) 受講の弾力化の受講者でMSの研修者は全ての教材を受講する。また「中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって」の受講については、M及びSに限らず、弾力化の初年度に受講

(注6) 小・中・義務教育学校の受講者のみ対象

(2) eラーニングのみの講座を受講する(eラーニング単独講座)

全ての教職員が受講することができます。また、センターでの集合研修は行いません。

研修番号	研修・講座名	eラーニング研修教材名	学習時間の目安(分)	学習期間	著作権レベル
e01	小学校社会科講座～授業構想の工夫～	小学校社会科講座～授業構想の工夫～	未定	7/1～2/28 申し込み期限 2/7(金)まで 随時申し込み ができます	未定
e02	小学校算数科講座～授業構想の工夫～	「て」「め」「あたま」を意識した算数授業づくり	32		A B
e03	小学校理科講座～授業構想の工夫～	小学校理科講座～授業の作り方～	29		A B
e04	小学校体育科講座～授業構想の工夫～	小学校体育講座～授業構想の工夫～	40		A B
e05	小学校音楽科講座～授業構想の工夫～	小学校音楽科講座～授業構想の工夫～	未定		未定
e06	中学校理科講座～授業構想の工夫～	中学校理科講座～探究的な授業プラン～	29		A B
e07	中学校保健体育科講座～授業構想の工夫～	中学校保健体育科講座～授業構想の工夫～	40		A B
e08	中学校音楽科講座～授業構想の工夫～	中学校音楽科講座～授業構想の工夫～	未定		未定
e09	高等学校国語科講座～授業構想の工夫～	高等学校国語の授業構想の工夫	35		A B
e10	高等学校地理歴史・公民科講座～授業構想の工夫～	高等学校地理歴史・公民の授業構想の工夫	53		A B
e11	高等学校数学科講座～授業構想の工夫1～	高等学校数学の授業構想の工夫1	40		A B
e12	高等学校数学科講座～授業構想の工夫2～	高等学校数学の授業構想の工夫2	40		A B
e13	高等学校理科講座～授業構想の工夫～	高等学校理科の授業構想の工夫	50		A B
e14	高等学校英語科講座～授業構想の工夫～	高等学校英語の授業構想の工夫	77		A B
e15	高等学校情報科講座～情報I「プログラミング」～	高等学校情報科講座～情報I「プログラミング」～	140		A B
e16	生活科講座～基礎・基本から考える～	生活科講座～基礎・基本から考える～	44		A B
e17	小学校英語の基礎講座	小学校英語の基礎	48		A B
e18	理科観察・実験指導基礎講座	理科観察・実験指導基礎講座	44		A B
e19	道徳教育講座～考え議論する道徳～	道徳教育講座～考え議論する道徳～	88		A B
e20	主権者教育推進講座	主権者教育推進講座	115		A B
e21	高等学校におけるキャリア教育の進め方講座	高等学校におけるキャリア教育の進め方講座	60		A B

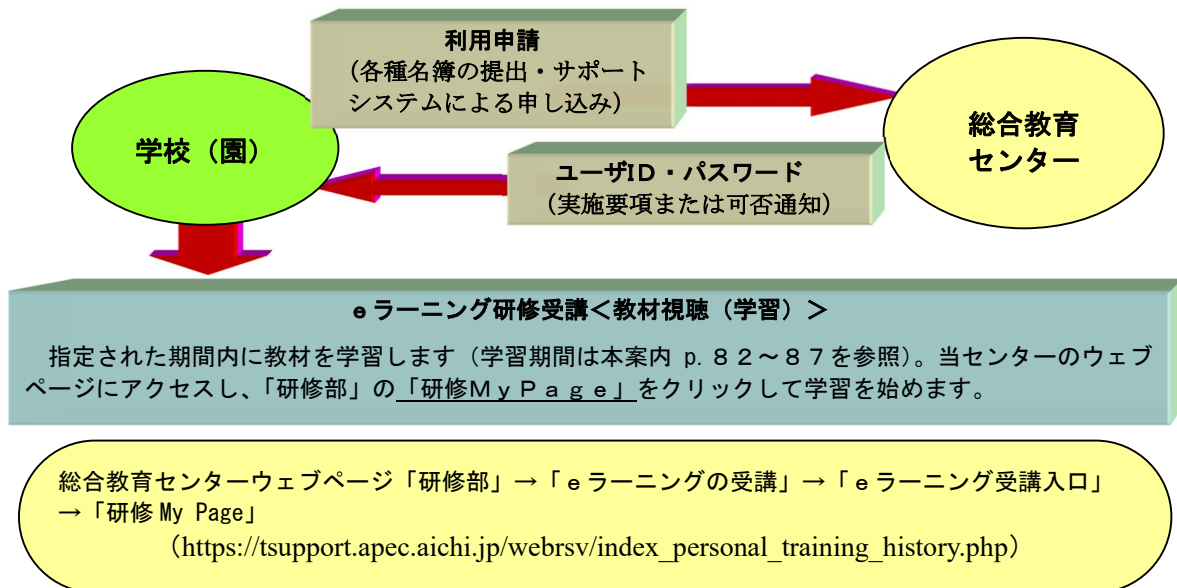
研修番号	研修・講座名	eラーニング研修教材名	学習時間の目安(分)	学習期間	著作権レベル	
e22	総合的な学習の時間講座～探究の扉を開く～	総合的な学習の時間講座～探究の扉を開く～	57	7/1～2/28 申し込み期限 2/7(金)まで 随時申し込み ができます	A B	
e23	「国際英語」教育の理論と実践講座	国際英語の教育：理論と実践	60		A	
e24	Integrating Language & Content in an English Class	Integrating Language & Content in an English Class	60		A B	
e25	産業教育における評価の在り方講座	産業教育における評価の在り方	80		A B	
e26	産業教育における金融経済教育の進め方講座	産業教育における金融経済教育の進め方	45		A B	
e27	教育評価の在り方講座	教育評価の在り方講座	未定		未定	
e28	オンライン教育の在り方講座	オンライン教育の効果と課題について	96		A	
e29	情報モラル教育講座	情報モラル	44		A B	
e30	教師のための情報危機管理講座	教師のための情報危機管理講座	55		A B	
e31	カリキュラム・マネジメント講座	カリキュラム・マネジメントの推進に向けて	105		A B	
e32	効果を上げる授業研究の在り方講座	効果を上げる授業研究の在り方	18		A B	
e33	校内研修と授業研究の効果的な進め方講座	校内研修と授業研究の効果的な進め方講座	83		A B	
e34	E S D推進講座	E S Dについて	65		A B	
e35	愛知の特別支援教育基礎講座	愛知の特別支援教育	31		A B	
e36	発達障害の理解と支援講座	A	発達障害の理解① ～基礎的な理解と具体的な支援～		34	A B
		B	発達障害の理解② ～発達障害と他の精神的問題とを見分けるために～		24	A B
		C	行動への支援① ～行動をどのようにとらえるか～		31	A B
		D	行動への支援② ～支援方法を考えるときに重要なこと～		43	A B
		E	感情マネジメント ～自分の感情と上手付き合うための方法～		46	A B
e37	視覚障害の理解と支援講座	視覚障害の理解と支援	60		A B	
e38	聴覚障害の理解と支援講座	聴覚障害の理解と支援	60		A	
e39	児童生徒の強みを生かす教育相談講座	S S Wの立場から見た児童生徒の問題解決	60		A B	
e40	いじめの組織的な未然防止講座	いじめの組織的な未然防止に向けて	45		A B	
e41	不登校支援と予防講座 ～多様な背景を踏まえた学校での支援と予防～	不登校支援と予防講座 ～多様な背景を踏まえた学校での支援と予防～	66		A	
e42	性の多様性の理解推進講座	性の多様性の理解推進講座	40		A B	
e43	外国人児童生徒教育基礎講座～現状と課題～	外国人児童生徒教育の現状と課題	22		A B	
e44	特別支援教育における教育課程講座	特別支援教育における教育課程	未定		未定	
e45	教育相談の心得講座～個別面談に際して～	教育相談の心得～個別面談に際して～	22		A B	
e46	組織的な教育相談のための力量向上講座	組織を生かす教育相談体制づくり	25		A B	
e47	通級による指導・支援の在り方講座	通級による指導・支援のあり方	34		A B	
e48	肢体不自由児の理解と支援講座	肢体不自由児の理解と支援	未定		未定	
e49	「チーム学校」を生かす教育相談体制づくり講座	「チーム学校」を生かすケース会議の在り方	43		A B	
e50	SDG s 理解講座	A	SDG s 達成に向けた J I C A の取組		23	A B
		B	SDG s 達成に向けた学校での実践例		20	A B
e51	学校安全推進講座	A	子どもの安全と安心を守る		35	A B
		B	学校における防災管理について	32	A B	
e52	地域学校協働活動推進講座	A	地域学校協働活動の推進について(基礎編)	19	A B	
		B	地域学校協働活動の推進について(リーダー編)	16	A B	
e53	社会人としてのマナー講座	社会人としてのマナー	60	A B		
e54	職場のメンタルヘルス講座	A	職場のメンタルヘルス ～アルコール依存症を知ろう～	30	A B	
		B	学校現場の職場ストレスとその対処法	35	A B	
e55	心が軽くなるコミュニケーション講座	心が軽くなるコミュニケーション講座	45	A B		
e56	G I G A スクール構想の在り方講座	G I G A スクール構想の動向について	58	A		
e57	O J T 推進講座	O J T の推進について	34	A B		

3 利用申請とユーザID及びパスワードの発行

- (1) 該当の研修・講座の名簿（様式2）及び教員サポートシステムによる申し込みが、利用申請を兼ねています。
- (2) eラーニング単独講座については、幼稚園等は「様式2」、事務職員等は「様式4」、小中義務教育学校・県立学校は教員サポートシステムにより申し込み手続きをしてください。なお、令和7年2月7日（金）まで、随時受け付けます。
- (3) 幼稚園のユーザID及びパスワードについては、該当の研修・講座の実施要項（スキル・アップ研修の場合は可否通知）を送付する際にお知らせします。
- (4) eラーニング単独講座については、申し込み手続き（学校・センターの受講許可）が完了し次第、受講可能となるため、「研修MyPage」にて御確認ください。

4 受講開始までの流れ（一般の研修受講の場合）

利用申請から受講開始までの流れは、次のとおりです。



5 著作権レベルと教材の二次利用

eラーニング研修教材には、次のような著作権レベルを設定しています。

- ・レベルA：利用者による一般的な研修受講を想定した利用行為
- ・レベルB：学校等の研修支援を想定した教材の二次利用行為

なお、著作権レベルA・B（A、B両方の利用行為を想定するもの）の教材については、一定の要件（「eラーニングシステム利用要項」（p. 89参照）を満たせば、校内研修等において利用が可能です。希望する場合は、校内研修等を実施する年度の1月末までに（ただし、実施する期日の2週間前までに）「eラーニング研修教材にかかる学校等利用申請書」（p. 97様式E1）を提出してください。各教材の著作権レベルは、「2 eラーニング研修を実施する研修・講座一覧」（p. 82～87）に示してあります。

6 不具合が生じた場合の対応

研修受講の段階で、重大な不具合が発生し学習が困難な場合には、下記により電子メールで御連絡ください。不具合の内容を検討し、折り返し総合教育センター担当者から対応方法について連絡します。

アドレス：elnhelp@apec.aichi-c.ed.jp（全て半角英小文字です）

件名：「不具合の連絡（〇〇立〇〇学校、園）」

本文欄：次の点について記載してください。

- ①学校（園）名と連絡者の職・氏名
- ②連絡先メールアドレス
- ③学校（園）電話番号
- ④受講するeラーニング研修の研修・講座名及び教材名、受講者名
- ⑤接続パソコンのOS及びブラウザ（例：Windows10、Microsoft Edge）
- ⑥不具合の内容・状況

※「操作マニュアル」及び「トラブルシューティング」を読んで参考にしたところを記載し、その上で、解決していない内容を具体的に記述してください。

なお、緊急の場合は、管理職に相談の上、研修部企画研修室（0561-38-9506）へ電話してください。

eラーニングシステム利用要項

(目的)

第1条 この要項は、eラーニング運用管理規程第3条第2項に基づき、eラーニングシステム（以下、「システム」という。）の利用について必要な事項を定めることを目的とする。

(利用目的)

第2条 システムが提供するサービスは、県内の公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校（名古屋市立を除く。以下、「学校等」という。）の教職員（事務職員を含む。）並びにその他、管理責任者が認めた者の研修利用を目的とする。

(利用申請)

第3条 所属長は、年度ごとに所属内でシステムを利用してeラーニング研修を受講する者（以下、「利用者」という。）を取りまとめ、当該研修・講座にかかる所定の申し込み手続きを行うことで、システムの利用を申請しなければならない。

2 研修を目的として、学校等、教育事務所及び市町村教育委員会がシステムの利用を希望する場合は、所属長を代表者としてeラーニング研修教材にかかる学校等利用申請書（様式E1）を管理責任者に提出し承認を得なければならない。

(ユーザID及びパスワードの管理)

第4条 発行されたユーザID及びパスワードは、利用者の責任において管理することとし、第三者に譲渡し、または利用させてはならない。

2 発行されたパスワードは、利用者の責任において適宜変更するものとする。

(利用者の責任)

第5条 利用者が、前条に反し、または当該ユーザIDを使用し、生じた責任は、利用者に戻すものとする。

(パスワードの紛失)

第6条 所属長は、所属内の利用者がパスワードを紛失したときは、パスワード再発行申請書（様式E2）を管理責任者に提出しなければならない。

(利用時間)

第7条 システムの利用時間は、午前9時から午後5時30分までとする。ただし、管理責任者が必要と認めた場合は、利用時間を変更できるものとする。

(利用者の遵守事項)

第8条 利用者は、次の各号に定める事項を遵守しなければならない。

- (1) 法令、条例、規則、その他の規程及び公序良俗に反する利用をしないこと
- (2) システムの趣旨に反する利用をしないこと
- (3) 第三者を誹謗または中傷しないこと
- (4) 営利を目的とした利用をしないこと
- (5) システムの運用に支障を来す利用をしないこと

附則

この要項は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この要項は、平成24年4月1日から施行する。

附則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。



様式枚数 1 枚目 / 1 枚中

令和6年度スキル・アップ研修（自由応募制）希望者名簿（幼稚園等）

令和 年 月 日

愛知県総合教育センター所長 殿

園名

園長名

園電話番号

下記のとおり提出します。

また、eラーニング研修を実施する講座について、システム利用及びユーザID、パスワードの発行を申請します。

記

Table with 7 columns: 研修番号, 講座名, コース, 職名, 氏名, 職員番号(7桁), 備考. The table contains 15 empty rows for data entry.

[入力・送信上の注意]

- 1 研修番号55、57A、58、e01～e57のスキル・アップ研修（自由応募制）について、名簿を作成する。
2 研修番号e01～e57の講座については、「eラーニング研修」によって実施し、令和7年2月7日（金）必着分まで、随時応募を受け付ける。
3 提出については、下記に従って、本様式をメール送信する。ただし、園の所属アドレス（代表アドレス）がない場合は、この名簿を印刷し、申し込み手続き（p.5参照）に従って郵送する。

Table with 2 columns: メール送信先アドレス (sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp), ファイル名及び送信メールの件名 (◎◎立◎園「スキル・アップ（自由）名簿」)

メールを送信する際に、このセルの内容をコピーして、メールの「送信先アドレス」「件名」の欄に貼り付ける等の利用ができます。

※◎◎は園名の一部

(様式5)

小・中・義務教育学校→市町村教委→教育事務所→総合教育センター

令和6年度
教育研究リーダー養成研修（小・中・義務教育学校）
参加者推薦書

令和 年 月 日

愛知県総合教育センター所長 殿

学校名

校長名

学校電話番号（ ） -

学校代表アドレス

下記の者を推薦します。

記

職名	フリガナ	氏名	経験年数	年
			(R6.3.31 現在)	
担当学年	担当教科 (中学校教諭)		主な 校務分掌	
研究領域	(例：教科指導(国語)、生徒指導、キャリア教育等)			
研究主題				
推薦理由				

上記の者を推薦します。

教育委員会教育長

[記入上の注意]

- 1 研究領域で「教科指導」を選んだ場合は、「教科指導(国語)」のように()内に教科名を必ず記入する。
- 2 研究主題は、令和6年度に研究を予定し、各学校で実践できる内容を記入する。
- 3 教職経験6年以上の者を対象とする。ただし、法定研修「中堅教諭等資質向上研修」の対象者を除く。

[推薦書の提出期限]

各市町村教育委員会が指定する日までにメールで提出してください。

(様式6)

学校番号()

令和6年度 教育研究リーダー養成研修(県立学校)
参加者推薦書

令和 年 月 日

愛知県総合教育センター所長 殿

学校名

校長名

学校電話番号() -

下記の者を推薦します。

記

職名	フリガナ		経験年数 (R6.3.31 現在)	年
	氏名			
担当学年	担当教科・科目		主な 校務分掌	
研究領域	(例：教科指導(国語)、生徒指導、キャリア教育等)			
研究主題				
推薦理由				

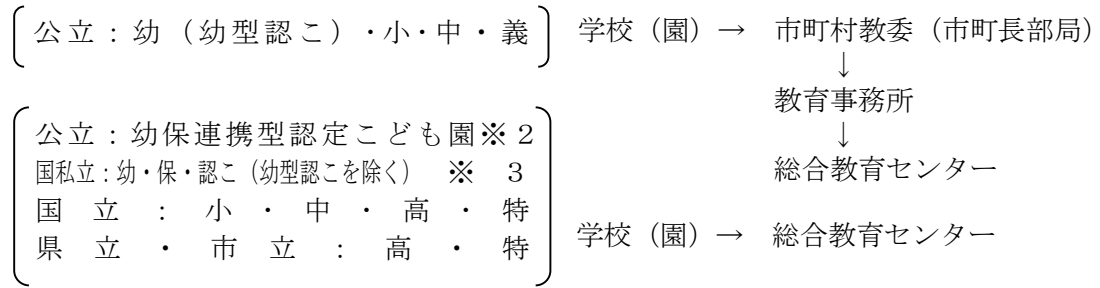
[記入上の注意]

- 1 研究領域で「教科指導」を選んだ場合は、「教科指導(国語)」のように()内に教科名を必ず記入する。
- 2 研究主題は、令和6年度に研究を予定し、各学校で実践できる内容を記入する。
- 3 教職経験6年以上の者を対象とする。ただし、法定研修「中堅教諭等資質向上研修」の対象者を除く。

[推薦書の提出期限]

令和6年4月15日(月)までにメールで提出してください。

(様式7)



※1 欠 席 ・ 遅 刻 ・ 早 退 届

令和 年 月 日

愛知県総合教育センター所長 殿

学校（園）名

校長（園長）名

下記により（※1欠席・遅刻・早退）します。

記

研修・講座・コース名	
職・氏名	
実施日	令和 年 月 日（ ）
※1欠席・遅刻・早退理由	

※1 該当する項目以外を削除する。

※2、3 公立幼保連携型認定こども園の受講者及び、研修番号17の受講者で、私立幼保連携型認定こども園に勤務する者は以下のように届ける。

園 → 市町村長部局 → 福祉局子育て支援課 → 総合教育センター

[提出方法]

メールもしくは郵送で提出する。メールの場合、件名は、[〇〇研修△月△日××届]とし、それぞれの所属(代表)アドレスから総合教育センターの所属アドレスに提出する。郵送の場合、郵送先は「研修部企画研修室」とする。詳細は研修事業案内のp.6を参照する。

メール送信先アドレス

sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp

(様式E1)

eラーニング研修教材にかかる学校等利用申請書

令和 年 月 日

愛知県総合教育センター所長 殿

学校（園）名

校長（園長）名

下記のとおり eラーニング研修教材の利用を申請します。

記

教材名			
利用目的			
研修の全体計画における利用教材の位置付け			
利用日時	令和 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分		
利用者		利用人数	人
担当者職氏名		連絡先電話	() -

〔記入上の注意〕

- 1 本申請により校内研修等で利用することができる教材は、著作権レベルが「A B」のものに限ります。詳細については、本案内 p. 88 「5 著作権レベルと教材の二次利用」を御覧ください。
- 2 利用目的は、研修会等の名称を記入してください（「校内現職研修会」等）。なお、教材を研修以外の目的で利用することはできません。
- 3 研修会等の全体計画の中で、教材の視聴（学習）がどのような位置付けにあるかを具体的に記入してください。
- 4 利用日時は、研修会等の開始時刻から終了時刻までを記入してください。なお、申請後、日時が変更になった場合は、その旨を電話で御連絡ください。＜連絡先：研修部企画研修室 0561-38-9506（ダイヤル）＞
- 5 利用者は、申請者の所属教職員に限ります。「本校全職員」「本校教務部教員」「本校数学科教員」などと対象者を具体的に記入してください。
- 6 利用人数は、教材を視聴（学習）する人数について、計画段階での予定人数を記入してください。

〔申請書の提出期限〕

この申請書は、研修実施年度の1月末日まで（ただし、利用日の2週間前まで）に提出してください。

メール送信先アドレス	sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp
------------	-------------------------------

(様式E2)

パスワード再発行申請書

令和 年 月 日

愛知県総合教育センター所長 殿

学校（園）名

校長（園長）名

下記の教職員について、パスワードの再発行を申請します。

記

フリガナ 氏 名	職名	ユーザID	対象となる研修・講座名
申請理由			
連絡先電話番号	()	—	

[入力・送信上の注意]

- ・「対象となる研修・講座名」欄には、ユーザIDを利用して受講する研修・講座名を全て記入してください。
- ・提出については、下記に従って、本様式をメール送信してください。ただし、学校（園）の所属アドレス（代表アドレス）がない場合は、この申請書を印刷し、総合教育センターまで郵送してください。

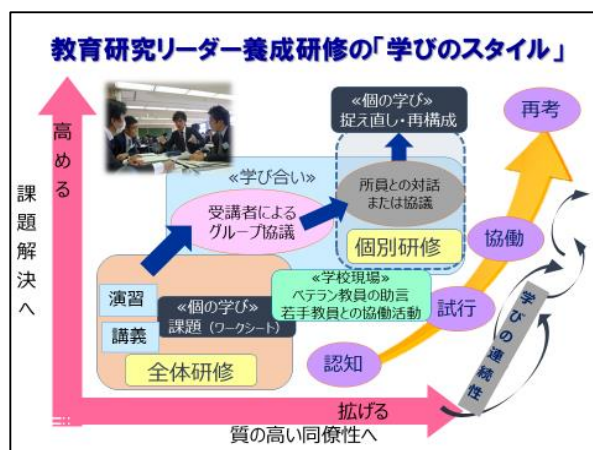
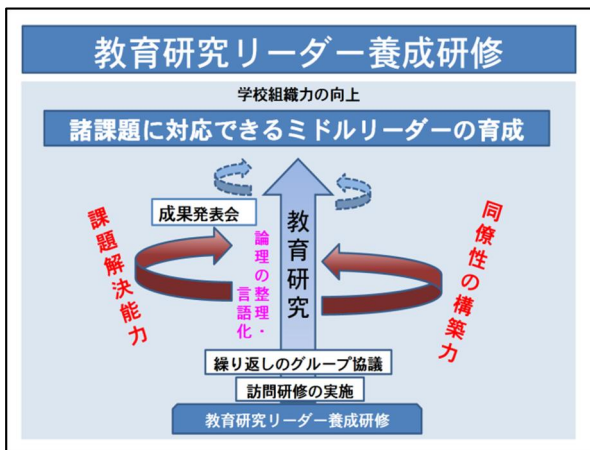
メール送信先アドレス	sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp
送信メールの件名	パスワード再発行申請について

【参考資料1】 教育研究リーダー養成研修の概要

1 目的

理論的・実践的な教育研究を通して、課題解決能力と同僚性の構築力を身に付けたミドルリーダー育成を目指します。

2 概念図



3 応募条件

- ・現在または今後、学校運営上で、特に教育研究におけるミドルリーダーとしての役割を担う者
- ・市町村立学校教員については、校長、市町村教育委員会教育長及び教育事務所長の推薦を受けた者
- ・県立学校教員については、校長の推薦を受けた者
- ・教職経験6年以上の者を対象とする。ただし、法定研修「中堅教諭等資質向上研修」の対象者を除く

4 研修の流れ

時期	内容	概要
5月17日(金)	開講式 オリエンテーション	指導所員と面談し、研究の方向性について確認します。
6～7月	訪問研修	指導所員が所属校を訪問します。受講者は、研究テーマに沿った授業等を行い、その後、指導所員と協議を行います。 ※訪問研修日：所属校と指導所員で日程調整を行います。
夏季休業中	全体研修(3日)	指定日(3日)にセンターに来所し、講義を受講し、演習や他の受講者とグループ協議を行います。 ※指定日(予定)：7/22・8/2・8/19
7～12月	個別研修(3日)	任意日(3日)にセンターに来所し、指導所員との協議を基に、研究を進めます。 ※任意日：指導所員と日程調整を行います。
9～11月	訪問研修	指導所員が所属校を訪問します。受講者は、研究テーマに沿った授業等を行い、その後、指導所員と協議を行います。 ※訪問研修日：所属校と指導所員で日程調整を行います。
2月14日(金)	成果発表会 閉講式	研究成果を発表します。

- 上記研修を通して、校内や地域において教育研究を推進するリーダーとしての資質・能力の向上を図ります。また、各自で研究テーマを掲げ、研究成果を報告書としてまとめ、成果発表会にて発表します。
- 過年度の研究成果については、総合教育センターウェブページの「研究部」→「教育研究調査」→「◆教育課程・学校の諸課題に関する研究」→「教育研究リーダー養成研修(長期研修)」(<https://apec.aichi-c.ed.jp/kenkyu/chousa/chouken/chouken.htm>)に掲載されています。

【参考資料2】 幼稚園等中堅教諭資質向上研修にかかる在職期間の例

「在職期間〇年」とは、幼稚園、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園において、教諭・保育教諭としての実質の勤務期間が〇年を満たした場合をいう。以下の場合等の計算方法に留意する。

出産休暇（産休）、部分休業、育児短時間勤務は、勤務期間とみなし、除算の対象期間としない。

育児休業（育休）、療養休暇（療休）、休職は、勤務期間とみなさない。12か月以上の育休、休職のそれぞれ又は育休、療休、休職の2つ以上の期間が連続する場合は、年度のまたがりの有無に関わらず12か月を1年として除算し、在職期間より減ずる。

※令和6年度以降は、受講対象者は7年以上経験している者とする。

令和6年度受講対象者

H29. 4. 1(7年経験者)採用

年数	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
								○							

令和6年4月1日時点で実質の勤務期間が7年を経過している者。

A教諭 H28. 4. 1採用

年数	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
				産休	育休				○						

産休を4か月と育休を22か月取った場合

産休は勤務期間とみなす。令和元年度は産休と12か月に満たない育休のため勤務（12か月に満たない端数は数えない）。育休の22か月のうち12か月（1年）を除算する。

令和6年4月1日時点で実質の勤務期間7年(8年マイナス1年)と数える。令和6年度の受講予定者となる。

B教諭 H28. 4. 1採用

年数	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
				産休	育休	産休	育休			○					

産休4か月・育休22か月を取り、引き続き産休4か月・育休22か月を取った場合

1回目の育休のうち12か月（1年）と2回目の育休のうち12か月（1年）の計2年を除算する。12か月に満たない端数は数えない。
※2回の育休は連続しないので別々に計算する。

令和6年4月1日時点で実質の勤務期間6年(8年マイナス2年)と数える。令和7年度の受講予定者となる。

C教諭 H28. 4. 1採用

年数	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
					休職		療休	休職	○						

休職1回目に10か月を、2回目に療休3か月に引き続き9か月を取った場合

1回目の休職は12か月未満なので、除算しない。2回目は療休と休職が連続し、合わせて12か月となるので、1年を除算する。

令和6年4月1日時点で実質の勤務期間7年(8年マイナス1年)と数える。令和6年度の受講予定者となる。

D教諭 H29. 4. 1採用

年数	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
			休職		休職	休職		○							

休職1回目に8か月、2回目に9か月、3回目に8か月を取った場合

休職の期間がいずれも12か月未満なので、除算しない。

令和6年4月1日時点で実質の勤務期間7年と数える。令和6年度の受講予定者となる。

E教諭 R5. 4. 1採用

年数	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	勤他務県	勤他務県	勤他務県	勤他務県	勤他務県		講師			○					

他府県または私立の幼稚園及び認定こども園(保育所型を除く)で採用され、5年で退職。その後臨時職員を1年経験し、愛知県で改めて幼稚園及び認定こども園に採用された場合

他府県や私立での在職期間と、本県での在職期間を合わせて数える。期限付任用、臨時的任用、任期付任用、非常勤講師は在職期間から除算する。

令和6年4月1日時点で実質の勤務期間6年と数える。令和7年度の受講予定者となる。

F教諭 H23. 4. 1採用

年数	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	勤他務所	勤他務所	勤他務所	産休	育休		産休	育休						○	

保育所勤務を3年間、1回目に産休4か月・育休30か月、2回目に産休4か月育休1年を取った場合

保育所勤務の3年間は除算、1回目の産休30か月のうち24か月(2年)を除算、2回目の産休(12か月)1年を除算。令和6年4月1日で7年を経過し、令和6年度受講対象者となる。

令和6年4月1日時点で実質の勤務期間7年(13年マイナス6年)と数える。令和6年度の受講予定者となる。

※受講予定者かどうか迷う場合は、総合教育センター研修部 基本研修室までお問い合わせください。
(電話 0561-38-9507)

【参考資料3】中堅教諭等資質向上研修【前期】に係る在職期間の例

「在職期間5年」とは、実質の勤務期間が5年を満たした場合をいう。以下の場合等の計算方法に留意する。

出産休暇（産休）、部分休業、育児短時間勤務は、勤務期間とみなし、除算の対象期間としない。

育児休業（育休）、療養休暇（療休）、休職は、勤務期間とみなさない。12か月以上の育休、休職のそれぞれ又は育休、療休、休職の2つ以上の期間が連続する場合は、年度のまたがりの有無に関わらず12か月を1年として除算し、在職期間より減ずる。

※例えば、休職等期間が連続32か月の場合、 32 （連続休職等期間） $\div 12$ （1年） $= 2$ 年8か月となり在職期間を2年減ずることとなる。

例1 H31. 4. 1愛知県採用

(H31)											
年度	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	
						○					令和6年度受講予定者

平成31年4月1日に採用され、令和6年4月1日を過ぎる場合
在職期間は5年を経過する。

例2 H31. 4. 1愛知県採用

年度	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	
	産休	育休					○				在職期間4年となり 令和7年度受講予定者

産休を4か月と育休を22か月取った場合
産休は勤務期間とみなし、除算の対象としない。
育休の22か月のうち、1年を減ずる。
※ $22 \div 12 = 1$ 年10か月

例3 H31. 4. 1愛知県採用

年度	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	
	休職				休職	○					令和6年度受講予定者

休職1回目に8か月、2回目に9か月を取った場合
休職の期間がいずれも12か月未満で連続していないため、除算の対象としない。

例4 H29. 4. 1他府県採用

R3. 4. 1愛知県採用

年度	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	
			講師	講師				○					令和6年度受講予定者

他府県または私立で採用され、2年で退職。その後講師を2年経験し、本県に採用された場合
他府県や私立での在職期間が2年あるため、本県での在職期間に加算する。ただし、期限付任用、臨時的任用、任期付任用、非常勤講師の場合は、加算の対象としない。

【参考資料4】 中堅教諭等資質向上研修【後期】にかかる在職期間の例

「在職期間10年（9年）」とは、実質の勤務期間が10年（9年）を満たした場合をいう。以下の場合等の計算方法に留意する。

出産休暇（産休）、部分休業、育児短時間勤務は、勤務期間とみなし、除算の対象期間としない。
 育児休業（育休）、療養休暇（療休）、休職は、勤務期間とみなさない。12か月以上の育休、休職のそれぞれ又は育休、療休、休職の2つ以上の期間が連続する場合は、年度のまたがりの有無に関わらず12か月を1年として除算し、在職期間より減ずる。

※例えば、休職等期間が連続32か月の場合、 $32（連続休職等期間）\div 12（1年）= 2年8か月$ となり、在職期間を2年減ずることとなる。

A教諭 H26. 4. 1愛知県採用

年数	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10
											○				

令和6年度受講予定者

平成26年4月1日に採用され、令和6年4月1日を過ぎる場合
 在職期間は10年を経過する。

B教諭 H26. 4. 1愛知県採用

年数	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10
			産休		育休							●	○		

在職期間8年となり令和8年度受講予定者
 ※●は弾力化希望可能年度

産休を4か月と育休を34か月取った場合
 産休は勤務期間とみなし、除算の対象としない。育休の34か月のうち、2年を減ずる。※ $34\div 12= 2年10か月$

C教諭 H26. 4. 1愛知県採用

年数	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10
			産休		育休	産休		育休						●	○

在職期間6年となり令和10年度受講予定者
 ※●は弾力化希望可能年度

産休4か月・育休32か月を取り、引き続き産休4か月・育休32か月を取った場合
 1回目の育休と2回目の育休をそれぞれ除算対象とする。※2回の育休は連続しないので別々に除算する。 $32\div 12= 2年8か月$ が2回となり、4年を減ずる。

D教諭 H26. 4. 1愛知県採用

年数	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10
					休職			療休	休職			●	○		

在職期間9年となり令和7年度受講予定者
 ※●は弾力化希望可能年度

休職1回目に10か月を、2回目に療休3か月に引き続き休職9か月を取った場合
 1回目の休職は12か月未満なので、除算の対象としない。2回目は療休と休職が連続し、合計12か月となるので、除算の対象とする。※ $12\div 12= 1年$ となり、1年を減ずる。

E教諭 H26. 4. 1愛知県採用

年数	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10
			休職									○			

令和6年度受講予定者

休職1回目に8か月、2回目に9か月、3回目に8か月を取った場合
 休職の期間がいずれも連続しておらず、かつ12か月未満なので、除算の対象としない。

F教諭 H26. 4. 1他府県採用 R2. 4. 1愛知県採用

年数	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10
					講師	講師						●	○		

在職期間8年となり令和8年度受講予定者
 ※●は弾力化希望可能年度

他府県または私立で採用され、4年で退職。その後講師を2年経験し、本県に採用された場合
 他府県や私立での在職期間が4年あるため、本県での在職期間に加算する。ただし、期限付任用、臨時的任用、任期付任用、非常勤講師の場合は、加算の対象としない。

G教諭 H24. 4. 1愛知県採用

年数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
				産休		育休							○		

在職期間10年となり令和6年度受講予定者

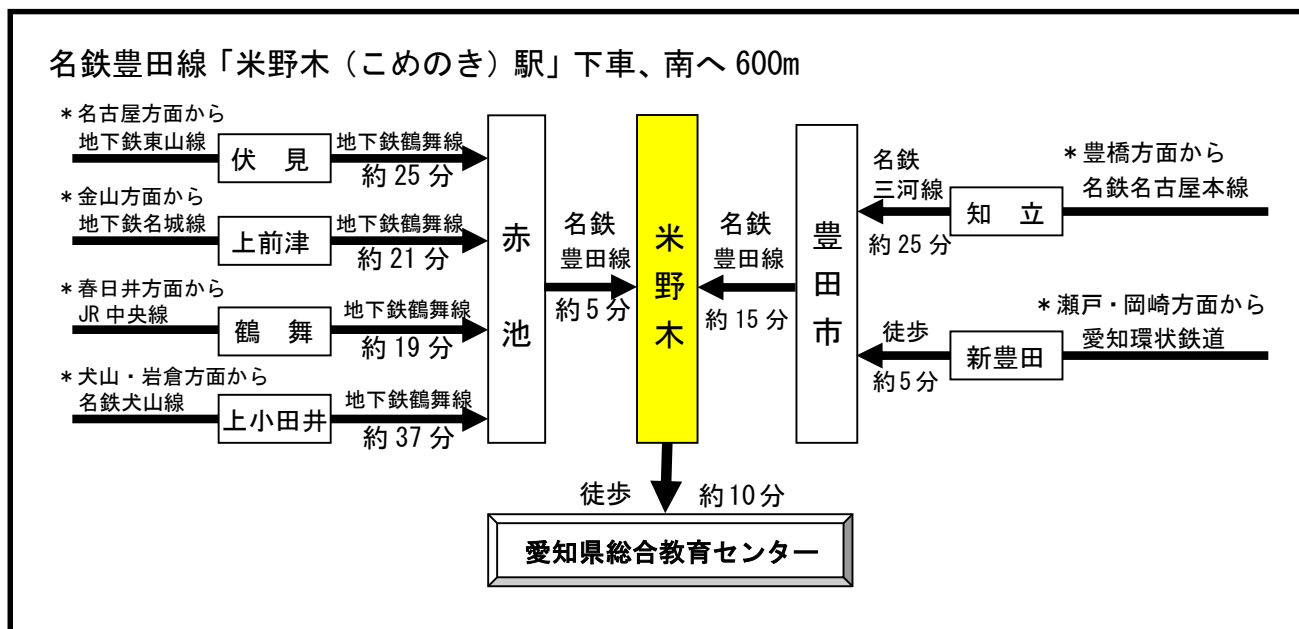
産休4か月・育休30か月を取ったため、10年経験者研修を延期していた場合
 育休30か月とり、在職期間を2年減じていた（ $30\div 12= 2年6か月$ ）ため、令和6年度4月1日で10年を経過し、令和6年度受講予定者となる。

※受講予定者かどうか迷う場合は、総合教育センター研修部 基本研修室までお問い合わせください。
 （電話 0561-38-9507）

愛知県総合教育センター案内図

◆できる限り公共交通機関を御利用ください。

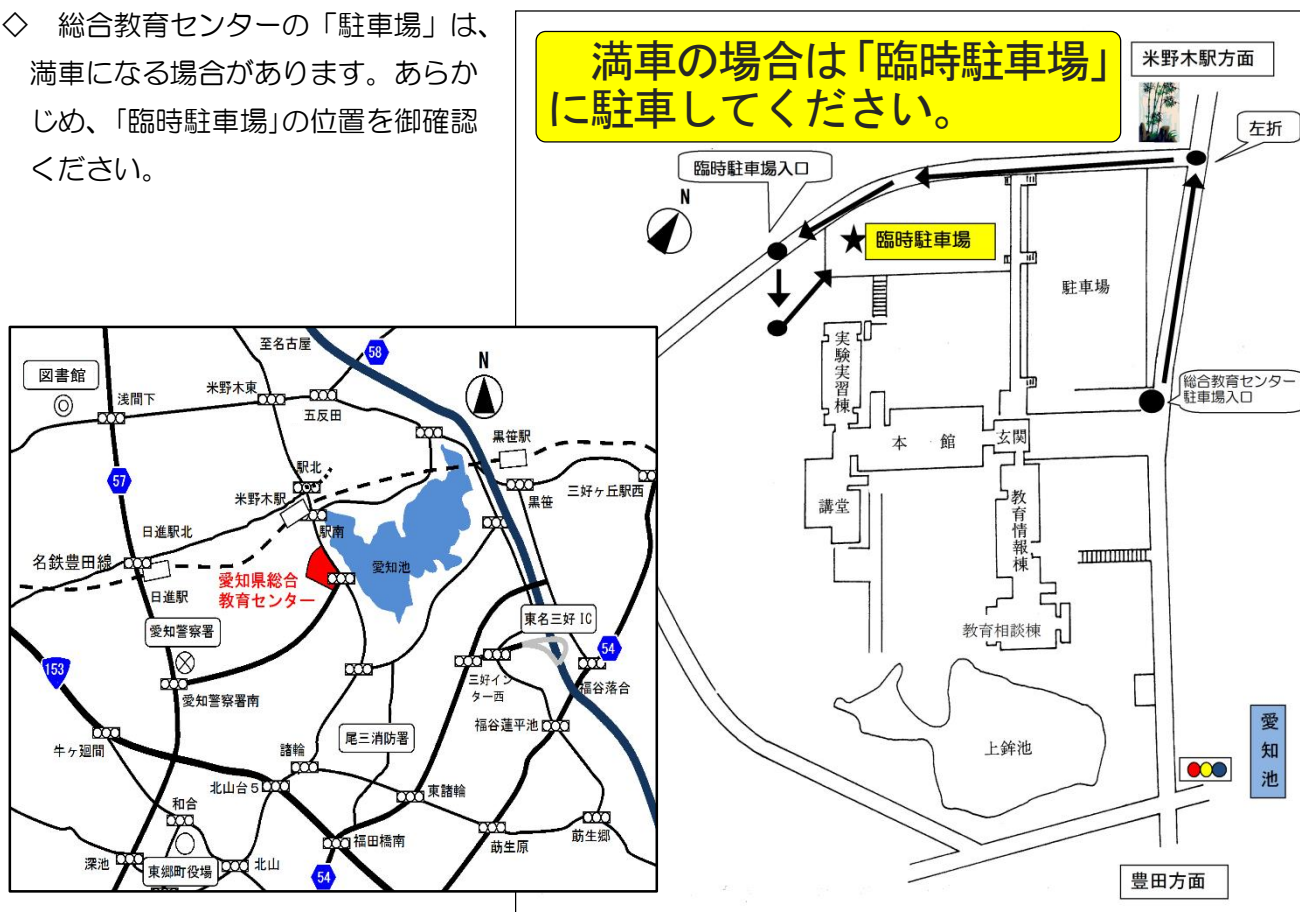
<交通案内 (主な経路)>



<周辺案内図>

(拡大図)

◇ 総合教育センターの「駐車場」は、満車になる場合があります。あらかじめ、「臨時駐車場」の位置を御確認ください。



愛知県総合教育センター

〒470-0151 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字上鉾68番地

電話 (0561) 38-2211 (代表)

電話 (0561) 38-9506 (企画研修室)

電話 (0561) 38-9507 (基本研修室)

ファックス (0561) 38-2780

メールアドレス sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp

ウェブページ <https://apec.aichi-c.ed.jp/cms/>

愛知県総合教育センター農業教育共同実習所

〒446-0066 愛知県安城市池浦町丸田172番1

電話 (0566) 76-4071

ファックス (0566) 77-3477

メールアドレス sogokyoiku-nogyo@pref.aichi.lg.jp

ウェブページ <https://apec.aichi-c.ed.jp/cms/page-361.html>